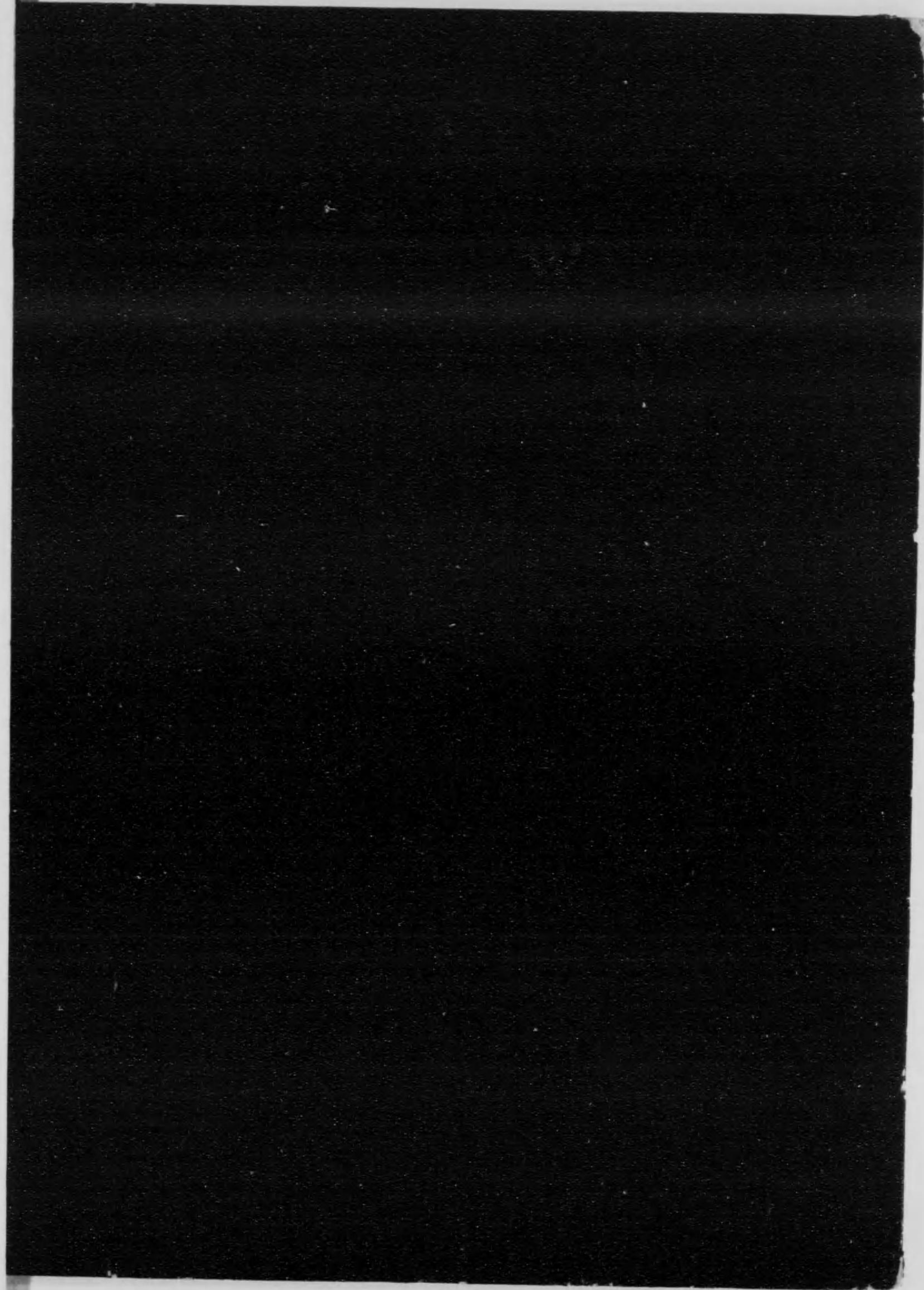
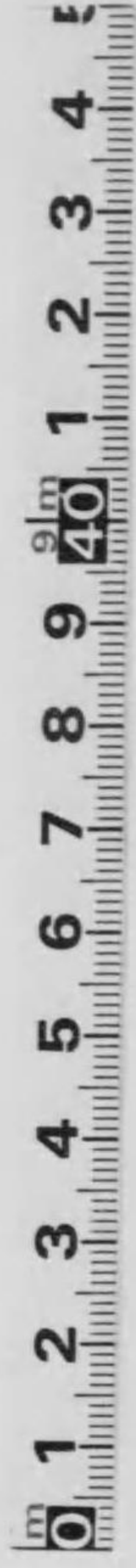




始





~~14.5~~  
~~161~~

821.1  
I.83

821.1  
I.83



東洋文庫論叢第一

攷定中原音韻

石山福治著

東京 大正十四年七月

財團法人東洋文庫刊行





821.1  
I.83



821.1  
I.83

東洋文庫論叢第一

攷定中原音韻

石山福治著

寄贈本

東京 大正十四年七月

財團法人東洋文庫刊行





14.5/61

## 序 言

余は支那現代音の由來に就きて一種の疑を存すること年已に久しく、殊に其北方音の成立には必らずや塞外音韻の影響之れに與れるあるべきに想ひ到り、明治四十一年特に蒙古語の學習に従ひ、蒙支兩語の對照研究を試みたる結果、現代北京語の源流摸索に關し、幾分の曙光を認めたる折柄、大正二年中部支那の旅行に際し、各地方言・方音の差を見て、歸來専ら音韻中心の研究に没頭したり。後、幾何もなく支那に新音字制定の舉あるを聞きたるが故に、當時在支の友人に囑して其發表されたる成績を得、研究更に一段の進捗を見れば、大正六年日支大辭彙の完成を機として十八年振りに北京を踏み、淹留半歳、時の民國教育部國語專員たりし黎錦熙、陳樊治、朱文熊の諸君によりて幾多の材料を得、次年即ち新音字に關する一部の研究を發表し、後‘中原音韻’を主とせる音韻變遷の徑路を釋ねて本書を成したれば、先づ世に問はむと希ひ、白鳥文學博士に請ふて財團法人東洋文庫より之れを公刊せらるゝこととなり、印刷の工程半ばに達したる大正十二年の秋、震災の爲めに製版全部烏有に歸したるを以て、一時頓挫の已むなかりしも、後改めて工程を進め、今始めて當初の所期に副ふことを得たるは、尙かに衷心の喜びを禁せざる所なり。

只憾むらくは、曩に本書の研究を竣れるの後、別に相關の研究として、近世支那音の變遷を叙したる‘支那現代音源流考’



一本が、當然本書出で、後、共に學者の批判に備へざる可らざる性質なりしにも拘はらず、震災の禍は竟に其順序を顛倒して、後續研究の公表が却つて前研究に先ちたるの一事是れなりとす。

刊成るに際し、茲に経過の梗概を述べて余が本懐を贅けられたる財團法人東洋文庫の好意を謝し、兼ねて大方學者の忌憚なき批判を要むること斯の如し。

大正十四年夏六月

石 山 福 治

東京小石川の居に於て

## 凡 例

- 一、 本稿は現今支那及本邦に於て稀有本の一種と稱せらるゝ元・周德清編輯の中原音韻(又中州音韻とも稱せらる)的本(京大内藤博士所藏)を中心として、明・王文璧校正の明刊本中州音韻(内閣文庫所藏)、王文璧本を更に明・葉以震の較正したる中原音韻近年北京大學にて校訂出版したる中州音韻及以上各種の最初出本たる元刊本中原音韻(江蘇常熟鐵琴銅劍樓所藏最近寫真石版刊行)の五種を彼此對照參攷し、添ふるに關係密接なる明・戚晉叔校口元曲選百種の音釋全部を之れに配し、以て元代口語音の一斑を推知せむと試みたるものなり。蓋、宋末より元一代は支那音韻史に一時期を劃せるものにして、現行中華民國々語音發生の新時代に係れば也。
- 二、 各字の排列順序は全然的本即ち周氏初刻本(元刻)に據り、的本以外諸本所録の字にして的本と相異なるものは之れを下階に列し、尙ほ必要あるものは毎字に其異同を註したり。
- 三、 初刻本には各字の音を示すべき音切の記入なきを以て、本稿に録したる全部の音切は孰れも初刻本以外の諸本に據りたるものなり。
- 四、 各音切の下に註したるローマ字綴の音符は余の推攷に成れる歸納音にして、其の綴音式は大體歐米諸學者が從來支那音を寫すに用ひたる方法及び支那人現今の慣用に據り若干卑見を加へたるものを以てしたり。
- 五、 本稿に用ひたるローマ字綴寫音法に就いては別に詳説すべきも特異の符號を左に略解す。  
(1) a o w y の頭首に ' を付したるものあり、此 ' は現今の中



南部支那に存する一種の鼻音 $ng$ を示すもの、即ち支那音韻學の一基礎たる三十六字母中の疑母に屬する近世音を寫すものにして、近今國定の注音字母 $ㄋ$ に當るものなれ共、實際の發音に際しては、 $ㄋ$ はローマ字 $ng$ よりも較々輕微なるものなるが故に余は特に $ˊ$ を代用したり。

(ロ)  $n$ の頭首に $ˊ$ を付したるものは三十六字母中の娘母に屬せるもの、即ち今注音字母の $ㄋ$ に當るものにしてローマ字に表はせば同じく $ng$ の輕きものに近し。

(ハ)  $w$ の下に $ˊ$ を付して $ㄨ$ の如くしたるものは、普通の $w$ 音よりも幾分唇を閉ちて振動せしむべきを示したるものにして $v$ と $w$ との中間程度なるを適當とすべし。

六、ローマ字綴の音符中、音切を基礎とすること能はずして他の根據に従ひたるものは特に( )を用ひて之れを區別したり。

七、字の傍に $\times$ 符あるは葉以震が較正に際し其の原本に錄せざりしものにして後人の増加せるものなりと註したるを其儘に示したるものなり。

八、本稿の註解に使用したる略符左の如し。

的本 周氏初刻本を指す。

王本 王文璧の校本を指す。

葉本 葉以震の較正本を指す。

曲選 元曲選を指す。

[考] 備考の意。

補 補考とは主として中原音韻諸本と元曲選音釋との一致せざるものを考證すべき材料にして、本稿中に併録する能はざりしものを別に蒐録したるものなり。

( ) は的本の順序による音種別にして、其の内數字は一韻の序列及音種の數量を示す。

[ ] 的本に無くして他の諸本にのみ録したる字及音を示すものにして、的本所録字の( )と區別せるもの。

九、元曲選音釋を本文各字に配するに當りて便宜上左の四種に區分したり。

〔一〕音釋が中原音韻の音切と一致するもの、即ち元曲選と中原音韻と同音なること。

〔二〕直接には一致せざるも、其の寫音價值が同一なりと見做し得べきもの。

〔三〕音釋が中原音韻の音切と一致せざるもの。

〔四〕特に入聲字を用ひて音釋し、又は入聲なることを示したるものにして、其の大部分は中原音韻の音切と間接に一致し、若干は一致せず。

十、發音順總音表中に $\S$ の符あるは其の以上の諸字が的本所録の上階字、其の以下の諸字が的本に無くして他の諸本にのみある下階字たることを示す。

十一、ローマ綴にて示す音符の聲別は1を平聲陰、2を平聲陽、3を上聲、4を去聲とす。

十二、元曲選音釋の出所を示すが爲めに其の曲名を略稱すること次の如し。

漢宮秋	(漢)	金錢記	(金錢)
陳州糶米	(陳州)	鴛鴦被	(鴛)
賺糊通	(賺)	玉鏡臺	(玉鏡)
殺狗勸夫	(殺)	合汗衫	(合汗)
謝天香	(謝天)	爭報恩	(爭)



張天師	(張天)	救風塵	(救風)
東堂老	(東堂)	燕青搏魚	(燕)
瀟湘雨	(瀟)	曲江池	(曲)
楚昭公	(楚)	來生債	(來)
薛仁貴	(薛)	墻頭馬上	(墻)
梧桐雨	(梧雨)	老生兒	(老)
硃砂擔	(硃)	虎頭牌	(虎)
合同文字	(合同)	凍蘇秦	(凍)
兒女團圓	(兒)	玉壺春	(玉壺)
鐵拐李	(鐵)	小尉遲	(小)
風光好	(風)	秋胡戲妻	(秋)
神奴兒	(神)	薦神碑	(薦)
謝金吾	(謝金)	岳陽樓	(岳)
蝴蝶夢	(蝴)	伍員吹簫	(伍)
勘頭巾	(勘)	黑旋風	(黑)
倩女離魂	(倩)	陳搏高臥	(陳搏)
馬陵道	(馬)	救孝子	(救孝)
黃梁夢	(黃)	揚州夢	(揚)
王粲登樓	(王)	吳天塔	(吳)
魯齋郎	(魯)	漁樵記	(漁)
青衫淚	(青)	麗春堂	(麗)
舉案齊眉	(舉)	後庭花	(後)
范張雞黍	(范)	兩世姻緣	(兩)
趙禮讓肥	(趙禮)	酷寒亭	(酸)
桃花女	(桃)	竹葉舟	(竹)
忍字記	(忍)	紅梨花	(紅)
金安壽	(金安)	灰闌記	(灰)

冤家債主	(冤)	傷梅香	(傷)
單鞭奪槊	(單)	城南柳	(城)
諱范叔	(諱)	梧桐葉	(梧葉)
東坡夢	(東坡)	金線池	(金線)
留鞋記	(留)	氣英布	(氣)
隔江闔智	(隔)	劉行首	(劉)
度柳翠	(度)	悞入桃源	(悞)
魔合羅	(魔)	盆兒鬼	(盆)
對玉梳	(對)	百花亭	(百)
竹塢聽琴	(竹塢)	抱粧盒	(抱)
趙氏孤兒	(趙氏)	寶娥冤	(寶)
李逵負荊	(李)	蕭淑蘭	(蕭)
連環計	(連)	羅李郎	(羅)
看錢奴	(看)	還牢末	(還)
柳毅傳書	(柳)	貨郎旦	(貨)
望江亭	(望)	任風子	(任)
碧桃花	(碧)	張生煮海	(張生)
生金閣	(生)	馮玉蘭	(馮)

元曲選中の百種曲は概して四折(趙氏孤兒のみは五折)に分れ又時に楔子あるものあり之れを略示すること

(貨一)は貨郎旦の第一折

(諱楔)は諱范叔の楔子

の如くしたり。

十三、本研究と相關聯して専ら支那現代音の由來を闡明せむと努めたるものに支那現代音源流考(大正十二年七月刊行、震災後絶版)あり、亦た併せ參照せられむことを切望す。



## 目 次

序 言	
凡 例	
解 說	1
第一章 中原音韻研究の必要	1
第一節 支那の音韻字書	1
第二節 中原音韻の内容	4
第三節 中原音韻と現代支那の國音	7
第四節 中原音韻と日本語	10
第二章 中原音韻と其異本	11
第五節 諸本概説	11
第六節 周德清初刻本	13
第七節 王文璧の増註本	16
第八節 葉以震の校正本	17
第九節 諸本の異同	19
第三章 中原音韻の音種	28
第十節 諸本に録したる總音種	28
第十一節 音種攷定の方法	29
第十二節 諸本に録したる寫音法	34
第十三節 韻別より觀たる音切	42
第十四節 首音より觀たる音切	113
第四章 中原音韻と元曲選音釋	121
第十五節 元曲と中原音韻	121



第十六節	元曲選音釋と中原音韻の異同	126
第十七節	元曲選音釋全部の内容	127

攷定中原音韻本文 ..... 131

東 鐘 ..... 131

平 聲	陰	131
平 聲	陽	133
上	聲	136
去	聲	138

江 陽 ..... 139

平 聲	陰	139
平 聲	陽	142
上	聲	145
去	聲	147

支 思 ..... 150

平 聲	陰	150
平 聲	陽	152
入 聲	作 平 聲	153
上	聲	153
入 聲	作 上 聲	154
去	聲	154

齊 微 ..... 156

平 聲	陰	156
平 聲	陽	160
入 聲	作 平 聲 陽	164
去 聲	作 平 聲	166
上	聲	166

入 聲	作 上 聲	169
去	聲	173
入 聲	作 去 聲	181

魚 模 ..... 183

平 聲	陰	183
平 聲	陽	186
入 聲	作 平 聲	190
上	聲	192
入 聲	作 上 聲	195
去	聲	198
入 聲	作 去 聲	202

皆 來 ..... 203

平 聲	陰	203
平 聲	陽	205
入 聲	作 平 聲	206
上	聲	207
入 聲	作 上 聲	208
去	聲	210
入 聲	作 去 聲	213

眞 文 ..... 213

平 聲	陰	213
平 聲	陽	216
上	聲	219
去	聲	221

寒 山 ..... 224

平 聲	陰	224
平 聲	陽	226
上	聲	227



去	聲	.....	228
桓	歡	.....	231
平	聲	陰	.....231
平	聲	陽	.....232
上	聲	.....	233
去	聲	.....	234
先	天	.....	235
平	聲	陰	.....235
平	聲	陽	.....238
上	聲	.....	240
去	聲	.....	242
蕭	豪	.....	246
平	聲	陰	.....246
平	聲	陽	.....250
入	聲	作平聲	.....253
上	聲	.....	254
入	聲	作上聲	.....257
去	聲	.....	259
入	聲	作去聲	.....264
歌	戈	.....	265
平	聲	陰	.....265
平	聲	陽	.....267
入	聲	作平聲	.....268
上	聲	.....	269
入	聲	作上聲	.....271
去	聲	.....	273
入	聲	作去聲	.....274

家	麻	.....	275
平	聲	陰	.....275
平	聲	陽	.....277
入	聲	作平聲	.....278
上	聲	.....	279
入	聲	作上聲	.....280
去	聲	.....	282
入	聲	作去聲	.....284
車	遮	.....	285
平	聲	陰	.....285
平	聲	陽	.....285
上	聲	作平聲	.....286
入	聲	作平聲	.....286
上	聲	.....	287
入	聲	作上聲	.....288
去	聲	.....	291
入	聲	作去聲	.....291
庚	青	.....	293
平	聲	陰	.....293
平	聲	陽	.....296
上	聲	.....	300
去	聲	.....	302
尤	侯	.....	304
平	聲	陰	.....304
平	聲	陽	.....307
入	聲	作平聲	.....309
上	聲	.....	309
入	聲	作上聲	.....311



去	聲	.....	311	
入聲	作去聲	.....	314	
侵	尋	.....	315	
平	聲	陰	.....	315
平	聲	陽	.....	316
上	聲	.....	317	
去	聲	.....	317	
監	咸	.....	319	
平	聲	陰	.....	319
平	聲	陽	.....	320
上	聲	.....	321	
去	聲	.....	322	
廉	織	.....	324	
平	聲	陰	.....	324
平	聲	陽	.....	325
上	聲	.....	326	
去	聲	.....	327	
補考	.....	329—402		
發音順總音表	.....	1—99		

目次終



攷定中原音韻

石山福治著

解 說

第一章 中原音韻研究の必要

第一節 支那の音韻字書

支那の字書には『説文』『玉篇』の如く字形を主として排列編成したるもの、及び後世簇出の『字彙』『康熙字典』の如き字畫の數を主として檢索に便ならしめたるものと、専ら其音を主として同種の尾韻に分類したる音韻字書との二大別あり、前者は單に字書と稱し、後者は之を韻書と稱せり。韻書は魏(西紀220—260)の左校令李登が一萬一千五百二十字を五聲に配したる『聲類』十篇の著を以て其の最初とし、後、晉(西紀260—420)の呂靜は此『聲類』に據りて『韻集』五卷を撰したりと傳へらるゝも、此等の書は今に存するものあらざれば、果して内容の何似なるを知らず。齊(西紀479—501)に到り、汝南の周彥倫(周顒)が『四聲切韻』を著するに追ひ、始めて平上去入の目あり、梁(西紀502—556)の沈約、彥倫の書に本づき『毛詩』を引いて『四聲類譜』を撰するや、後の學者多くは沈約を呼んで四聲の祖といふ。此他王該の『音韻』、段宏の『韻集』、周研の『聲韻』、陽休之の『韻略』、李榮の『音韻決疑』、



周思言の‘聲韻’、杜臺卿の‘韻略’、李季節の‘音譜’、僧靜洪の‘韻英’、張諒の‘四聲韻’、林、劉善經の‘四聲指歸’、夏侯詠の‘四聲韻略’、王斌の‘四聲論’、鄭康成、孔安國、王肅、徐邈の‘十三經音’、戴逵、傅奕の‘老子音’、李軌、王穆の‘莊子音’、高誘の‘淮南鴻烈音’等ありといふも、今日迄韻書の宗と目せらるゝものは、即ち唯一の‘廣韻’にして、一千年來韻書の權威と定まれるが故に、~~廣韻~~以後に疊出したる音韻書は、宋・丁度の‘集韻’、宋・吳棫の‘韻補’、宋・劉淵の‘禮部韻略’、宋・司馬光の‘切韻指掌圖’、宋・鄭樵の‘七音略’、金・韓道昭の‘五音集韻’、金・韓孝彥の‘四聲篇海’、元・黃公紹の‘古今韻會’、元・陰時夫の‘韻府群玉’、元・劉鑑の‘切韻指南’、専ら我邦に行はれたる‘韻鏡’の類に至る迄、凡そ近世音韻書類の較々著名なるものは、孰れも皆な‘廣韻’に遵はざるはなし。

按ずるに、‘廣韻’は宋・真宗の大中祥符元年(西紀1008)陳彭年が勅を奉じて唐・孫愐の‘唐韻’を増廣修成したるものに係り、‘唐韻’は隋・陸法言の‘切韻’に本づき、而して‘切韻’は隋の開皇年間(西紀581-600)臨潼の陸法言が、蘭陵の蕭該、范陽の盧志道、狄道の辛德源、河東の薛道衡、頓邱の李若、臨沂の顏之推、沛の劉臻等と協力編纂したるもの、當時の漢字一萬二千百五十八字を二百六種の韻礎に分類したる韻尾檢索の大字彙にして、後ち修せられて‘唐韻’となり、又宋に到り重修せられて‘廣韻’となり、所録の字數も二倍の多きに増加したるも、其の分類は依然二百六韻を出入せず、面目一に‘切韻’の規度を逸せざりき。故に世亦た稱して陸法言の‘廣韻’ともいふ。後世其の分類せる二百六韻を繁瑣に過ぐとして、或は併せて百六十韻となし、或は百十六韻、百〇七韻、又た百〇六韻に併約したるものあるも、之れが分合は單へに紙上の類別に止まりて、活きたる時代實際の口音を顧みず、因習相襲いで一千年後の今日に逮びたる

ものなれば、詩人の如き盲目的に唐宋文人の閑技に摸倣せむとする者に在りては、何等の不可思議をも覺らざるべけれ、苟も據つて以て時代實際の音韻を知らむとする學者にとりては、到底‘廣韻’系統の分類法に満足せらるべくもあらず、索むる所着々實際と相符せずして、鄭夾深が所謂“楚人長於音所得從聞入、華人長於文所得從見入。經陸法言切韻、孫愐唐韻、宋又重修廣韻、艱深晦澁、疑義闕文、學者童而習之、白首茫如矣。”の嘆無き能はず。惟だ~~明太祖勅撰の洪武正韻~~あり、努めて時代實際の音韻に符せしめむが爲、斷乎七十六韻に併合して‘廣韻’以來の因襲を打破せむと試みたるは、蓋し一大英斷たるを失はず、固陋の迂儒子をして後へに墮若たらしめたるも、惜むらくは其攷査斷行尙ほ悉さざる所ありしが故に、守舊者流は藉りて以て罵倒の材とし、或は“唇齒不分、清濁莫辨、而韻學益壞矣。”と貶し、或は私臆妄改と譏る。然かも之れを罵り之れを譏る者も其の‘廣韻’を宗とするは、偏へに科擧時代の官韻たりし名に憚るゝ一種の官尊思想よりせるものに外ならざれば、當時に在りてすら、既に其の内容が不可解なりし所以を知らざるなり。唐の李涪が‘刊誤’に云ふ“法言之書、平聲以東、農非韻、以東崇爲切、上聲以董勇非韻、以董動爲切、去聲以送種非韻、以送衆爲切、入聲以屋燭非韻、以屋宿爲切、又言辨之辨、則在上聲、冠弁之弁、則在去聲、舅甥之舅、則在上聲、故舊之舊、則在去聲、皓白之皓、則在上聲、號令之號、則在去聲。”と。又た‘廣韻’が陳を以て平の清とし、辰を以て平の濁となし、起を上清とし、豈を上濁となし、快を去の清とし、湖を去の濁となし、格を入の清とし、閤を入の濁となしたるの類頗る多きは、前人既に屢々之れに惑ひて竟に何の義たるかを解する能はざりし所にして、時代の音韻學者をして“廣韻以四聲分輕清重濁法、皆不使人共解、殆一人一日之音、異人



不能辨異日不能自辨矣”と嗟嘆せしめたるもの一にして足らず。是れを時代の實際に適せしむべく試みたる洪武正韻の努力は、縦令不徹底に終りたるにもせよ、支那に在りては全く破天荒の快舉とせざる可らず。近年北京政府が讀音統一會を創設せるや、時の會長吳稚暉が洪武正韻を指して“五百年來有一種潛勢力、衛古之士時時爭之於紙上、節節失敗於口中”と謂へるは、其の真相を穿ちたるの言といふべし。而して此の洪武正韻の前五十餘年、已に廣韻系統の諸韻書に憚らずして、當時の實際音を中心とせる一種の口語音字典を形り、以て後世洪武正韻以下の活音韻書に之れが基礎を與へたるものは、實に中原音韻の一書なりとす。

## 第二節 中原音韻の内容

中原音韻の著者元の周德清は字を挺齋と呼び江西高安(今遼寧遼寧縣)の人なり。曾て其の詳傳を知る者なしと雖、當時盛行せる詞曲の研究者たりしことは、彼が手記にて之れを推知し得べく、又た好んで詞曲を作りたることも太和正音譜に“周德清之詞如玉笛橫秋”とあるによりて之れを徵すべし。泰定甲子の年(西紀1324)中原音韻の著成るに當りて、當代の名儒虞伯生が推獎的序文を彼に贈りたるを觀れば、彼が詞曲音韻の方面に於て相當重きを爲したるは又た疑ふべくもあらず。德清の中原音韻を編めるや、其の目的主として詞曲音韻の準的たらしむるに在りしが如きも、亦た當時の標準韻書たる廣韻が死したる紙上の因襲音韻に止まりて、實際口語の音韻を示すこと能はざるに慨し、進んで時代の中原音を示さむと期したるものなり。蓋、綺麗の文字を弄んでこれを一定の形式に臚列する唐宋以降の官僚詩は、専ら視覺に訴ふるが常なりし

爲に、重きを實際音に置かざるも尙ほ不可なからむも、詞曲就中當代盛行の北曲の如きは、専ら其價值を聽覺の上に問ふものなるが故に、語句の音韻實際と相協はざれば、決して其調を成す能はざりければ也。德清廣韻を評して曰く“歡娛之娛廣韻音愚四海之人皆讀爲吳、提撕之撕廣韻音西四海之人皆讀爲斯、有誚之者誚讀白字、依其邊傍字音也、犁牛之子駢且角之駢字廣韻音星而讀爲辛、却依其邊傍字音、誚之者而不誚之、蓋知其彼之誤而不知此之謬、前輩編字有云、日月象形、江河諧聲、止戈爲武、如此取義、娛撕二字、依傍有吳斯讀之、又何害於義理、豈不長於傍、是辛而讀爲星字之音乎”と、又た曰く“余嘗於天下都會之所聞、人間通濟之言、世之泥古非今不達時變者衆、呼吸之間、動引廣韻爲證、寧甘受缺舌之誚而不悔、亦不思混一日久、四海同音、上自縉紳講論治道、及國語翻譯國學教授言語、下至訟庭理民、莫非中原之音、不爾止依廣韻呼吸、上去入聲、姑置未暇、殫述略舉平聲、如靴許切在戈韻、車邪遮嗟却在麻韻、靴不協車、車却協麻、元暄鴛言、寰焉俱不協、先却與魂痕同押、煩翻不協、寒山亦與魂痕同押、靴與戈、車與麻、元與煩、煩與魂、其音何以相著、佳街同音與皆同押、不協、哈、哈却與灰同押、灰不協、揮、杯不協、碑、梅不協、糜、雷不協、羸、必呼梅爲埋、雷爲來、方與哈協、如此呼吸、非缺舌而何、不獨中原、盡使天下之人、俱爲閩海之音、可乎、切聞大學中庸及禮記中語、程子取爲二經、定其闕疑、如在親民之親字、當作新字之類是也、聖經尙然、況於韻乎、合於四海同音、分豁而歸併之、與堅守廣韻方語之徒、轉其喉舌、換其齒牙、使執而不變、迂濶庸腐之儒、皆爲通儒、道聽塗說、輕浮市塵之子、悉爲才子矣、余曰、若非諸賢公論如此、區區獨力、何以爭之”と、又た曰ふ“泰定甲子秋、復聞前章餘論、四海之人皆稱父去聲母爲音。廣韻父扶兩切母在韻。婦亦有韻。卦古實切與怪通、副富數切道士呼爲討死之類、猶平聲之所論也、入聲以平聲次第調之、互有可調之音、且



以開口陌以唐內官至德以登五韻閉口緝以侵至乏以凡九韻逐一字調平上去入必須極力念之悉如今之搬演南宋戲文唱念聲腔攷自漢魏無製韻者按南北朝史南朝吳晉宋齊梁陳建都金陵齊史沈約字休文吳興人將平上去入製韻仕齊爲太子中令梁武時爲尙書僕射詳約製韻之意寧忽弱其本朝而以敵國中原之音爲正邪不取所都之內通言却以所生吳興之音蓋其地隣東南海角閩浙之音無疑故有前病且六朝所都江淮之間緝至乏俱無閉口獨浙有也以此論之止可施於約之鄉里矣又以中言之約才如此齊爲史職梁爲大臣孰不行其聲韻也歷陳亡流入中原自隋至宋國有中原才僭如約者何限惜無有以辨約之韻乃閩浙之音而製中原之韻者嗚呼年年依樣畫葫蘆耳南宋都杭吳興與切鄰故其戲文如樂昌分鏡等類唱念呼吸皆如約韻昔陳之後庭花曲未必無此聲也總亡國之音奚足爲明世法惟我聖朝興自北方五十餘年言語之間必以中原之音爲正鼓舞歌頌治世之音始自太保劉公牧菴姚公疎齋盧公輩自成一家今之所編得非其意乎彼之沈約不忍弱者私意也且一方之語雖渠之南朝亦不可行况四海乎予生當混一之盛時恥爲亡國搬戲之呼吸以中原爲則而又取四海同音而編之實天下之公論也余曰晦菴有云世魯連子千載徒悲傷信矣”と德清が中原音韻を撰るの趣旨は實に斯の如く、主として沈約が閩浙方音に偏せるに平らかならず其の脈統に依れる‘廣韻’盲信の徒を覺醒せむと期するに在り。思ふに‘廣韻’は全然沈約の閩浙方音のみを宗としたるものに非ることは勿論なれども其の内容が標準的な中原音に非るは洵に德清の記せるが如く、廣く古今の東西音を兼ね録したる一種の參考音韻字典にして如何なる時代にも實用せらるべき活音字典ならざること、前既に之れを述ぶるが如し。最近民國標準語音の研究者たる黎錦熙が其の‘國語學講義’に於

て‘廣韻’を評し“要之廣韻一書依現今科學分析的眼光看來、可以說是将國音字典、聲音學廣韻中有以開者、古今聲韻變遷考又有以韻分者、南北方音調查錄陸法言自之、及文學的音典孫愔序所謂合爲一書”と謂へるが如く、其の編纂當時に在りて蒐集し得たる全部の材料に基づき、古今五方の有らゆる音韻を収録したるものなれば、或る時代及び或る場所を以て大體の標準たらしむべき實際口語音を知らむとするには據るべき準則を求むるに由なし。

### 第三節 中原音韻と現代 支那の國音

‘中原音韻’は當時の北音に依りて發達盛行したる北曲の音韻を主とし、參するに江南一帶の實際音を以てしたるものなるが故に、其内容は概して今日支那國語統一の大方針と相一致せり。蓋し、元の中心勢力は北方に在りて、統一以來、制度風俗最も標準音の傳播に適したるが爲、北音の弘布、中原音の完成に便あり。斯くて明清を通じたる六百年間は、全然‘中原音韻’及び其の脈統に基ける‘洪武正韻’音の大部分が、自然に一般口語音の標準となり來りたれば也。錢玄同が‘文字學音篇’の一節に、此の状態を論じて曰く“此時南北統一、交通頻繁、集五方之人而共處於一堂、彼此談話、必各犧牲其方音之不能通用者、而操彼此可以共喻之普通音、此普通音之條件有二、一全國中多數人能發之音、二紐韻最簡少之音、多數則普及、易簡少則學習易也”と。試みに今通用する支那國音の尾韻を把つて‘廣韻’系統の紙上韻と‘中原音韻’系統の實際韻とに對比すれば次の如し。



廣韻 (平聲)	平水韻 (平聲)	中原 音韻	洪武正 韻(平聲)	注音 字母	ロー マ字	備考
麻	(三)麻	(三)家麻 (四)車遮	麻 遮	マ セ	a ch	
歌 戈	(三)歌	(三)歌戈	歌	ㄉ ㄉ	ɛ (o)	
尤 侯 幽	(三)尤	(三)尤侯	年	ㄨ	ou	
蕭 宵 豪	(三)蕭 (三)蕭 (三)豪	(三)蕭豪	蕭 交	ㄨ	ao	
魚 虞 模	(六)魚 (七)虞	(五)魚模	魚 模	ㄨ ㄨ	u u	
支 脂 之	(四)支	(三)支思	支	ㄨ	er	注音字母は本韻所屬字に凡を除くの外韻母を作らず、聲母の儘に表はすことせり。
微 齊 灰 哈	(五)微 (八)齊 (三)灰	(四)齊微	齊 灰	ㄨ ㄨ	i ci	
佳 皆	(九)佳	(六)皆來	皆	ㄨ	ai	
庚 耕 清 青 蒸 登	(三)庚 (四)青 (三)蒸	(五)庚青	庚	ㄨ	eng	

東 冬 鍾	(一)東 (二)冬	(一)東鍾	東			注音字母に來る洪武正韻の刪寒韻は其内に含める廣韻庚魂の二韻に屬する各字なり。
侵 眞 諄 臻 文 殷 元 痕 魂 寒 歡 刪 山	(三)侵 (二)眞 (三)文 (三)元 (四)寒 (五)刪	(七)眞文	眞		en	
先 仙 覃 談 鹽 添 嚴 咸 銜 凡	(六)先 (六)覃 (元)鹽 (三)咸	(十)先天	先		an	
江 陽 唐	(三)江 (三)陽	(二)江陽	陽		ang	

大體分合の狀右表の如く、紙上の死韻と實際上の活韻とは、獨り中原音韻に於て其の分界線を劃するを見れば、現代支那國



音の由來を究むるに際し、‘中原音韻’研究の忽にす可らざる所以を知るべく、特に支那語、就中現在及び將來に在りて支那標準語の中心たる北方語音の研究に對しては、‘中原音韻’は實に其の全部に近き資料なりといふも敢て誇言にあらざるを知り得べし。

#### 第四節 中原音韻と日本語

‘中原音韻’は亦日本語の源流を明らむるに於て、甚だ有力なる參稽の資料たり。思ふに、我が國語中の漢字音は、其の漢音たり吳音たり、又た唐音といふも、孰れも日本化したる變音にして、本來の面目を傳ふるもの幾んど之れ有らず。若し各語混入の由來を究めむと欲せば、何に據りてか當時の正音と其の訛成の狀況とを摸索すべきや。殊に吾人が日常無意識に談じつゝある多くの口語中、唐宋以降の支那口語音より意外の疑問を與へらるゝもの屢々なるをや。夫れ例へば、邦語の“思案”の如き、是れ當時の支那語“想(*siang*)——考へる、思ふ”の混入にあらざる乎。物の膨れたるを形容して“フワフワする”とは、支那語の“發發(*fa-fa*)——意味邦語に同じ”を轉用したるものにはあらざるなきか。“交尾む”は、支那語の“孳乳(*tsu-ju*)”と何等の關係あらぬ乎。又た新羅三郎などの三郎が何故サンラウに非ずしてサブラウなりやを考察するに當り、慕容三郎(五代史平話に出づ)の三郎が當時の正音 *Sam-lang* なれば、閉口韻 *m* の唇音を *bi* に受入れ、*ng* を *u* に受入れたるの徑路を確かめむとせば、乃ち相近き關係にある‘中原音韻’の研究に俟たざる可らず。夫の一概に唐音と分類する“行燈”“脚踏子”の類が、輸入當時の支那音と我が慣用音との間如何の差あるやを査せむと欲せば等しく亦た‘中原音韻’に頼るの外あらざるを

知らば、此點より觀たる‘中原音韻’の研究なるものが決して閑却す可らざるを感ずべし。

## 第二章 中原音韻と其異本

#### 第五節 諸本概説

‘中原音韻’には數多の異本類本ありて、其の内容各、多少の差あるのみならず、其の名稱も亦た或は‘中州音韻’と呼び、或は‘中州全韻’と名け、或は單に‘中州韻’と題するの類二三にして足らず。蓋し、元末より明代を通じて、詞曲の學に與はりたる四方の諸人が遞次に‘中原音韻’の内容及び名稱の幾分づゝかを改め來りたるものゝ如く然りとす。然れども、周德清最初の的本と推すべきものは、今や稀觀の珍籍に算へられ、支那にも我邦にも容易くこれを得るこゝ克はず。現在余の知る所にては、支那有數の藏書家として聊城の楊氏と相對し、世に南瞿北楊の稱ある常熟瞿氏の鐵琴銅劍樓に一部の元刊中原音韻を藏せると、我邦にては先年京大の内藤湖南氏が類似の一本を獲藏せらるゝに止まるが如し。余は前年内藤氏に請ふて其の藏本‘中原音韻’を閲讀することを得、最近又瞿氏の藏本が影印公刊せられたるを覽て、兩々相較したるの結果、著作最初の刻刊本は即ち瞿氏の藏本にして、其後更に詞曲同好者の手に改めて刻刊せられたるの一種が内藤氏の藏本なるべきを判定したり。其の理由次の如し。

一、瞿氏の所藏たる元本は刻版刷成並に粗雑、一見元時代に於ける小學書たるべきを感せしむると同時、現存の同種本中最も首尾完全しあり。但、刻版の磨滅、刷出の亂粗、往々讀



み能はざるの個處尠なからざるに徴せば、元刊本中の最終期に成りたるものなるべし。

二、内藤氏の藏本は瞿氏の其れに較べて版式整齊、刷出鮮明、其の内容は相同じきも、翰林學士歐陽玄、青原・羅宗信等の序文を缺けるのみならず、他の何種本にも收めある虞集伯生の序文も若干後人の改削を経たりし跡あること後出本に同じ(第九節參照)く、虞序には此書の名を‘中州音韻’と認めありたること瞿氏の元本に明らかなるに内藤氏の的本には‘州’を‘原’に改めあり、而かも此‘原’の一字だけが特に擴大されありて、後人嵌改の俥歴然たり。

三、依て判するに、此書は初め著者周德清が‘中州音韻’の名を以て、先づ其同情者たる先輩虞集に之れが序文を求めたる後、彌々刻版に付して同好に頒たむとするに當り、茲に‘中原音韻’と定名して急遽世に出だせるものなるべく、當時刷出の最終期に成りたる一本が現に瞿氏の手元に保存せるもの是れにして、後年原版の磨滅に因り、同學者が別に序文などの刪去改訂を行ひたる上、刻版を新たにしたる一本が乃ち内藤氏の所藏なるべし。其虞序中、“州”字を“原”字に刻り代へたるは筆者虞集の歿後書名統一の見地より敢てせるものなること亦た想察に難からず。而して‘四庫全書’所録の底本が此種に屬せるを見れば、瞿氏所藏の元本は早く已に世に其影を潜め、内藤氏所藏の一種が的本として後世に傳へられたるものなりとす。

又た葉德輝の藏書目錄にも‘中原音韻’の記載あれども、其書既に明刻本とあり、且つ著者德清の字挺齋をば艇齋と誤刻しあるが如きは、是れ明代後出の異本なること明けしといふべし。此他‘四庫全書’及び‘嘯餘譜’中に収録せられたる‘中原音韻’は俱

に的本の面目を傳へ、我が内閣文庫に藏せらるゝ明刊本‘中州音韻’は佐伯の毛利家より獻呈せられたるものと傳へられ、明の中葉吳興の王文璧が増註補訂したるものにして、内容的本と大差あるの點が寧ろ參稽の好資料たるべく、又た現今比較的多くの部數が世に流布せるものに、一種の‘中原音韻’あり、王文璧の増註本を更に古吳の葉以震が較正したるものにして同じく明代の編纂に係るものと推せらる。我が京大狩野博士の藏せらるゝものに‘中州全韻’一種あり、全筆寫本にして、様式亦た‘中原音韻’に酷似せるも、其の東鍾韻を東同韻としたるが如き、所録字數の非常に増加しあるの點より觀て同巧異曲の類本とすべく、尙ほ‘小學攷’に據れば、李祁の序文あるもの及び明の蔡清が序せるもの、何璫が序せるもの、祝允明が序せるものありといふも、恐らく咸な大同小異の類似本なるべきや。近年北京大學にて公刊したる‘中州音韻’一本は、我が内閣所藏本と同種の‘中州音韻’を底本として、西吳の張漢が少許の重校を加へたるものに過ぎず。

## 第六節 周德清初刻本

是れ現存の‘中原音韻’中最も信憑すべきものなるべく、内容甚だしく後出の諸本と異れり。‘四庫全書’の總纂官等此の‘的本中原音韻’を提要して曰く

臣等謹案中原音韻二卷元周德清撰德清字挺齋高安人是書成于泰定甲子原本不分卷帙考其中原音韻起例以下即列諸部字數正語作詞起例以下則列作詞諸法蓋前爲韻書後爲附論畛域顯然今據此蓋爲二卷以便省覽其音韻之例以平聲分爲陰陽以入聲分隸三聲分爲十九部蓋全爲北曲而作考齊梁以前平上去無別至唐時如元微之諸人作長律尙有遺風惟入



聲則各自爲部。不叶三聲。詞曲本里巷之樂。不可律以正聲。其體  
類于唐。而唐無詞韻。凡詞韻與詩皆同。其法密于宋。漸有以入代  
平。以上代平諸例。而三百年。作者如雲。亦無詞韻。間或參以方音。  
但取歌者順吻。聽者悅耳而已矣。至元而中原一統。北曲盛行。既  
已別立專門。自宜各爲一譜。此亦理勢之自然。德清乃以後來變  
例據一時。以排千古。其偵殊甚。然德清輕詆古書。所見雖謬。而所  
定之譜。則至今爲北曲之準繩。或以變亂古法詆之。是又不知樂  
府之韻本于韻外別行矣。故今錄存其書。以備一家之學。而併論  
其源流得失如右。

と、守舊頑迷の渦中に在りて、或は重古輕今に媚びざる可らざる  
乾隆の史官等が「中原音韻」の未曾有なる分部に首肯しつゝ、  
も、尙ほ「詞曲本里巷之樂不可律以正聲」と貶し、又た「所見雖謬。  
而所定之譜。則至今爲北曲之準繩」と云ふ。彼等の所謂正聲に較  
べて、此書が如何に實際上の價值あるかは、彼等自身も言明す  
る能はざるの状を見るべく、官儒の面目躍如たると共に、併せ  
て「中原音韻」の價值一斑を知るに足るべし。

即ち的本は以上の提要に示せるが如く、全一卷の完本にして、  
首めに虞集以下の序文を收め、次に德清の起例一篇を載す。  
其の韻書本文の體裁は

東 鍾

平 聲

陰

東冬○鍾鐘中忠衷終○通蕭

の如き一定の排列式を以て十九韻五千九百三十字を順次に  
収録し、次に「正語作詞起例」を誌すこと詳密、或は「廣韻」の缺點  
を指摘し、或は諸方音の弊病を掲げ、更に「辨明古字略」「釋義字  
樣」の註解に次ぎて、樂府の調目、作詞諸法を解説し、最後に詞

の定格四十首を附載して一々其の用字用語を論評したるも  
のなり。但し、此の的本の韻書としての部分には、單に各字を  
尾韻と聲別(陰平陽平上聲去聲入  
聲作平上去の諸別)とに分類したるのみにて、各  
字の音義を註せざるが故に、此書は當時専門的に詞曲を取扱  
ひたる作者などに向つて、大體の韻別を示したりといふに止  
まり、未だ德清が主張する中原正音の詳細を悉くす能はず、從  
つて德清が本書編纂の一目的たる「廣韻舊來の失を訂すの抱  
負に副はず。所謂「龐涓呼爲龐堅泉堅堅而流始可乎。陶淵明呼  
爲陶烟明。魚躍于烟可乎。一堆兒爲一醉平聲兒。捲起千醉平聲雪可乎。  
羊尾子爲羊椅子。吳頭楚椅可乎。來也未爲來也異。辰巳午異可乎。  
此類未能從命。以待士夫之辨」の如き、德清が問ふ所に對しても  
未だ其の涓たり堅たるを直解すべき便あることなし。

依つて之を觀れば、此の的本は就ち德清最初の公刊物にして  
其の目的主として曩に手記せる稿本の誤り傳へられたるを  
訂し、併せて作詞に關する彼の蘊蓄を世に問はむが爲なるべ  
きこと、起例の一項に

中原音韻的本內平聲陰如此字陽如此字蕭存存欲駸梓。以啓  
後學。值其早逝。泰定甲子以後。嘗寫數十本。散之江湖。其韻內平  
聲陰如此字陽如此字陰陽如此字。夫一字不屬陰則屬陽。不屬  
陽則屬陰。豈有一字而屬陰又屬陽也哉。此蓋傳寫之謬。今既的  
本刊行。或有得余墨本者。幸毋譏其前後不一。

とあるに由りて略ぼ推知せらる。文中の蕭存存とは德清の  
友なるべく、卷首起例の冒頭に「青原蕭存存。博學工於文詞。每病  
今之樂府」云々、又た「泰定甲子。存存托友張漢英。以其說問作詞  
之法於予」云々、とあり、別に其の後序に「泰定甲子秋。予既作中  
原音韻并起例。以遺青原蕭存存」云々とあるを見れば、存々は當  
時德清の熱心なる詞友にして、而して常に德清に兄事したる



が如ければ、徳清手記の稿本を見て、之れを世の同好者に頒たむが爲、數十の墨本を江湖に散らせしといふは、固より有り得べき事柄なると共に、其間傳寫の誤謬が生じたらむことも亦た想見せらるゝ所なりとす。

### 第七節 王文壁の増註本

王文壁の増註本は、其名を‘中州音韻’といひ、卷首に虞集の序文を載せたるを、其の分韻が東鍾より廉纖に至る十九部に於て、且つ入聲全部を平上去の三聲に分屬せしめたるの點は、的本と異なる所なければ、他の諸起例以下、作詞法、詞論に關する諸記述、及び徳清の後序等は、一も之れに收めあらず、殊に平聲に陰陽の別あるを認めざると、所録字數の的本よりも増加せること三千七十二字に及びたるを、並びに全書通じて各字の意義を註せるの點は、著しく的本と相違ひたり。卷末附載せる明人(張其な)の後序によれば

洪惟我

太祖高皇帝稽古右文、萬幾之暇、親閱韻書、以其起於江左、殊失正音。

命儒臣隨音刊正、爲洪武正韻、悉去沈約之陋、惟以中原雅音爲定、列聖相承百三十餘年于茲、車書一統之盛、度越前古、信吾夫子所謂郁郁乎文哉、吾從周是已、說者以中原雅音、即中州音韻、高安周徳清先生所著也、分韻定字、虞文靖公識之詳矣、其間殘缺失次者亦多、一起而正之者何人耶、先宜人母弟王文壁先生、通書史、善音律、參互考訂、而加修飾焉、缺者補之、訛者正之、音切注釋、視舊本尤詳、以予竊祿闔中、附以示教、不(我内閣所藏本に、は以下缺けたり)

とあり、其の“列聖相承百三十年于茲”より推算すれば、此書の

成りたるは明の中葉弘治末年、正徳初年の交にありて、文壁が此書の底稿としたるは、思うに的本以外の別種本なるべく、殊に其の凡例に依れば“翻切圈注一遵洪武正韻、其舊本有而正韻無者、闕之、或正韻有而舊本少者、補之”とあるにも拘はらず、具さに内容を檢覈すれば

‘洪武正韻’平聲第十九尤部、尤の屬は于求切なるも、‘中州音韻’は移鳩切にして而かも悠攸蚰三字は‘洪武正韻’此部に收めず、悠と攸とは於尤切に録し、蚰は逸字に録しあり。

丘の屬は‘洪武正韻’に驅尤切なれども、‘中州音韻’は溪由切とあり、丘丘蚯龜の四字を收めたれ共、‘正韻’には蚯蚯の二字を缺けり。

鳩の屬は‘洪武正韻’居尤切なれ共、‘中州音韻’は飢由切にして而かも其五字中闕軒の二字は‘正韻’此部に收めあらず。

凡そ此の如く、其の凡例誌す所と相符せざるもの全篇を通じて比々皆然りとす(第三章第十節、二節參照)、内藤博士の説に據れば、明代の韻書は那れも‘洪武正韻’に媚ぶるが爲、事實‘正韻’に違はざるものも皆な斯かる凡例を入るゝが常なりと謂へば、文壁の‘中州音韻’も亦た其の例に洩れざるものなるべく、要するに此書の内容は、的本と相距る甚だ遠きものなりといふべし。

### 第八節 葉以震の校正本

王文壁の増註本出でたるの後、古吳の葉以震なる者あり、文壁増註の‘中州音韻’に手訂を加へて‘重訂中原音韻’一部を公刊したり。以震の閱歴及び其學問に就ては、今これが推考の材料を得ざれ共、其の時代が文壁の後、萬曆の進士臧晉叔が‘元曲選’を編むの前に在りたることは、晉叔が曲選音釋の註入に際し、文壁及び以震の襲用したる幾多不適當の音切をば一々改



め用ゐたるに觀て之を揣るべし(第四節)。此書“度曲須知諸名家定本”の記あり、一二の二卷に分れ、順序概して的本の韻書部分と相等しけれ共、所録の字數は文璧の増註本よりも更に増すこと六百二字にして總數八千七百七十字を算し、之れを的本に比すれば、實に三千百十二字の多きを加ふ。但、各音各字排列の順序次第は的本と差あること極めて尠く、文璧増註本の亂雜極りなきに較ぶべくもあらず。特に平聲陰陽の區別正しくして、且つ舊本無くして文璧以降に増加せられし文字は、一々×符を施こしあるものを査するに、是れ亦た的本との差餘りに甚しからざるを觀れば、以震が此書を成すに當りて文璧増註本と共に較正の用に供したる他の一本は、或は前記の德清初刻本なるやを思はしめざるに非るも、然かも、所録各字の出入に就きて細かに考査を重ねる時は、是れ未だ遽かに斷じ易からずとす。故金井保三氏が文璧増註本と此書とに關し“王文璧が考訂補正になるといふ内閣本も決して原形のものにあらずして卓周合併韻とかいふものなどにやあらん”と謂ひ、‘也是圖書目’に録しある元・卓從之の‘中州韻’の類が王文璧の底本なるべきも、現存の文璧増註本は決して其の原形に非ずとし、却つて此の葉以震較正本もて眞の王文璧本なりと斷じたる(東洋學報第三卷)は、是れ或は當り或は當らざるが如し。何となれば、文璧は書史に通じ音律を善くしたらむも、詞曲の方面には曾て其の名を聞くことなく、從つて詞曲に興味ありて‘中州音韻’の増註を試みたるにはあらで、寧ろ中原雅音の根本韻書として开を扱ひしものなることは、後序(前掲)によつて之れを想像し得らるゝが故に、殘缺失次の底稿を將て敢て平聲の陰陽を念とせざりしが如きは、‘洪武正韻’に媚ふる明代音韻學者の常として、寧ろ却つて當然の措置と見做すべく、之れに

反し葉以震は、専ら度曲の方面より作家の定本たらしめむが爲めに此書を較正したるものなれば、他の的本若くは的本に近き底稿に據りて、文璧の無視せる平聲の陰陽をば新たに復活したりと想像せらるべければ也。

### 第九節 諸本の異同

現存の‘中原音韻’諸本に就て、彼此の異同一斑を攷ふるに、王文璧及び葉以震が據つて底稿としたる‘中原音韻’は果して何種のものなりしか、文璧増註の‘中州音韻’に的本の如く虞集の序文を載せ、以震の較正本には、其の凡例に的本起例の若干を文璧及び自己の手記若干と相混じて録載せるを見れば、何れも其の底稿が德清初刻の的本なるが如けれども、然かも的本には各字の音切及び義註を缺けること前既に述べたるが如くなれば、此點既に相符せず。若し文璧増註の意義を解して“註だけを増したる”ものとせば、其の音切註釋の都ては文璧が始めて増入れたりと見らるべけれ、斯くては所録文字の各出入せること餘りに多きの事實と相符せざるのみならず、文璧本の後序に“音切註釋視舊本尤詳”とありて、文璧の底本が既に音切註釋の一と通り入れありたること一致せず。若し又た“増註”の義を解して“舊本よりも更に多くの註を増し加へたる”の意と解せば、則ち前記後序の句意と膾合するも、然かも卷首に收めたる虞集の序文すらの本所録のそれと相違ふこと、左に一斑を見るが如きは何ぞや。

此韻頭ハ中  
州音韻ニ録  
セルモノガ  
本ト差アル  
點ヲ指示ス

樂府作而聲律盛。自漢以來然矣。魏晉隋唐體製不一。音調亦異。往往於文雖工。於律則弊。宋代作者如蘇子瞻變化不測之才。猶不免製詞如詩之誚。若周邦彥姜堯章輩。自製譜曲。稍稱通律。而詞氣又不無卑弱之憾。



辛幼安自北而南元祐之在金末國初雖詞多慷慨而  
音節則爲中州之正學者取之我朝混一以來朔南暨  
士夫ニ作ル聲教士大夫歌詠必求正聲凡所製作皆足以鳴國家  
北クハ江ニ作ル氣化之盛自是北樂府出一洗東南習俗之陋大抵雅  
學者之ニ作ル樂之不作聲音之學不傳也久矣五方言語又復不類  
尤ハ猶ニ作ル近ハ道ニ作ル心ハ以ニ作ル韻ハ一字ヲ缺ク工ハ文ニ作ル原ハ別ニ作ル變化雅樂ニ作ル  
聲似去河北河東取韻尤遠吳人呼饒爲堯讀武爲姥  
說如近魚切珍爲丁心之類正音豈不誤哉高安周德  
1 清工樂府善音律自著中原音韻一帙分若干部以爲  
正語之本變雅之端其法以聲之清濁定字爲陰陽如  
高聲從陽低聲從陰使用字者隨聲高下措字爲詞各  
犯凌ニ作ル有攸當則清濁得宜而無凌犯之患矣以聲之上下分  
成ヲ脱ス韻爲平仄如入聲直促難諧音調成韻之入聲悉派三  
聲誌以黑白使用韻者隨字陰陽置韻成文各有所協  
差ニ作ル則上下中律而無拘拗之病矣是書既行於樂府之士  
豈無補哉又自製樂府若干調隨時體製不失法度屬  
律ハ韻ニ作ル工ハ宮ニ作ル2 律必嚴比事必切番律必當擇字必精是以和於工商  
合於節奏而無宿昔聲律之弊矣余昔在朝以文字爲  
職樂律之事每與聞之嘗恨世之儒者薄其事而不究  
矣ニ作ル心俗工執其藝而不知理由是文律二者不能兼美每  
朝會大合樂樂署必以其請來翰苑請樂章唯吳興趙  
公承旨時以屬官所撰不協自撰以進并言其故爲延  
祐天子嘉賞焉及余備員亦稍然擧括終爲樂工所哂  
不能如吳興時也當是時苟得德清之爲人引之禁林  
相與討論斯事豈無一日起余之助乎惜哉余還山中  
有ヲ脱ス既且癡矣德清留滯江南又無有賞其音者方今天下  
治平朝廷將必有大製作興樂府以協律如漢武宣之

世然則頌清廟歌郊祀據和平正大之音以揄揚今日  
之盛者其不在於諸君子乎德清勉之 前奎等閣侍

前奎閣侍書學士ノ八字ヲ脱ス 3 書學士雅虞集書

更に之れを元本所録と對比するに、又少許の差あること。

- 1 中原音韻一帙ハ元本ニ中州音韻一帙トアリ
- 2 比事ハ元本ニ比字トアリ、工商ハ宮商トアリ
- 3 雅虞集ハ元本ニ雅字ナシ

又著者德清の後序を把つて元本の的本以下の後出本とを對  
較するに、其差異大なること次に示す所の如し(全文ハ元本所  
テ龍頭ニ註明セルハ的本以下)  
後出本ニ改削加減シタルモノ)

願ニ作ル  
以下四字ナシ  
禮ト英トノ間ニ  
子時ノ二字ヲ加  
フ  
杯ハ籠ニ作ル  
ノ前ニ合ノ一  
字ヲ加フ  
字ハ余トノ間ニ  
本ト壁トノ間ニ  
字ヲ加フ

其以下十五字ナ  
シ  
瓦ノ一字ナシ  
歌以下四字ナシ  
瓦ノ一字ナシ  
瓦以下七字ハ求  
能正其音之説ノ  
七字ニ作ル  
而以下六字ナシ  
説以下四字ナシ  
自同ハ自用ニ作  
ル  
錦ト則トノ間ニ  
以證其非復初知  
某ノ八字ヲ加フ  
四庫本知ハ之ニ  
作ル  
復以下三字ナシ  
音ト也トノ間ニ  
者ノ一字ヲ加フ

秦定甲子秋予既作中原音韻并起例以遺青原蕭存  
存未幾訪西域友人瑣非復初讀書是邦同志羅宗信  
見餉携東山之妓開北海之樽英才若雲文筆如粟復  
初舉杯謳者歌樂府四塊玉至彩扇歌青樓飲宗信止  
其音而謂予曰彩字對青字而歌青字爲晴吾揣其音  
此字合用平聲必欲揚其音而青字乃抑之非也晴昔  
嘗聞蕭存存言君所著中原音韻迺正語作詞之法以  
別陰陽字義其斯之謂歟細詳其調非歌者之責也予  
因大笑越其席捋其鬚而言曰信哉吉之多士而君又  
士之俊者也嘗遊江海歌臺舞榭觀其稱豪傑者非富  
即貴耳然能正其語之差顧其曲之誤而以才動定之  
者鮮矣哉語未訖復初前驅紅袖而自同調歌曰買笑  
金纏頭錦則是矣乃復嘆曰予作樂府三十年未有如  
今日之遇宗信知某曲之非復初知某曲之是也舉首  
四顧螺山之色鷺渚之波爲之改容遂捧巨觴於二公  
之前口占折桂詞一闋煩皓齒歌以送之以報其能賞  
音也明當盡携音韻的本並諸起例以歸知音調曰宰



亦ト聲トノ間ニ  
大ノ一字ヲ加フ  
聲以下四字ナシ  
五ノ一字ナシ  
也ノ一字ナシ

金頭黑脚天鵝客有鍾期座有韓娥吟既能吟聽還能  
聽歌也能歌和白雪新來較可放行雲飛去如何醉觀  
銀河燦燦蟾孤點點星多歌既畢客醉予亦醉筆亦大  
醉莫知其所云也挺齋周德清書。

相差すること斯の如し。而して此の序文中、字の陰陽を分別したる德清の的本を顧すること彼れが如く明らかに、德清の起例も亦専ら力を陰陽の區別に注ぎ“字別陰陽者陰陽字平聲有之上去俱無上去各止一聲平上去有三聲有上平聲有下平聲上平聲非指一東至二十八山而言下平聲非指一先至二十七咸而言前輩爲廣韻平聲多分爲上下卷非分其音也殊不知平聲字字俱有上平下平之分但有有音無字之別非一東至山皆上平一先至咸皆下平聲也如東紅二字之類東字下平聲屬陰紅字上平聲屬陽陰者即下平聲陽者即上平聲試以東字調平仄又以紅字調平仄便可知平聲陰陽字音又可知上去二聲各止一聲俱無陰陽之別矣”云々と述べあるにも拘はらず、文璧の増註本には内に陰陽の別を示さざるのみならず、其の凡例にすら一言此の事に及ばざるは、是れ確實に文璧の底本が的本以外の他種本たりしを斷じ得べく、若し文璧にして當時的本に寄りたるものなりせば、縦令其の書が如何に残缺失次の不完本なりしにせよ、又た‘洪武正韻’の陰陽無きに違ひたるにもせよ、せめては其の凡例に於て言句茲に及ぶべき筈なりと謂ひ得べし。

獨り葉以震が後其の較正に用ゐたるの底本は、其の書の様式内容が相近きの點より見て必らず的本たるべく想像し得らるゝも、然かも各字の音切註釋が、文璧増註の前既に略存したるものとし、又たこれに關連せる重要なる部分、例令ば、的本所録字にして、葉本に缺くるもの百七十二字を算へ、的本所録字に、以震が後人増加の符を施こしあるもの五十三字に及べ

るが如き、亦た以震の底本が直ちに的本なりと猜し難き所以なり。因て揣摩するに、文璧の底本は恐らく蕭存々等が散布せる陰陽混亂の墨本、若しくは其の系統に屬せるものにして、以震の底本は様式的本と同一なる他の別種本なるなからむや。德清の起例中“逐一字解註中原音韻見行刊雕”の獨立せる一項あるは、是れ或は德清が其の的本刊行と相前後して、別に韻書の部分のみを引離し、一々各字の音切註釋を示せる一種の單行本を刊雕しありたることを語るものにして、而して以震の底本は斯かる系統より來れるものに非るなき乎。故金井氏の研究中、此の一項を論じて是れ文璧増註の‘中州音韻’を指せるものなりとし“分韻法は中原と同一なれども、平聲を陰陽に分つことなく、文字列擧の法亦紛然雜然として一定の秩序なし、たゞ同音の頭字毎に一々反切を記し、且つ每字其意義を註せるより見れば、中原韻の起例に所謂逐一字解は‘中州音韻’に註して理(現の誤植)に刊雕を行ふといへるもの蓋しこれならん”と云ふも、的本には‘中原音韻’とあり、且つ斯かる譯讀にては其の意義何たるかを摸索す可らざるを奈何せむや。

要するに、‘中原音韻’は異本類本の種類甚だ多きこと、前既に之れを述べたるが如く、而して其の内容も諸本各々多少の差あり、傳寫刻版の誤(的本最も少く、王本之)等、算へ來らば幾んど同一物あらざるが如けれ共、其が系統を大別すれば、則ち的本の如き音註義註なきものと、文璧本の如く其れあるものとの二種に別たれ、亦陰陽區別なきこと文璧本の如きものと、其の區別判然たることの本の如きものとの二種にも分ち得べしと想像せらる(後出の未見)。而して現存の諸本中、余が今研究に用ゐたる的本、王本(文璧)、葉本は、孰れも其の意味に於て代表的性質を帶べるものと謂ひ得べし。次に余が調査せる此



の三種本内容の出入一斑を表示して、以て四方研究者の批判  
 參稽に備ふ。

的本王本葉本所録字出入異同一覽表

韻別	聲別	音種	的本=收メアル總字數内容				王本又ハ葉本ノミニアル總字數内譯			
			總字數	王本 ニナシ	葉本 ニナシ	葉本ノ ミニアル モノ	總字數	王本 ニナシ	葉本 ニナシ	葉本ノ ミニアル モノ
東 鍾	陰平	20	82	12	1	0	49	1	0	16
	陽平	16	92	5	4	1	39	1	0	11
	上聲	20	37	3	1	0	30	2	1	14
	去聲	20	47	5	0	0	25	0	0	11
	小計	76	258	25	6	1	143	4	1	52
江 陽	陰平	27	110	8	3	1	47	2	1	20
	陽平	23	97	11	0	2	42	2	1	13
	上聲	30	58	7	1	0	41	0	0	21
	去聲	42	95	18	1	1	45	4	1	24
	小計	122	360	44	5	4	175	8	3	78
支 思	陰平	6	48	4	1	0	25	0	0	5
	陽平	4	20	2	1	0	3	1	0	2
	入作平	1	0	0	0	0	1	0	0	0
	上聲	7	40	3	2	0	9	0	0	4
	入作上	3	3	0	0	0	1	0	0	0
齊 微	去聲	8	59	3	1	0	12	0	0	7
	小計	29	170	12	5	0	50	1	0	18
	陰平	25	136	16	9	0	67	2	0	18
	陽平	25	154	13	3	2	74	1	0	17
	入作平	11	34	4	1	0	34	0	0	9
寒 山	去作平	1	1	0	0	1	0	0	0	0
	上聲	32	106	13	2	0	63	0	0	18
	入作上	21	83	4	2	1	71	1	0	16

	去聲	46	252	64	4	0	164	6	1	39
	入作去	9	47	5	0	0	29	0	0	7
	小計	170	813	119	21	4	502	10	1	124
魚 模	陰平	24	99	12	2	1	55	3	1	19
	陽平	18	134	8	3	2	49	3	1	15
	入作平	16	38	7	5	0	38	0	0	11
	上聲	32	118	12	1	0	52	1	0	26
	入作上	25	55	5	0	1	61	0	0	14
皆 來	去聲	34	148	20	1	0	81	0	0	29
	入作去	7	32	1	0	0	10	0	0	5
	小計	156	624	65	12	4	345	7	2	119
	陰平	18	36	1	1	1	17	1	0	8
	陽平	17	41	2	1	0	16	0	0	12
眞 文	入作平	5	9	1	1	0	13	0	0	5
	上聲	21	33	1	1	0	19	0	0	14
	入作上	12	37	3	2	0	26	0	0	8
	去聲	30	89	8	1	0	50	0	0	25
	入作去	3	10	2	0	0	4	0	1	2
寒 山	小計	106	255	18	7	1	145	1	1	74
	陰平	37	96	6	1	0	64	1	0	27
	陽平	24	89	1	0	1	21	2	1	11
	上聲	33	56	8	1	0	36	0	0	15
	去聲	46	83	11	0	0	72	1	1	30
寒 山	小計	140	324	26	2	1	193	4	2	83
	陰平	19	52	1	0	0	15	0	0	10
	陽平	14	39	1	0	0	18	0	0	10
	上聲	18	30	1	0	0	20	1	0	12
	去聲	34	88	23	1	0	42	2	1	21
	小計	85	209	26	1	0	95	3	1	53



桓 歡	陰平	11	24	1	0	0	6	0	0	4	
	陽平	7	42	3	0	0	19	1	0	6	
	上聲	10	20	2	0	0	9	0	0	6	
	去聲	16	43	9	1	0	23	1	1	8	
	小計	44	129	15	1	0	57	2	1	24	
先 天	陰平	22	85	2	0	0	37	0	0	16	
	陽平	20	76	1	0	1	35	1	0	14	
	上聲	27	69	7	1	0	50	1	2	19	
	去聲	35	101	34	0	0	78	0	0	26	
	小計	104	331	44	1	1	200	2	2	75	
蕭	陰平	33	131	23	19	0	57	0	0	16	
	陽平	20	110	7	5	0	59	0	0	16	
	入作平	14	20	2	0	0	18	0	0	10	
	上聲	38	99	17	9	0	46	2	0	18	
	入作上	24	48	13	2	0	27	0	0	12	
豪	去聲	46	136	34	13	4	87	2	3	31	
	入作去	9	34	4	0	0	10	0	0	6	
	小計	184	578	100	48	4	304	4	3	105	
	歌 戈	陰平	14	45	8	0	0	12	0	1	7
		陽平	10	52	9	4	0	23	1	0	8
入作平		13	25	8	0	1	11	0	1	4	
上聲		20	36	8	0	1	21	1	0	10	
入作上		20	17	2	0	0	62	0	0	19	
家	去聲	22	47	9	1	0	16	0	0	11	
	入作去	9	32	14	10	0	8	0	0	3	
	小計	108	254	58	15	2	153	2	2	62	
	家	陰平	13	52	8	0	0	31	0	0	10
		陽平	10	25	3	1	0	12	0	0	8
入作平		9	21	3	0	0	19	0	0	9	

麻	上聲	15	19	4	0	0	19	0	1	10	
	入作上	19	33	1	0	0	44	1	0	14	
	去聲	21	53	8	0	1	35	0	0	16	
	入作去	7	14	1	0	1	20	0	0	4	
	小計	93	217	28	1	2	180	1	1	71	
車	陰平	7	9	0	0	0	2	0	0	2	
	陽平	7	11	0	0	0	6	0	0	5	
	上作平	2	0	0	0	0	2	0	0	2	
	入作平	11	21	3	0	0	42	1	0	10	
	上聲	9	16	0	0	0	3	0	0	3	
遮	入作上	21	67	5	0	0	51	1	0	14	
	去聲	7	20	2	1	2	7	0	0	4	
	入作去	8	32	2	0	1	34	1	0	8	
	小計	72	176	12	1	0	147	3	0	48	
	庚 青	陰平	28	119	15	3	1	31	5	0	12
陽平		26	133	23	6	0	51	2	0	15	
上聲		21	59	10	1	1	18	1	0	7	
去聲		33	88	13	3	7	30	1	0	16	
小計		108	399	61	13	9	130	9	0	50	
尤 侯	陰平	21	71	5	0	0	34	0	0	14	
	陽平	14	84	4	1	0	28	0	0	12	
	入作平	4	3	0	0	0	6	0	0	3	
	上聲	24	63	8	4	2	34	0	1	13	
	入作上	3	4	0	0	0	3	0	0	2	
侯	去聲	28	93	6	1	6	40	1	0	15	
	入作去	2	3	0	0	0	1	0	0	1	
	小計	96	321	23	6	8	146	1	1	60	
	侵	陰平	13	37	3	1	2	6	1	0	3
		陽平	8	39	5	0	0	7	0	0	4



尋	上聲	10	22	3	2	1	7	0	0	4
	去聲	15	32	4	2	1	8	0	0	6
	小計	46	130	15	6	4	28	1	0	17
監	陰平	18	46	9	3	1	19	1	0	9
	陽平	10	40	4	3	1	8	0	1	4
	上聲	14	32	6	0	1	23	0	0	10
咸	去聲	23	45	7	6	1	25	0	0	12
	小計	65	163	26	12	4	75	1	1	35
	陰平	12	37	5	1	0	17	0	1	11
廉	陽平	11	24	2	2	0	10	0	1	6
	上聲	11	26	5	3	1	21	0	0	8
	去聲	16	32	5	4	1	19	0	0	8
織	小計	50	119	17	10	2	67	0	2	33
	累計	1,854	5,830	734	172	53	3,136	64	24	1,185

### 第三章 中原音韻の音種

#### 第十節 諸本に録したる總音種

中原音韻諸本(的、王、葉、三種)に録しある總音種を各韻別にして之れを觀れば

- |         |       |         |       |
|---------|-------|---------|-------|
| (一)東鍾韻  | 七十六種  | (二)江陽韻  | 百二十二種 |
| (三)支思韻  | 二十九種  | (四)齊微韻  | 百七十種  |
| (五)魚模韻  | 百五十六種 | (六)皆來韻  | 百〇六種  |
| (七)真文韻  | 百四十種  | (八)寒山韻  | 八十五種  |
| (九)桓歡韻  | 四十四種  | (十)先天韻  | 百〇四種  |
| (十一)蕭豪韻 | 百八十四種 | (十二)歌戈韻 | 百〇八種  |

- |         |      |         |      |
|---------|------|---------|------|
| (十三)家麻韻 | 九十三種 | (十四)車遮韻 | 七十二種 |
| (十五)庚青韻 | 百〇八種 | (十六)尤侯韻 | 九十六種 |
| (十七)侵尋韻 | 四十六種 | (十八)監咸韻 | 六十四種 |
| (十九)廉纖韻 | 五十種  |         |      |

にして、總音種實に千八百五十三種を算するも、こは德清の起例に所謂“音韻内每空是一音、以易識字爲頭、止依頭一字呼吸更不別立切脚”とある每音の頭に入れたる音界符〇と、王、葉本のそれとに基きて計算したるものなれば、其内各本排列の異同により、或は音註の同一なるもの、及び寫音法に異ありて實質同一なるものを合併分別すれば、四聲を通じて攷定せらるゝの總音實に五百五十音、外に家麻韻<sup>82</sup>にある<sup>△</sup>廝、の一字は、他に推攷の材料を得難くして今的確の音を註する能はざるが故に、暫らく之れを他日の研究に譲れり。

#### 第十一節 音種攷定の方法

‘中原音韻’諸本に示されたる音種が如何なるものなるやは、一に其の反切及び“叶某”の如き寫音法に頼らざる可らざるが故に、先づ其の音註に用ゐたる反切字が當時如何なる音にて通用せられたるかを確認するを要し、斯くて確かめ得たる比較的少數の字音より一種の類推を試むるを要す。即ち余は次の方法を將て最後の攷定を斷じたり。

1. 古來我邦に用ゐられたる漢字音、及び佛經が支那に入りて以降、其の翻譯に用ゐられたる漢字音によりて唐宋代に傳はりたる一種の中古音を假設し、一方現代音より遡りたる想像音を之れに接續せしめ
2. 唐宋の諸語録、‘樂府’に散見する俚歌俗謠‘宣和遺事’、‘京本通俗小説’、‘五代史平話’、等口語との關係密邇なるも



のより、元代の俗曲、詔令、明代以降の諸小説類を現代口語音讀と對比して、其の音調關係を判斷し。

3. '漢書' '後漢書' 以降、各時代に現はれたる外國地名の漢字譯音を參照し。
4. 西人の記録に散見せる當時の地名人名を漢字と相對して其字音を參考し。
5. '方言'、'新方言'、及各地方言を録したる諸書より其の交互字音を判斷して之れを現代各地方音と相對し。
6. 當時の支那音もて蒙古語音を寫したる'元朝秘史'所録の漢字を'中原音韻'所録字と相對し。

終りに當時の支那音を傳へたる朝鮮音書'四聲通解'及び'三音聲彙'によりて所要の字音を索め致へたり。

'三音韻彙'は韓英宗の二十七年(清の乾隆十六年、西紀千七百五十一、我が寶曆元年)、世子師金在魯が'三韻通考'増補の計劃を立て、洪純甫をして編纂せしめたるものなること、其の序に“(前略)今大司馬洪君純甫、自少精於字學兼通華語、慨然有意於修整、不佞竊喜而屬託之、純甫積年用功、發凡起例、華音則以洪武正韻字母爲主、而一從四聲通解諺翻之音”云々とあり、又た其の凡例に“三韻通考失之太略、後有増補、尙多未備、今就印行、増韻參以韻會洪武正韻、更加補入”云々とあるによりて明らかなり。而して此書が靠つて以て支那音を採りたる'四聲通解'は“明代の丁度中頃、正德十二年(1517, A. D.)に朝鮮の崔世珍といふ學者が四聲通解といふ韻書を著し、洪武正韻に依て各韻各字に支那正音を附し、且蒙古韻略の音及俗音今俗音を引いて其異同を辨じて居ります、そこで(一)蒙古韻略といふのは、四聲通解の凡例に明記してある如く、蒙古が中原を一統して後蒙古字を以て當時の北方音を寫したもので、中原音韻の音と時代と場所を同じくして居り

ます(滿田新造氏の「中原音韻分」の概況に依る一藝文)とあるに徴すれば、全然其書の支那正音を傳へたる此等諸書は就ち最も有力なる參考なること云ふ迄もなければ共、然れども、此の'四聲通解'に録したる所謂支那正音といふものも、仔細に其の一々を吟味し來れば、依然'廣韻'の舊套及び尙ほ紙上音の因襲より蟬脱し得ざる'洪武正韻'の範圍を出でざるものなること、次に之れが證左を示す如くなるを以て、其の音が端的に'中原音韻'と一致するものとせば即ち錯誤を免れ難し。

德清が其の起例に'廣韻'の疵瑕を摘示せる(第一章第一節參照)“歎娛”の“娛”は'廣韻'に“韻愚”とすれども、四海の人皆讀んで“吳”となし、“提撕”の“撕”は'廣韻'に“韻西”とあれども、四海の人皆讀んで“斯”となす云々に於ける關係諸字を對照するに

四聲通解 三音聲彙	此書の韻目は 平水韻による	中原音韻
(イ)娛 [虞] ㄩ (yu)	魚模韻陽平	王姑切 (wu)
愚 " ㄩ (yu)	"	移居切 (yu)
吳 " ㄨ (wu)	"	王姑切 (wu)
(ロ)撕 [齊] 세 (si)	支思韻陰平	僧茲切 (szü)
西 " 세 (si)	齊微韻陰平	先齊切 (si)
斯 [支] 스 (su)	支思韻陰平	僧茲切 (szü)

の如く、皆'廣韻'と一致して全然德清の所説を裏書す、又た“靴”が“戈韻”に在りて“車邪遮嗟”の却つて“麻韻”に在り、“靴”が“車”と協はずして“車”却つて“麻”と協ひ、“元喧鴛言褰焉”皆な“先”と協はずして却つて“魂痕”と同押し、“煩翻”は“寒山”に協はずして、亦た“魂痕”と同押しするが如き、“靴”と“戈”、“車”と“麻”、“元”と“煩”とは其の音何を以てか相著くや。“佳街”音同じく、“皆”と同押しして“哈”と協はず、“哈”は却つて“灰”と同押し、“灰”は“揮”と協はず、“杯”は“碑”と協はず、“梅”は“糜”と協はず、“雷”は“羸”に協はず、必らず“梅”を“埋”とし、“雷”を“來”として



始めて“哈”と協ふ、此の如き呼吸は缺舌に非ずして何ぞや、云々。

又た四海の人皆な“父母”の“父”を去聲に稱へ“母”は“姥音”とするも、廣韻には“父”は“扶雨切上聲”にして“母”は“有韻”に在り、“婦”も亦た“有韻”に在り、“卦”は“怪”と通じ、“副富”も亦た“有韻”に在り、云々に於ける關係諸字音を對照するに

四聲通解 三音聲彙		中原音韻	
(ハ)靴 [歌] 𨮒 (hüeh)	車遮韻陰平	虛遮切 (hüeh)	
戈 " 𨮒 (kuo)	歌戈韻陰平	瓜禾切 (kuo)	
車 [麻] 𨮒 (ch'eh)	車遮韻陰平	昌蛇切 (ch'eh)	
邪 " 𨮒 (sieh)	"	辭嗟切 (sieh)	
遮 " 𨮒 (ch'eh)	"	張蛇切 (ch'eh)	
嗟 " 𨮒 (tsieh)	"	茲些切 (tsieh)	
麻 " 𨮒 (ma)	家麻韻陽平	模巴切 (ma)	
(ニ)元 [元] 𨮒 (yüen)	先天韻陽平	于涓切 (yüen)	
喧 " 𨮒 (hüen)	" 陰平	虛娟切 (hüen)	
鴛 " 𨮒 (yüen)	" "	衣涓切 (yüen)	
言 " 𨮒 (yen)	" 陽平	移堅切 (yen)	
寰 [先] 𨮒 (k'ien)	" 陰平	欺延切 (k'ien)	
焉 " 𨮒 (yen)	" 陽平	移堅切 (yen)	
先 " 𨮒 (sien)	" 陰平	思煎切 (sien)	
魂 [元] 𨮒 (hün)	真文韻陽平	華昆切 (hün)	
痕 " 𨮒 (hēn)	"	何根切 (hēn)	
煩 " 𨮒 (fuan)	寒山韻陽平	扶班切 (fuan)	
翻 " 𨮒 (fuan)	" 陰平	夫班切 (fuan)	
寒 [寒] 𨮒 (han)	" 陽平	何干切 (han)	
山 [刪] 𨮒 (shan)	" 陰平	師關切 (shan)	
(ホ)佳 [佳] 𨮒 (kia)	家麻韻陰平	居牙切 (kia)	

街 " 𨮒 (kia)	皆來韻陰平	雞鞋切 (kia)
皆 " 𨮒 (kia)	"	" (kia)
哈 [灰] 𨮒 (hü)	"	他來切 (t'au)
灰 " 𨮒 (hü)	齊微韻陰平	呼歸切 (hüei)
揮 [微] 𨮒 (hü)	"	" (hüei)
杯 [灰] 𨮒 (pei) (pu)	"	巴梅切 (pei)
碑 [支] 𨮒 (pi)	"	"
梅 [灰] 𨮒 (mei) (mu)	" 陽平	謨悲切 (mei)
糜 [支] 𨮒 (mi)	"	"
埋 [佳] 𨮒 (mai)	皆來韻陽平	麻皆切 (mai)
雷 [灰] 𨮒 (lui)	齊微韻陽平	盧堆切 (lui)
羸 [支] 𨮒 (lui)	"	"
來 [灰] 𨮒 (lai)	皆來韻陽平	郎台切 (lai)
(ハ)父 [夔] 𨮒 (fu)	魚模韻上及去	敷上聲 (fu)
母 [有] 𨮒 (mou)	" 上聲	模上聲 (mu)
姥 [夔] 𨮒 (mu)	" "	"
婦 [有] 𨮒 (fou)	" 去聲	夫去聲 (fu)
卦 [卦] 𨮒 (kuai)	家麻韻去聲	光話切 (kuai)
怪 " 𨮒 (kuai)	皆來韻去聲	光外切 (kuai)
副 [有] 𨮒 (fou)	魚模韻去聲	夫去聲 (fu)
富 " 𨮒 (fou)	"	"

等に之を見るが如く、朝鮮諺譯の傳へたる‘四聲通解’音即ち所謂支那正音なるものは、其の所屬韻別が德清の指摘せる‘廣韻’の缺點と一致すること符節を合するが如く、而して其音の‘中原音韻’と稍一致するものは是れ‘洪武正韻’の音を率直に諺譯したるが爲なるべければ、時に未だ吳頭楚尾音たるを免れ得ざるや素とより言ふ迄もなく、把つて以て‘中原音韻’を律す可



らざるや、前例既に見る所の如し、但だ比較的數多く纏まりある時代音を類推すべき便宜あるの點が最も好個の參考資料たり得るものとすべきのみ。

## 第十二節 諸本に録したる寫音法

‘中原音韻’の本には、音切の註入なきこと前述の如くなれば、現存の諸本に就て其の各音を知らむとするには、必らず文壁増註本及び以震較正の葉本に頼らざる可らざるが故に、先づ決定を要するは、兩本音註の根據、換言すれば、王本の後序に所謂“舊本に視て音切註釋が尤も詳なり”といふ、此の文壁増註前の原註は果して何人が入れたるものなりや、將た又た葉以震が較正に使用したる他の底本は如何なる種類のものなりしや、是れなるが、其の之れを決定するの困難なるは、單へに的確の憑據を得ること能はざるが爲なるも、然かも現存の音切が概して元代より明初に互れる時代音を寫したる他の諸材料と相一致するを見れば、是等の註音が德清時代の通行音たりしや推して之を知るべく、殊に前清の嘉慶年間、南北方音の研究家として著聞せる大興の李汝珍が“元の周德清に陰陽の説あるも、其の集中載する所の切音、例せば吳哥切訛、吳崗切昂の類は仍ほ初學に便ならず”と論じ、今王・葉二本に見る所の音切をば、原著者德清の註したるものと見倣せるが如き、是れ宛かも“逐一字解註中原音韻見行刊雕”の起例に合するものにして、縱令是等の音註者が德清自身に非ずとするも、必らず何等かの根據あるものたるや亦た疑を容れず。唯だ、文壁本の凡例に所謂“音切圈註一に洪武正韻に遵ふ”の當らざるは、前既に之れが一端を例證したるが、更に‘中原音韻’音切と‘洪武正韻’音切との異同一斑を舉示すれば次の如し。

所録字	中原音韻	洪武正韻	異同
空等	苦紅切 <i>k'ung</i>	苦紅切 <i>k'ung</i>	同
翅	王本、豈侍切 <i>ch'ih</i> 葉本、止侍切 <i>ch'ih</i>	昌知切 <i>ch'ih</i>	王本ハ切異音同、葉本ハ異
戎等	而中切 <i>jung</i>	而中切 <i>jung</i>	同
啐等	邊孔切 <i>pung</i>	邊孔切 <i>pung</i>	同
蝸蝸等	烏瓜切 <i>wa</i>	古華切 <i>kua</i>	異
語圓等	余矩切 <i>yu</i>	偶許切 <i>'yu</i>	異
謳鷗等	阿勾切 <i>ou</i>	烏侯切 <i>ou</i>	切異音同
縱從粽等	賚送切 <i>tsiung</i>	足用切 <i>tsiung</i>	"
嗽秋等	茲囚切 <i>tsiu</i>	卽由切 <i>tsiu</i>	"
嗽關等	溪監切 <i>k'iam</i>	苦濫切 <i>k'am</i>	異
輕卿傾等	欺盈切 <i>k'ing</i>	丘京切 <i>k'ing</i>	切異音同
康糠等	軻杭切 <i>k'ang</i>	丘剛切 <i>k'ang</i>	"
匡眶等	枯黃切 <i>k'uang</i>	曲王切 <i>k'uang</i>	"
扣寇等	康侯切 <i>k'ou</i>	丘侯切 <i>k'ou</i>	切異音同
皆塔階等	雞鞋切 <i>kiai</i>	居諧切 <i>kiai</i>	"
務霧等	亡布切 <i>wu</i>	亡暮切 <i>wu</i>	"
戊等	亡布切 <i>wu</i>	莫侯切 <i>mou</i>	異
岡剛等	歌杭切 <i>kang</i>	居郎切 <i>kang</i>	切異音同
姜江等	居羊切 <i>kiang</i>	居良切 <i>kiang</i>	"
五伍午等	汪古切 <i>wu</i>	阮古切 <i>'wu</i>	異
鳩鄒等	汪古切 <i>wu</i>	安古切 <i>wu</i>	切異音同
臥等	王過切 <i>wo</i>	五箇切 <i>'wu</i>	異
吾語等	王姑切 <i>wu</i>	訛胡切 <i>'wu</i>	"
措脍等	烏敢切 <i>am</i>	鄒感切 <i>am</i>	切異音同
搥抓等	莊瓜切 <i>chua</i>	職瓜切 <i>chua</i>	"

等僅かに以上だけの一斑例に於ても、一見其の異同の程度を



知るべく、縦令、洪武正韻に遵ひたりといふの意が、單に成音の一點に在りて、必らずしも切字の點に非すと解するも、尙ほ當らざるもの全篇其類尠ならず、内容に於て確かに「洪武正韻」に遵ひたりと見るべきは、前にも言へるが如く平聲に陰と陽との別あるを認めざるの結果、其の音切に於ても亦

[真28]奔賁森等は陰平に列して、其音切は巴門切(門は平)

[江1]姜江杠缸薑等は陰平に列して、其音切は居羊切(羊は平)

[江9]岡剛鋼缸扛等は陰平に列して、其音切は歌杭切(杭は平)

[江23]匡筐眶等は陰平に列して、其音切は枯黃切(黃は平)

[齊38]移倪夷疑宜等は陽平に列して、其音切は盈雞切(雞は平)

[蕭9]包胞苞等は陰平に列して、其音切は巴毛切(毛は平)

[歌29]薄箔泊等は入作平(入聲の時平聲に變ずる)に列して、其音は波(波は陰平)

の如く、陰陽混同の例枚擧に違あらずとす。但し、此音切には平聲陰陽の差を聲母の清濁によりて區別しあるが如けれ共これ尙ほ徹底せずして而かも他聲反切の慣例と相副はず。

次に文壁補訂の音切に對する以震が較正の程度を攷ふるに、全篇の内、王葉兩本寫音の異れるもの餘りに多からず、殊に

[江92] [支10] [齊1] [齊28] [魚27] [魚42] [魚88] [魚141]

[皆41] [皆66] [真26] [真33] [真126] [寒23] [寒31] [先5]

[先12] [先22] [先42] [先49] [先73] [蕭153] [蕭164] [蕭174]

[歌4] [歌12] [歌19] [歌22] [歌41] [歌73] [家23] [尤11]

[尤59] [尤74] [尤92]

の諸例は、兩者の孰れを用ふるも、其の理論に於て微少の差あるのみ、結局の音に於ては異なる所なかるべければ、特に較正の要なかりしが如く、其の結果に於て多少の相異點あるべきは

[江25] 倉蒼等に王本が租藏切 *tsang* を註し、葉本が粗藏切 *ts'ang*

を註せるは葉本を可とす

[江62] 岡綱等は王本が無榜切 *wang* を註し、葉本が扶榜切 *fang* を註せるは王本と可とすべく

[支28] 翅に王本が蚩侍切 *chih* を註し、葉本が止侍切 *chih* を註せるは王本を可とすべし

[齊36] 奇騎等に王が擊移切 *ki* を註し、葉が擊移切 *ki* を註したるは葉本を可とすべし

[齊83] 委猥唯等に王本が汪鬼切 *wei* を註し、葉本が黃鬼切 *hwei* を註せるは王本を採るべし

[魚16] 區軀等に王本が丘余切を註し、葉本が孔余切を註したるは、等しく *ku* ならむも、反切の慣例上王本を妥當とす

[魚50] 族鐵等に王本が聰蘇切を註し、葉本が聰疎切に訂したるは等しく *ts'u* なるべきも、葉の音切は時に *ts'u* の如く誤らるゝの失あり、寧ろ王本を可とす

[魚65] 數所に王が疎上聲を註し、葉が素上聲を註したるは、等しく *su* なるべきも、葉本を採るべし、蓋し疎は亦た *shu* と誤らるゝの虞れあれば也

[魚82] 取に王が趨上聲 *tsu* を註し、葉が此主切 *tsu* を註したるは王本を正しとすべし

[皆8] 猜に王本が茲臆切 *tsai* を註し、葉本が慈臆切 *ts'ai* を註したるは葉本に依るべし

[皆13] 開に王が柯哀切 *k'ai* を註し、葉が柯哀切 *kai* を註したるは、王本を正しとす

[皆53] 矮に王が挨上聲を註し、葉が唉上聲を注したるは、其音等しく *ai* なるべきも、唉は又「集韻」に呼來切音哈 *hai* あり、時に人を惑はしめざるに非ず、王本を適當とす

[真16] 新薪辛等に王が斯津切を註し、葉が浙津切を註したる



は、時音等しく *sin* とせらるべきも、反切の慣例上葉本を可なりとす

[真37] 困箇等に王が墟雲切 *k'un* を注し、葉が虚雲切 *h'un* を注したるは、王本を可とす

[真93] 驟に王が曠上聲 *ch'ên*、葉本が眞上聲 *chên* を注したるは、王本を正しとすべし

[真131] 嫩に王が奴損切を注し、葉が奴頓切を注したるは、其音等しく *mun* なれ共、損は上聲にして去聲部の音切に適せず、葉本を正しとす

[寒39] 産割等に王が瘡蘭切 *ch'an* を注し、葉が倉蘭切 *ts'an* を注したるは王本を可とす

[寒40] 亶等に王が當頼切 *tai* を注し、葉が當懶切 *tan* を注したるは、明らかに王本の誤りなるべく、葉本を正しとす

[歌3] 軻珂に王が康何切 *k'o* を注し、葉が康和切 *k'uo* を注したるは王本を正しとす

[家8] 又差等に王が初沙切を注し、葉が初注切を注したるは其音同じく *ch'a* なるべきも、反切の慣例上王本を可とす

[家87] 臘蠟拉等に王が郎架切 *la* を注し、葉が那架切 *na* を注したるは、是れ王は中原雅音を主とし、葉は度曲を主として注したるの差を推すべく、他に[寒45] 懶等に兩本一致する那賣切 *nan* (雅音は *lan*) の例あるも周德清の起例に依れば王本の註音を正しとすべし

[車27] 轍哲等に王が張蛇切 *ch'eh* を注し、葉が長蛇切 *ch'eh* を注したるは葉本に依るべし

[車30] 寫瀉に王が桑姐切 *sich* を注し、葉が奚姐切 *lich* を注したるは王本を正しとす

[庚25] 亨に王が呵貞切を注し、葉が呵庚切を注したるは、其音

等しく *h'eng* ならむも、反切の慣例上葉本を正しとす

[尤9] 秋鞅等に王が粗囚切を注し、葉が妻囚切を注したるは、等しく *ts'iu* なるも、反切の慣例上葉本を採るべし

[尤21] 摳に王が籊婁切 *kou* を注し、葉が枯婁切 *k'ou* を注したるは葉本を可とす

[尤24] 劉留流等に王が郎丟切を注し、葉が良丟切を注したるは等しく、*liu* なるも反切の慣例上葉本を正しとす、蓋し王の音切は時に *lou* と誤り取らるゝの虞あれば也

[尤80] 淡輦等に王が倉嗽切を注し、葉が蒼救切を注したるは同じく *ts'ou* なるも、反切の慣例上王本を可とす

[侵6] 僻に王が慈淫切 *ts'im* を注し、葉が慈隱切を注したるは明らかに葉本の誤りなり、隱は眞文韻にあり因上聲なるが故に閉口韻の音切に用ふべからず

[監34] 喊兼に王が希咸切を注し、葉が希減切を注したるは等しく *hiam* なるも、咸は平聲の韻、減は上聲の韻にして喊などは上聲に列するものなるが故に當然葉本を正しとす

[監41] 斬に王が之咸切、葉が之減切を注したるは、亦た前項の例に準すべし

[廉30] 險等に王が希險切を注し、葉が希檢切を注したるは、是れ葉本の誤りなれども、檢は必らず檢の誤りなるが如ければ、等しく其音 *hiem* なり、但し險よりも檢を妥當とす

王本葉本異同の大概斯の如く、互に相出入あるも、音切方面に於ける葉以震の較正が不徹底の状態に在ることは、宛かも王文壁増註の不徹底なるを相等しく、更に兩者孰れも其の責を分たざる可らざる音註杜撰の一斑を舉例すれば

[蕭37] 缶に否上聲あり、否は尤侯韻に屬す

[真79] 否に博木切あり、木は入聲、否に此韻の音なし



- [歌35] 箸に叶厨あり、厨は魚模韻に屬す  
 [歌26] 跋勉鉞等に叶巴あり、巴は家麻韻に屬す  
 [歌37] 勃渤等に邦麻切あり、麻は家麻韻に屬す  
 [家57] 笈に謹上聲あり、謹は眞文韻にあり  
 [家32] 吸に其劫切あり、劫は入聲  
 [車54] 說に書拙切あり、拙は入聲  
 [齊106] 德得に當得切あり、得は入聲  
 [歌30] 鐸度に東拏切あり、拏は家麻韻に屬す  
 [車57] 勞隴蕊に疍雪切あり、雪は入聲  
 [車52] 嘖に樞說切あり、說は又入聲に屬せり  
 [家52] 察插鑄等に拙殺切あり、殺は又入聲に屬せり  
 [家66] 哈に五合切あり、合は入聲  
 [車55] 喝咽調體等に衣結切あり、結は入聲  
 [魚45] 佛に房波切あり、波は歌戈韻に屬す  
 [車71] 燕炳等に如月切あり、月は入聲  
 [車48] 拙輟拙祝に朱說切あり、說は又入聲に屬せり  
 [歌36] 杓に叶茶あり、茶は家麻韻に屬す(此字王本になし)  
 [家93] 刷に扇去聲あり、扇は先天韻に屬す
- 等あり、尙ほ此他兩本音註の内、尙ほ疑問を挿ましむるもの、尠  
 なからざるが、就中
- [桓8] 寬に謗完切あり、推定音は *p'uan* 即ち約して *p'an* なる  
 も、其實寬は‘唐韻’に苦完切、‘集韻’、‘韻會’、‘洪武正韻’並に枯官  
 切歎平聲とあり、‘四聲通解’諺譯音は *kuan* なり
- [先62] 犬に虛遠切あり、推定音は *kuen* なるも、其實犬は‘唐韻’  
 ‘集韻’、‘韻會’、‘洪武正韻’孰れも苦縣切罔上聲とあり、‘四聲通  
 解’諺譯音は *kuen* なり
- [先65] 遣等に湯璉切あり、推定音は *lien* なるも、其實遣は‘廣韻’

‘集韻’共に去演切、‘洪武正韻’に驅演切、諺譯音は *lien* なり  
 等の諸例は、縱令之れを音註者の慣用せる南北訛音の差なり  
 とするも、其差隔餘りに遠きを覺えしむ。

夫れ斯くの如く、全書の各部分には、其の寫音法の議すべき  
 もの尠なからずと雖、然かも大體に於ては概して德清が指摘  
 せる‘廣韻’以下諸韻書の弊を脱し、並に後出の‘洪武正韻’とも其  
 の面目を同うせず、而して多くは能く一般反切法の原則と合  
 せり、次にこれが梗概を解説すべし。

今、王葉兩本に見るべき寫音法は、亦た一般反切の例に洩る  
 ことなく、某々二字の首尾各一半を採つて、以て一個の成音  
 を得るものにして、子音 (Consonants) と母韻 (Vowels) とを綴合す  
 る諸國音韻組織と理法に於ては異なる所なきものなれ共、惟だ  
 支那の反切法は、其の性質上腹音の關係を精密に寫す能はざ  
 るが爲に、二字の各採用部分に就ては、一に舌頭に連轉する口  
 拍子の慣熟に頼らざる可らず、斯くて因襲一千餘年、慣用の舊  
 既に抜く可らず、近時注音字母の制定に際しても、纔かに腹音  
 を的確ならしむべき三介音を發明したるに止まり、大意は亦  
 た舊反切法の範圍を出づることなし。就ち本書の寫音法は  
 某々切下一字の下半を韻母即ち韻礎とし、これに聲母(又紐と  
もいふ)  
 たるべき上一字の上半を配すること、例令ば *ung* の韻母に *tsi*  
 の聲母を加ふれば *tsiung* となり、*tsü* の聲母を配すれば *tsung* の  
 成音を得るを原則とす。故に單り開合兩呼の正音のみなり  
 し古代の音韻は、容易く首尾の綴合を爲し得たらむも、齊撮兩  
 呼の副音發達したる近代の音に在りては、首尾の採用部分に  
 惑ふこと少なからず、是れ近世等韻學の勃興したる所以に  
 して、又康熙勅撰の‘音韻闡微’が反切改善に力を用ゐたる所以  
 なり。今兩本の音切を査するに、其小部分を除きては、概して腹



音を寫すの用意あり、比較的首尾の採用部分に惑ふもの少しと雖、之れを清代以降の寫音法に比すれば、全篇統一を缺けるの點は惜むべしとなす。

### 第十三節 韻別より觀たる音切

第一 東鍾韻 本韻には尾韻の *ung* (諺譯 *ɤ*) *ung* 又は *iung* (諺譯 *ɤ*) に屬するものを湊合したるものにして、支那音の性質より觀察すれば、本韻は結局庚青韻(第十五)と共に *eng* の終韻に歸屬すべきものなり、蓋し *eng* の *ɤ* は喉頭の韻にして極めて變化し易きものなるが故に、前に *i* 來れば *ing* (庚青) の如くなり、*u* 來れば *ung* の如く、*u* 來れば *ung* の如く、又た直接聲母即ち首音に繋がる場合には、該聲母の性質によりて *ong* の如くにも聞え *eng* の如きにも聞ゆるを常とすれば也。即ち、本韻所屬音の時に庚青韻と相出入するものあるは、之れが爲にして、今の注音字母が東鍾・庚青所屬韻に等しく *eng* の一韻母を以てしたるも亦た是れが爲なり。然れ共、中原音韻が本韻の共通點として認めたるは *ung* なるべきを以て、其の音切の解釋に當りては、此共通韻礎を傷はざる限り、概して聲母の字音により *ung* たり *iung* (含む) たりを決すべきを原則とし、其他は聲母との接合呼聲に因り多少の例外を認むるを常とす。(ローマ字の下に注したる數字は本文排列順位にして、各音の肩に附せる小數字は1陰平、2陽平、3上聲、4去聲なる事を示す)

龍 *liung*<sup>2</sup>

多 — *tung*<sup>1</sup> *tung*<sup>37</sup> 徒 — *t'ung*<sup>21</sup>

戎 *jung*<sup>2</sup>

之 — *chung*<sup>2</sup> 初 — *ch'ung*<sup>5</sup> *ch'ung*<sup>20</sup> *ch'ung*<sup>50</sup> 池 — *ch'ung*<sup>23</sup>

隆 *liung*<sup>2</sup>

他 — *t'ung*<sup>3</sup>  
 宗 *tsung*<sup>1</sup>  
 西 — *siung*<sup>4</sup> 思 — *sung*<sup>10</sup>  
 容 *yung*<sup>2</sup>  
 衣 — *yung*<sup>6</sup> 希 — *hiung*<sup>16</sup> 區 — *k'ung*<sup>13</sup> 其 — *k'ung*<sup>24</sup>  
 尼 — *niung*<sup>27</sup> 携 — *hiung*<sup>31</sup>  
 紅 *hung*<sup>2</sup>  
 枯 — *k'ung*<sup>7</sup> 苦 — *k'ung*<sup>7</sup>  
 鬆 *sung*<sup>1</sup>  
 茲 — *tsung*<sup>8</sup> 慈 — *ts'ung*<sup>20</sup>  
 崩 *pung*<sup>2</sup> (*p'eng*<sup>2</sup>)  
 夫 — *fung*<sup>9</sup> 扶 — *fung*<sup>29</sup> 麻 — *mung*<sup>33</sup>  
 叢 *ts'ung*<sup>2</sup>  
 粗 — *ts'ung*<sup>11</sup>  
 松 *siung*<sup>1</sup>  
 賚 — *tsiung*<sup>12</sup> 慈 — *ts'ung*<sup>30</sup> 齊 — *ts'ung*<sup>26</sup>  
 翁 *wung*<sup>1</sup>  
 孤 — *kung*<sup>14</sup>  
 工 *kung*<sup>1</sup>  
 呼 — *hung*<sup>15</sup> 胡 — *hun*<sup>34</sup>  
 公 *kung*<sup>1</sup>  
 烏 — *wung*<sup>17</sup>  
 蒙 *mung*<sup>2</sup>  
 通 — *pung*<sup>18</sup> 鋪 — *p'ung*<sup>19</sup> 蒲 — *p'ung*<sup>35</sup>



中 chung<sup>1</sup>  
     而 — jung<sup>2</sup>  
             22  
 東 tung<sup>1</sup>  
     驢 — liung<sup>2</sup>    盧 — lung<sup>2</sup>    奴 — nung<sup>2</sup>  
             23            25            26  
 濃 nung<sup>2</sup>  
     移 — yung<sup>2</sup>  
             32  
 冗 jung<sup>2</sup>  
     之 — chung<sup>3</sup>    初 — ch'ung<sup>3</sup>  
             33            50  
 拱 kung<sup>3</sup>  
     枯 — k'ung<sup>3</sup>    烏 — wung<sup>3</sup>  
             39            41  
 董 tung<sup>3</sup>  
     蘆 — lung<sup>3</sup>    乃 — nung<sup>3</sup>  
             42            54  
 總 tsung<sup>3</sup>  
     思 — sung<sup>3</sup>  
             44  
 孔 k'ung<sup>3</sup>  
     居 — kung<sup>3</sup>(kung)    夫 — fung<sup>3</sup>    邊 — pung<sup>3</sup>    胡 — hung<sup>3</sup>  
             45            49            53            56  
 竦 sung<sup>3</sup>  
     因 — yung<sup>3</sup>  
             46  
 聳 sung<sup>3</sup>  
     茲 — tsung<sup>3</sup>  
             48  
 踵 chung<sup>3</sup>  
     而 — jung<sup>3</sup>  
             51  
 勇 yung<sup>3</sup>  
     胡 — hiung<sup>3</sup>  
             55

弄 lung<sup>4</sup>  
     徒 — t'ung<sup>4</sup>    t'ung<sup>4</sup>    多 — tung<sup>4</sup>  
             57            66            58  
 貢 kung<sup>4</sup>  
     夫 — fung<sup>4</sup>    枯 — k'ung<sup>4</sup>    烏 — wung<sup>4</sup>    呼 — hung<sup>4</sup>  
             59            63            65            71  
 貧 wung<sup>4</sup>  
     孤 — kung<sup>4</sup>  
             60  
 綜 tsung<sup>4</sup>  
     思 — sung<sup>4</sup>    詞 — sung<sup>4</sup>  
             61            64  
 凍 tung<sup>4</sup>  
     盧 — lung<sup>4</sup>    奴 — nung<sup>4</sup>  
             62            75  
 送 sung<sup>4</sup>  
     賚 — tsiung<sup>4</sup>    臧 — tsung<sup>4</sup>  
             68            72  
 誦 sung<sup>4</sup>  
     衣 — yung<sup>4</sup>  
             70  
 夢 mung<sup>4</sup>  
     通 — pung<sup>4</sup>  
             73  
 用 yung<sup>4</sup>  
     虛 — hiung<sup>4</sup>  
             76

第二 江陽韻 本韻には ang (諺譯 ㄤ) iang (諺譯 ㄤ) uang (諺譯 ㄤ) の尾韻を含みあれども u と i の腹音は多くの場合首音たるべき聲母の字母との接合關係によりて生ずるものなるが故に、其の共通點は ang なり。

羊 yang<sup>4</sup>  
     居 — kiang<sup>4</sup>    丘 — k'iang<sup>4</sup>  
             1            16



忙 mang<sup>2</sup>  
     通 — pang<sup>1</sup><sub>2</sub>    鋪 — p'ang<sup>1</sup><sub>15</sub>    蒲 — p'ang<sup>2</sup><sub>37</sub>  
 臧 tsang<sup>1</sup>  
     思 — sang<sup>1</sup><sub>3</sub>  
 莊 chuang<sup>1</sup>  
     師 — shuang<sup>1</sup><sub>4</sub>    初 — ch'uang<sup>1</sup><sub>26</sub>  
 傷 shang<sup>1</sup>  
     知 — chang<sup>1</sup><sub>5</sub>    痴 — ch'ang<sup>1</sup><sub>19</sub>    池 — ch'ang<sup>2</sup><sub>39</sub>  
 張 chang<sup>1</sup>  
     尸 — shang<sup>1</sup><sub>6</sub>    離 — liang<sup>2</sup><sub>30</sub>    仁 — jang<sup>2</sup><sub>31</sub>  
 相 siang<sup>1</sup>  
     齋 — tsiang<sup>1</sup><sub>7</sub>    妻 — ts'iang<sup>1</sup><sub>22</sub>  
 霜 shuang<sup>1</sup>  
     之 — chuang<sup>1</sup><sub>8</sub>    鋤 — ch'uang<sup>2</sup><sub>33</sub>  
 杭 hang<sup>2</sup>  
     歌 — kang<sup>1</sup><sub>9</sub>    軻 — k'ang<sup>1</sup><sub>10</sub>  
 黃 huang<sup>2</sup>  
     姑 — kuang<sup>1</sup><sub>11</sub>    枯 — k'uang<sup>1</sup><sub>23</sub>  
 郎 lang<sup>2</sup>  
     多 — tang<sup>1</sup><sub>12</sub>    他 — t'ang<sup>1</sup><sub>20</sub>    徒 — t'ang<sup>2</sup><sub>40</sub>  
 光 kuang<sup>1</sup>  
     花 — huang<sup>1</sup><sub>13</sub>    烏 — wang<sup>1</sup><sub>24</sub>    胡 — huang<sup>2</sup><sub>43</sub>    吳 — wang<sup>2</sup><sub>48</sub>  
 江 kiang<sup>1</sup>  
     希 — hiang<sup>1</sup><sub>14</sub>    衣 — yang<sup>1</sup><sub>17</sub>    移 — yang<sup>2</sup><sub>28</sub>    奚 — hiang<sup>2</sup><sub>47</sub>

邦 pang<sup>1</sup>  
     敷 — fang<sup>1</sup><sub>18</sub>    麻 — mang<sup>2</sup><sub>29</sub>    無 — wang<sup>2</sup><sub>32</sub>    扶 — fang<sup>2</sup><sub>38</sub>  
 將 tsiang<sup>1</sup>  
     西 — siang<sup>1</sup><sub>21</sub>    徐 — siang<sup>2</sup><sub>41</sub>    齊 — ts'iang<sup>2</sup><sub>42</sub>  
 藏 ts'ang<sup>2</sup>  
     租 — tsang<sup>1</sup><sub>25</sub>    粗 — ts'ang<sup>1</sup><sub>25</sub>  
 桑 sang<sup>1</sup>  
     茲 — tsang<sup>1</sup><sub>27</sub>  
 當 tang<sup>1</sup>  
     盧 — lang<sup>2</sup><sub>32</sub>    奴 — nang<sup>2</sup><sub>50</sub>  
 岡 kang<sup>1</sup>  
     何 — hang<sup>2</sup><sub>34</sub>    吳 — wang<sup>2</sup><sub>35</sub>  
 良 liang<sup>2</sup>  
     渠 — k'iang<sup>2</sup><sub>45</sub>  
 姜 kiang<sup>1</sup>  
     尼 — niang<sup>2</sup><sub>46</sub>  
 王 wang<sup>2</sup>  
     渠 — k'uang<sup>2</sup><sub>49</sub>  
 養 yang<sup>2</sup>  
     居 — kiang<sup>2</sup><sub>51</sub>    欺 — k'iang<sup>2</sup><sub>74</sub>  
 講 kiang<sup>2</sup>  
     怡 — yang<sup>2</sup><sub>52</sub>    希 — hiang<sup>2</sup><sub>58</sub>  
 想 siang<sup>2</sup>  
     茲 — tsiang<sup>2</sup><sub>53</sub>    妻 — ts'iang<sup>2</sup><sub>75</sub>



蔣 *tsiang<sup>3</sup>*  
 良 — *liang<sup>3</sup>*<sub>54</sub>    思 — *siang<sup>3</sup>*<sub>55</sub>  
 榜 *pang<sup>3</sup>*  
     蒙 — *mang<sup>3</sup>*<sub>56</sub>    方 — *fang<sup>3</sup>*<sub>61</sub>    無 — *wang<sup>3</sup>*<sub>62</sub>    扶 — *fang<sup>3</sup>*<sub>62</sub>  
 賞 *shang<sup>3</sup>*  
     痴 — *ch'ang<sup>3</sup>*<sub>59</sub>    之 — *chang<sup>3</sup>*<sub>68</sub>  
 掌 *chang<sup>3</sup>*  
     人 — *jang<sup>3</sup>*<sub>60</sub>    聲 — *shang<sup>3</sup>*<sub>76</sub>  
 廣 *kuang<sup>3</sup>*  
     吳 — *wang<sup>3</sup>*<sub>63</sub>    呼 — *huang<sup>3</sup>*<sub>70</sub>    枯 — *k'uang<sup>3</sup>*<sub>80</sub>  
 朗 *lang<sup>3</sup>*  
     思 — *sang<sup>3</sup>*<sub>64</sub>    衣 — *yang<sup>3</sup>*<sub>79</sub>  
 莽 *mang<sup>3</sup>*  
     逋 — *pang<sup>3</sup>*<sub>65</sub>  
 曩 *nang<sup>3</sup>*  
     他 — *t'ang<sup>3</sup>*<sub>66</sub>    多 — *tang<sup>3</sup>*<sub>67</sub>  
 黨 *tang<sup>3</sup>*  
     羅 — *lang<sup>3</sup>*<sub>69</sub>    阿 — *ang<sup>3</sup>*<sub>72</sub>    奴 — *nang<sup>3</sup>*<sub>78</sub>  
 往 *wang<sup>3</sup>*  
     孤 — *kuang<sup>3</sup>*<sub>71</sub>  
 穰 *sang<sup>3</sup>*  
     茲 — *tsang<sup>3</sup>*<sub>73</sub>  
 港 *kiang<sup>3</sup>*  
     於 — *yang<sup>3</sup>*<sub>77</sub>

漾 *yang<sup>4</sup>*  
     雞 — *kiang<sup>4</sup>*<sub>81</sub>  
 醬 *tsiang<sup>4</sup>*  
     西 — *siang<sup>4</sup>*<sub>82</sub>  
 丈 *chang<sup>4</sup>*  
     離 — *liang<sup>4</sup>*<sub>83</sub>  
 絳 *kiang<sup>4</sup>*  
     衣 — *yang<sup>4</sup>*<sub>84</sub>  
 帳 *chang<sup>4</sup>*  
     升 — *shang<sup>4</sup>*<sub>86</sub>    人 — *jang<sup>4</sup>*<sub>87</sub>  
 上 *shang<sup>4</sup>*  
     知 — *chang<sup>4</sup>*<sub>88</sub>    池 — *ch'ang<sup>4</sup>*<sub>89</sub>    痴 — *ch'ang<sup>4</sup>*<sub>92</sub>  
 降 *kiang<sup>4</sup>*  
     奚 — *hiang<sup>4</sup>*<sub>93</sub>    泥 — *niang<sup>4</sup>*<sub>106</sub>  
 相 *siang<sup>4</sup>*  
     齊 — *ts'iang<sup>4</sup>*<sub>91</sub>    賈 — *tsiang<sup>4</sup>*<sub>91</sub>    妻 — *ts'iang<sup>4</sup>*<sub>113</sub>  
 尙 *shang<sup>4</sup>*  
     痴 — *ch'ang<sup>4</sup>*<sub>92</sub>  
 放 *fang<sup>4</sup>*  
     無 — *wang<sup>4</sup>*<sub>94</sub>  
 誑 *kuang<sup>4</sup>*  
     吳 — *wang<sup>4</sup>*<sub>95</sub>    胡 — *huang<sup>4</sup>*<sub>104</sub>    呼 — *huang<sup>4</sup>*<sub>105</sub>  
 謗 *pang<sup>4</sup>*  
     夫 — *fang<sup>4</sup>*<sub>93</sub>    鋪 — *p'ang<sup>4</sup>*<sub>108</sub>



浪 lang<sup>4</sup>

徒—t'ang<sup>4</sup> 97 他—t'ang<sup>4</sup> 115 霞—hang<sup>4</sup> 109 烏—ang<sup>4</sup> 112  
都—tang<sup>4</sup> 117 忙—mang<sup>4</sup> 119 奴—nang<sup>4</sup> 120

蕩 t'ang<sup>4</sup>

狼—lang<sup>4</sup> 99

喪 sang<sup>4</sup>

茲—tsang<sup>4</sup> 100 思—sang<sup>4</sup> 107 妻—ts'iang<sup>4</sup> 110

曠 k'uang<sup>4</sup>

逋—pang<sup>4</sup> 101 胡—huang<sup>4</sup> 122

桁 hang<sup>4</sup>

軻—k'ang<sup>4</sup> 102 孤—kang<sup>4</sup> 121

旺 wang<sup>4</sup>

枯—k'uang<sup>4</sup> 103

晃 huang<sup>4</sup>

姑—kuang<sup>4</sup> 111

第三 支思韻 本韻は音尾に<sup>ウ</sup> (諺譯一)ih (諺譯1)の韻を有する諸音を湊めたるものにして、ローマ字にて寫したる<sup>ウ</sup>とihとは、一見甚だ相距るが如くなるも、其實兩種とも、口腔内上下齒の内部に生ずべき氣息の韻に過ぎず、例せば“支”はchih即ちチー、“思”はszü即ちスーにして、チ、スを首音とすれば一は其の尾韻にして性質差あるにあらず、要するに各國文字の以て之を寫すに妥當なるものなく、寫音法の不備なるが爲に相異なるが如き感あるのみ、西人の支那音を寫せる内MATEERは兩韻等しくiを用ゐ、BALLERは“支尺”などにchih ch'ihを以てし、“子次”などにtsi ts'iを以てせるもの亦參考に供すべく、今注音

字母が此韻に限りて特に韻母を製することなく、單に聲母のみを充當することゝ定めたるは洵に其所以ありといふべし。

時 shih<sup>2</sup>

爭—chih<sup>1</sup> 1

思 szü<sup>1</sup>

曾—tzü<sup>1</sup> 2 增—tzü<sup>1</sup> 6

支 chih<sup>1</sup>

抽—ch'ih<sup>1</sup> 3

之 chih<sup>1</sup>

生—shih<sup>1</sup> 4 如—jih<sup>2</sup> 7 蛇—shih<sup>2</sup> 9

茲 tzü<sup>1</sup>

僧—szü<sup>1</sup> 5 齊—tzü<sup>2</sup> 8 詳—szü<sup>2</sup> 10 祥—szü<sup>2</sup> 10

始 shih<sup>2</sup>

之—chih<sup>2</sup> 12

止 chih<sup>2</sup>

而—jih<sup>2</sup> 13 詩—shih<sup>2</sup> 15 昌—ch'ih<sup>2</sup> 18 生—shih<sup>2</sup> 19

子 tzü<sup>2</sup>

倉—tzü<sup>2</sup> 14 蘇—szü<sup>2</sup> 17 思—szü<sup>2</sup> 20

死 szü<sup>2</sup>

茲—tzü<sup>2</sup> 16

至 chih<sup>2</sup>

詩—shih<sup>2</sup> 22 而—jih<sup>2</sup> 27

恣 tzü<sup>2</sup>

詞—szü<sup>2</sup> 23



四 *szü<sup>4</sup>*

倉 — *tz'ü<sup>4</sup>*<sub>24</sub>      慈 — *tz'ü<sup>4</sup>*<sub>25</sub>      資 — *tzü<sup>4</sup>*<sub>25</sub>

是 *shih<sup>4</sup>*

之 — *chih<sup>4</sup>*<sub>26</sub>

侍 *shih<sup>4</sup>*

蚩 — *ch'ih<sup>4</sup>*<sub>28</sub>      止 — *chih<sup>4</sup>*<sub>28</sub>

第四 齊微韻 本韻には *i ei uei* の三韻を含み、其の共通點は *i* に在り、諺譯には *i* を寫すに 1, *ei* を寫すに 卩, *uei* (又 *ui* とするも可) を寫すに 卩 又は 卩 を慣用せざるが如きも、是れ強ひて煩瑣なる古韻の分類に叶はしむるが爲の紙上別たるに過ぎず、本韻母の *ei uei* は、主もに聲母の種類によりて區別さるゝものにして其實質は同一なり、今の注音字母が韻母のへ (*ei*) を寫すに危 (*uei*) を慣用し、聲母が確實に *u* の腹音を帯びたる場合に限り特に介母 *x* (*u*) を加綴するは實にこれが爲なり。

侈 *ch'ü<sup>2</sup>*

經 — *ki<sup>2</sup>*<sub>1</sub>

移 *yi<sup>2</sup>*

經 — *ki<sup>2</sup>*<sub>1</sub>      輕 — *k'i<sup>2</sup>*<sub>13</sub>      繫 — *ki<sup>2</sup>*<sub>36</sub>      擊 — *k'i<sup>2</sup>*<sub>46</sub>

征 — *chi<sup>2</sup>*<sub>52</sub>      更 — *ki<sup>2</sup>*<sub>56</sub>      張 — *chi<sup>2</sup>*<sub>61</sub>

爲 *wei<sup>2</sup>*

瓜 — *kuei<sup>2</sup>*<sub>2</sub>

西 *si<sup>2</sup>*

將 — *tsi<sup>2</sup>*<sub>3</sub>      前 — *ts'ü<sup>2</sup>*<sub>32</sub>      星 — *si<sup>2</sup>*<sub>54</sub>

推 *t'uei<sup>2</sup>*

思 — *suei<sup>2</sup>*<sub>4</sub>      盧 — *luei<sup>2</sup>*<sub>30</sub>

離 *li<sup>2</sup>*

都 — *ti<sup>2</sup>*<sub>5</sub>      停 — *t'ü<sup>2</sup>*<sub>39</sub>      丁 — *ti<sup>2</sup>*<sub>45</sub>

齊 *ts'ü<sup>2</sup>*

青 — *ts'ü<sup>2</sup>*      先 — *si<sup>2</sup>*<sub>7</sub>

歸 *kuei<sup>2</sup>*

呼 — *huei<sup>2</sup>*<sub>8</sub>      胡 — *huei<sup>2</sup>*<sub>33</sub> *huei<sup>2</sup>*<sub>57</sub>      吳 — *'uei<sup>2</sup>*<sub>34</sub>

梅 *mei<sup>2</sup>*

巴 — *pei<sup>2</sup>*<sub>9</sub>      鋪 — *p'ei<sup>2</sup>*<sub>17</sub>      蒲 — *p'ei<sup>2</sup>*<sub>41</sub>

誰 *shuei<sup>2</sup>*

之 — *chuei<sup>2</sup>*<sub>10</sub>      癡 — *ch'uei<sup>2</sup>*<sub>16</sub>

圭 *kuei<sup>2</sup>*

烏 — *uei<sup>2</sup>*<sub>11</sub>

微 *wei<sup>2</sup>*

方 — *fei<sup>2</sup>*<sub>12</sub>

鷄 *ki<sup>2</sup>*

虛 — *hi<sup>2</sup>*<sub>14</sub>      於 — *yi<sup>2</sup>*<sub>15</sub>      濃 — *nü<sup>2</sup>*<sub>28</sub>      弦 — *hi<sup>2</sup>*<sub>37</sub>

盈 — *yi<sup>2</sup>*<sub>38</sub>

隈 *wei<sup>2</sup>*

枯 — *k'uei<sup>2</sup>*<sub>18</sub>

痴 *ch'ü<sup>2</sup>*

昌 — *ch'ü<sup>2</sup>*<sub>19</sub>      眞 — *chü<sup>2</sup>*<sub>24</sub>

雖 *suei<sup>2</sup>*

思 — *suei<sup>2</sup>*<sub>20</sub>

迷 *mi<sup>2</sup>*



偏 —  $p'i^1$ <sub>21</sub>      邦 —  $pi^1$ <sub>23</sub>      平 —  $p'i^2$ <sub>45</sub>      兵 —  $pi^2$ <sub>58</sub>  
 毗 —  $p'i^2$ <sub>62</sub>  
 雷  $luei^2$   
     都 —  $tuei^1$ <sub>22</sub>      徒 —  $t'uei^2$ <sub>44</sub>      他 —  $t'uei^2$ <sub>50</sub>  
 黎  $li^2$   
     天 —  $t'i^1$ <sub>25</sub>  
 非  $fei^1$   
     無 —  $wci^2$ <sub>26</sub>      扶 —  $fei^2$ <sub>35</sub>      明 —  $mi^2$ <sub>46</sub>  
 低  $ti^1$   
     凌 —  $li^2$ <sub>27</sub>  
 悲  $pei^1$   
     謨 —  $mei^1$ <sub>29</sub>  
 催  $ts'uei^1$  ( $suei$ ) [參考] 裨 (灰韻 = 在 ヲ)  
     詞 —  $suei^2$ <sub>31</sub>  
 追  $chuei^1$   
     持 —  $ch'uei^2$ <sub>40</sub>      時 —  $shuei^2$ <sub>47</sub>      兒 —  $juei^2$ <sub>49</sub>  
 回  $huei^2$   
     渠 —  $k'uei^2$ <sub>42</sub>  
 知  $chi^1$   
     陳 —  $ch'i^2$ <sub>43</sub>      繩 —  $shu^2$ <sub>51</sub>  
 妻  $ts'i^2$   
     精 —  $tsi^2$ <sub>53</sub>  
 已  $yi^3$   
     因 —  $yi^3$ <sub>63</sub>      丘 —  $k'i^3$ <sub>78</sub>      寧 —  $'ni^3$ <sub>80</sub>      香 —  $hi^3$ <sub>82</sub>

彼  $pe^2$   
     忘 —  $wci^3$ <sub>64</sub>      忙 —  $mi^3$ <sub>79</sub>  
 几  $ki^3$   
     銀 —  $'yi^3$ <sub>65</sub>  
 悔  $huei^3$   
     忙 —  $mei^3$ <sub>66</sub>  
 倚  $'yi^3$   
     姜 —  $ki^3$ <sub>67</sub>  
 昌  $li^3$   
     昌 —  $ch'i^3$ <sub>68</sub>      他 —  $t'i^3$ <sub>85</sub>  
 米  $mi^3$   
     滂 —  $p'i^3$ <sub>70</sub>      邦 —  $pi^3$ <sub>73</sub>      鋪 —  $p'i^3$ <sub>97</sub>  
 委  $wci^3$   
     光 —  $kuei^3$ <sub>71</sub>      匡 —  $k'uei^3$ <sub>93</sub>  
 鬼  $kuei^3$   
     荒 —  $huei^3$ <sub>72</sub>      汪 —  $wci^3$ <sub>83</sub>      黃 —  $huei$ <sub>83</sub>      奴 —  $muei^3$ <sub>91</sub>  
 底  $ti^3$   
     良 —  $li^3$ <sub>74</sub>  
 洗  $si^3$   
     臧 —  $tsi^3$ <sub>75</sub>      倉 —  $ts'i^3$ <sub>96</sub>      將 —  $tsi^3$ <sub>101</sub>  
 禮  $li^3$   
     丁 —  $ti^3$ <sub>76</sub>  
 擠  $tsi^3$   
     相 —  $si^3$ <sub>77</sub>      喪 —  $si^3$ <sub>103</sub>



腿 *t'uei<sup>3</sup>*  
     郎 — *luei<sup>3</sup>*  
             84  
 類 *luei<sup>4</sup>*  
     湯 — *t'uei<sup>3</sup>*      雙 — *shuei<sup>3</sup>*  
             86                      90  
 累 *luei<sup>3</sup>*  
     如 — *juei<sup>3</sup>*  
             87  
 髓 *suei<sup>3</sup>*  
     臧 — *tsuei<sup>3</sup>*  
             88  
 嘴 *tsuei<sup>3</sup>*  
     桑 — *suei<sup>3</sup>*  
             89  
 比 *pi<sup>3</sup>*  
     方 — *fei<sup>3</sup>*  
             92  
 每 *mei<sup>3</sup>*  
     鋪 — *p'ei<sup>3</sup>*      邦 — *pei<sup>3</sup>*  
             94                      99  
 恥 *chi<sup>3</sup>*  
     張 — *chi<sup>3</sup>*  
             95  
 以 *'yi<sup>3</sup>*  
     巾 — *ki<sup>3</sup>*      傷 — *shu<sup>3</sup>*  
             98                      100  
 得 *tei<sup>3</sup>*  
     當 — *tei<sup>3</sup>*  
             106  
 美 *mei<sup>3</sup>*  
     亨 — *hei<sup>3</sup>*      滋 — *tsei<sup>3</sup>*      他 — *t'ei<sup>3</sup>*  
             111                      113                      114  
 黑 *hei<sup>3</sup>*  
     康 — *k'ei<sup>3</sup>*  
             115

閉 *pi<sup>4</sup>*  
     忘 — *wei<sup>4</sup>*  
             116      方 — *fei<sup>4</sup>*      迷 — *mi<sup>4</sup>*      忙 — *mi<sup>4</sup>*  
                     119                      137                      163  
 貴 *kuei<sup>4</sup>*  
     汪 — *wei<sup>4</sup>*      荒 — *huei<sup>4</sup>*      胡 — *huei<sup>4</sup>*  
             117                      120                      160  
 畏 *wei<sup>4</sup>*  
     光 — *kuei<sup>4</sup>*  
             118  
 計 *ki<sup>4</sup>*  
     應 — *yi<sup>4</sup>*      興 — *hi<sup>4</sup>*      寧 — *'ni<sup>4</sup>*      銀 — *'yi<sup>4</sup>*  
             122                      150                      152                      166  
     女 — *'ni<sup>4</sup>*  
             169  
 意 *yi<sup>4</sup>*  
     區 — *k'i<sup>4</sup>*  
             123  
 細 *si<sup>4</sup>*  
     精 — *tsi<sup>4</sup>*      青 — *ts'i<sup>4</sup>*      *ts'i<sup>4</sup>*  
             124                      125                      131  
 利 *li<sup>4</sup>*  
     湯 — *t'i<sup>4</sup>*      唐 — *t'i<sup>4</sup>*      當 — *ti<sup>4</sup>*  
             126                      127                      128  
 妹 *mei<sup>4</sup>*  
     邦 — *pei<sup>4</sup>*      滂 — *p'ei<sup>4</sup>*      傍 — *pei<sup>4</sup>*      離 — *lei<sup>4</sup>*  
             129                      147                      148                      167  
     蒲 — *p'ei<sup>4</sup>*  
             170  
 帝 *ti<sup>4</sup>*  
     郎 — *li<sup>4</sup>*      *li<sup>4</sup>*  
             130                      165  
 際 *tsi<sup>4</sup>*  
     桑 — *si<sup>4</sup>*  
             132  
 途 *suei<sup>4</sup>*  
     臧 — *tsuei<sup>4</sup>*  
             133



累	<i>luei<sup>4</sup></i>		
	當 — <i>tuei<sup>4</sup></i> 134	他 — <i>t'uei<sup>4</sup></i> 139	唐 — <i>t'uei<sup>4</sup></i> 161
異	<i>yi<sup>4</sup></i>		
	江 — <i>ki<sup>4</sup></i> 135	強 — <i>k'i<sup>4</sup></i> 156	
謎	<i>mi<sup>4</sup></i>		
	邦 — <i>pi<sup>4</sup></i> 136	旁 — <i>p'i<sup>4</sup></i> 157	滂 — <i>p'i<sup>4</sup></i> 158
贅	<i>chuei<sup>4</sup></i>		
	師 — <i>shuei<sup>4</sup></i> 138	而 — <i>juei<sup>4</sup></i> 153	
醉	<i>tsuei<sup>4</sup></i>		
	辭 — <i>suei<sup>4</sup></i> 141		
睡	<i>shuei<sup>4</sup></i>		
	之 — <i>chuei<sup>4</sup></i> 142	重 — <i>ch'uei<sup>4</sup></i> 159	
世	<i>shi<sup>4</sup></i>		
	張 — <i>chi<sup>4</sup></i> 143	長 — <i>ch'i<sup>4</sup></i> 144	
智	<i>chi<sup>4</sup></i>		
	申 — <i>shi<sup>4</sup></i> 145	人 — <i>ji<sup>4</sup></i> 162	
背	<i>pei<sup>4</sup></i>		
	忙 — <i>mei<sup>4</sup></i> 149	<i>mei<sup>4</sup></i> 164	
位	<i>wei<sup>4</sup></i>		
	狂 — <i>k'uei<sup>4</sup></i> 151		
瑞	<i>shuei<sup>4</sup></i>		
	充 — <i>ch'uei<sup>4</sup></i> 154		
對	<i>tuei<sup>4</sup></i>		
	囊 — <i>nuei<sup>4</sup></i> 155		

義 *'yi<sup>4</sup>*

強 — *k'i<sup>4</sup>*  
163

第五 魚模韻 本韻には *u* (諺譯丁) *u* (諺譯卍) を含むも、*u* は *iu* の結合したる一種の二重母韻なるが故に、其の共通點は *u* にして諺譯の丁、今注音字母の *x* なり。*u* は *i* と *u* とが極めて密著せる撮口韻なるを以て、其の唇頭に發する時は常に *iu* の如くに餘韻あり、諺譯の卍、今注音字母の *ü* 之れに當る。

於 *yu<sup>2</sup>*

更 — *ku<sup>1</sup>*  
1

求 — *k'u<sup>2</sup>*  
36

如 *ju<sup>2</sup>*

征 — *chu<sup>1</sup>*  
2

遲 — *ch'u<sup>2</sup>*  
37

長 — *ch'u<sup>2</sup>*  
49

成 — *shu<sup>2</sup>*  
56

租 *tsu<sup>1</sup>*

僧 — *su<sup>1</sup>*  
3

謨 *mu<sup>2</sup>*

巴 — *pu<sup>1</sup>*  
4

書 *shu<sup>1</sup>*

昌 — *ch'u<sup>1</sup>*  
5

疎 *shu<sup>1</sup>*

囟 — *ts'u<sup>1</sup>*  
6

楚 — *ch'u<sup>1</sup>*  
20

蟲 — *ch'u<sup>2</sup>*  
34

聰 — *ts'u<sup>2</sup>*  
50

初 *ch'u<sup>1</sup>*

傷 — *shu<sup>1</sup>*  
7

居 *ku<sup>1</sup>*

興 — *hu<sup>1</sup>*  
8

依 — *yu<sup>1</sup>*  
13

郎 — *lu<sup>2</sup>*  
25

移 — *yu<sup>2</sup>*  
32

須 *su<sup>1</sup>*



	倉 — $ts'u^1$ 9	茲 — $tsu^1$ 10		
胡	$hu^2$			
	瓜 — $ku^1$ 11			
乎	$hu^1$			
	空 — $k'u^1$ 12			
孤	$ku^1$			
	蛙 — $wu^1$ 14			
朱	$clu^1$			
	商 — $shu^1$ 15	人 — $ju^2$ 26	繩 — $shu^2$ $shu^2$ 35 47	
余	$yu^2$			
	丘 — $k'u^1$ 16	孔 — $k'u^1$ 16	其 — $k'u^2$ 53	
疽	$tsu^1$			
	思 — $su^1$ 17	祥 — $su^2$ 42	詞 — $su^2$ 48	
逋	$pu^1$			
	方 — $fu^1$ 18	忘 — $wu^2$ 27	亡 — $wu^2$ 27	忙 — $mu^2$ 28
	房 — $fu^2$ 38			
姑	$ku^1$			
	荒 — $hu^1$ 19	王 — $wu^2$ 33	華 — $hu^2$ 40	紅 — $hu^2$ 46
	吳 — $wu^2$ 57	胡 — $hu^2$ 58		
盧	$lu^2$			
	當 — $tu^1$ 21	唐 — $t'u^2$ 29	東 — $tu^2$ 43	
蘇	$su^1$			
	臧 — $tsu^1$ 22	倉 — $ts'u^1$ 23	藏 — $ts'u^2$ 41	從 — $tsu^2$ 51
模	$mu^2$			

	滂 — $p'u^1$ 24	旁 — $p'u^2$ 39	邦 — $pu$ 52	
都	$tu^1$			
	農 — $nu^2$ 30	龍 — $lu^2$ 31		
沮	$tsu^1$			
	祥 — $su^2$ 42	詞 — $su^2$ 48		
夫	$fu^1$			
	房 — $fu^2$ 44			
矩	$ku^2$			
	余 — $yu^2$ 59	郎 — $lu^2$ 60	虛 — $hu^2$ 82	尼 — $'nu^2$ 86
汝	$ju^2$			
	張 — $clu^2$ 61	昌 — $ch'u^2$ 65		
主	$clu^1$			
	襪 — $ju^1$ 62	傷 — $shu^2$ 63	此 — $tsu^2$ 83	
所	$su^2$			
	之 — $clu^2$ 64			
魯	$lu^2$			
	湯 — $t'u^2$ 69			
堵	$tu^2$			
	郎 — $lu^2$ $lu^4$ 70 133	囊 — $nu^2$ 81		
五	$wu^2$			
	公 — $ku^2$ 72	匡 — $k'u^2$ 84		
古	$ku^2$			
	汪 — $wu^2$ 73	荒 — $hu^2$ 74		
母	$mu^2$			



	邦 — pu <sup>3</sup> 75	滂 — p'u <sup>3</sup> 76	
雨	yu <sup>3</sup>		
	居 — ku <sup>3</sup> 80	丘 — k'u <sup>3</sup> 99	
宇	yu <sup>3</sup>		
	趨 — ts'u <sup>3</sup> 85		
取	ts'u <sup>3</sup>		
	須 — su <sup>3</sup> 87		
舉	ku <sup>3</sup>		
	丘 — k'u <sup>3</sup> 89	於 — yu <sup>3</sup> yu <sup>3</sup> 90 114	
醋	su <sup>3</sup>		
	臧 — tsu <sup>3</sup> 108		
遇	yu <sup>4</sup>		
	居 — ku <sup>4</sup> 118	區 — k'u <sup>4</sup> 145	
注	chu <sup>4</sup>		
	徇 — shu <sup>4</sup> 120		
恕	shu <sup>4</sup>		
	張 — chu <sup>4</sup> 122	昌 — ch'u <sup>4</sup> 144	
路	lu <sup>4</sup>		
	唐 — t'u <sup>4</sup> 127	湯 — t'u <sup>4</sup> 141	
故	ku <sup>4</sup>		
	華 — hu <sup>4</sup> 129	桑 — su <sup>4</sup> 131	王 — wu <sup>4</sup> 135
布	pu <sup>4</sup>		汪 — wu <sup>4</sup> 136
	亡 — wu <sup>4</sup> 130	忙 — mu <sup>4</sup> 132	
互	hu <sup>4</sup>		

	光 — ku <sup>4</sup> 134		
暮	mu <sup>4</sup>		
	邦 — pu <sup>4</sup> 137	旁 — p'u <sup>4</sup> 138	滂 — p'u <sup>4</sup> 143
妬	tu <sup>4</sup>		
	囊 — nu <sup>4</sup> 142		
蠶	tu <sup>4</sup>		
	囊 — nu <sup>4</sup> 142		
絮	su <sup>4</sup>		
	倉 — ts'u <sup>4</sup> 146	臧 — tsu <sup>4</sup> 149	
助	ch'u <sup>4</sup>		
	狀 — ch'u <sup>4</sup> 147		
句	ku <sup>4</sup>		
	于 — yu <sup>4</sup> 155		

第六 皆來韻 本韻には ai iai uai を含み、其の共通點は ai にあり、ai の諺譯は 日、iai は 日、uai は 州 を用ひ、今の注音字母は基本の ai を寫すに ㄞ の韻母を以てし、iai uai は介母の *i* × *(u)* を之に加へて ㄞㄞ の如くせり。

鞋	hia <sup>2</sup>
	雞 — kia <sup>2</sup> 1
崖	ya <sup>2</sup>
	丘 — k'ia <sup>2</sup> 2
孩	ha <sup>2</sup>
	歌 — ka <sup>2</sup> 3
腮	sa <sup>2</sup>



茲 —  $tsai^1$   $tsai^1$       慈 —  $ts'ai^1$   $ts'ai^2$   
 4    8    8    28  
 柴  $ch'ai^2$   
 初 —  $ch'ai^1$   
 5  
 來  $lai^2$   
 他 —  $l'ai^2$       徒 —  $l'ai^2$       奴 —  $nai^2$   
 6    29    30  
 開  $k'ai^1$   
 於 —  $ai^1$       魚 —  $'ai^2$   
 7    24  
 皆  $kiai^1$   
 衣 —  $yai^1$       莊 —  $ch'ai^1$       奚 —  $hiai^2$       移 —  $yai^2$   
 9    15    20    27  
 歪  $wai^1$   
 舒 —  $shuai^1$       瓜 —  $kuai^1$   
 10    16  
 哉  $tcai^1$   
 思 —  $sai^1$   
 11  
 乖  $kuai^1$   
 烏 —  $wai^1$       胡 —  $huai^2$   $huai^2$       之 —  $chuai^2$   
 12    22    33    33  
 哀  $ai^1$   
 軻 —  $k'ai^1$       柯 —  $kai^1$   
 13    13  
 齋  $chai^1$   
 疎 —  $shai^1$       池 —  $ch'ai^2$   $ch'ai^2$   
 17    26    37  
 衰  $shuai^1$   
 樞 —  $ch'uai^1$   
 18  
 台  $t'ai^1$   
 郎 —  $lai^2$   
 19  
 埋  $mai^2$

蒲 —  $p'ai^2$       抽 —  $ch'ai^2$       巴 —  $pai^2$       通 —  $pai^2$   
 21    32    36    52  
 核  $kai^1$   
 何 —  $hai^2$   
 25  
 淮  $huai^2$   
 口 —  $k'uai^2$       靈 —  $luai^2$       池 —  $ch'uai^2$   
 31    34    35  
 改  $kai^2$   
 呵 —  $hai^2$       河 —  $hai^2$       囊 —  $nai^2$   
 41    41    47  
 解  $kiai^2$   
 希 —  $hiai^2$   
 43  
 拐  $kuai^2$   
 枯 —  $k'uai^2$       抽 —  $ch'uai^2$   
 48    51  
 蟹  $hiai^2$   
 溪 —  $k'iai^2$   
 55  
 海  $hai^2$   
 阿 —  $ai^2$   
 60  
 買  $mai^2$   
 鋪 —  $p'ai^2$   $p'ai^2$   
 61    62  
 擺  $pai^2$   
 升 —  $shai^2$   
 70  
 乃  $nai^2$   
 多 —  $tai^2$   
 73  
 介  $kiai^2$   
 奚 —  $hiai^2$   
 74  
 賴  $lai^2$



	湯 — t'ai <sup>4</sup> 76	當 — tai <sup>4</sup> 82		
害 hai <sup>4</sup>				
	岡 — kai <sup>4</sup> 77			
蓋 kai <sup>4</sup>				
	昂 — ai <sup>4</sup> 78	杭 — hai <sup>4</sup> 81		
解 kai <sup>4</sup>				
	羊 — yai <sup>4</sup> 79			
帶 tai <sup>4</sup>				
	囊 — nai <sup>4</sup> 80	nai <sup>4</sup> 106	郎 — lai <sup>4</sup> 89	
拜 pai <sup>4</sup>				
	居 — kai <sup>4</sup> 83	忙 — mai <sup>4</sup> 88		
怪 kuai <sup>4</sup>				
	王 — wai <sup>4</sup> 84	黃 — huai <sup>4</sup> 96	於 — ai <sup>4</sup> 102	抽 — ch'uai <sup>4</sup> 103
外 wai <sup>4</sup>				
	匡 — k'uai <sup>4</sup> 85	光 — kuai <sup>4</sup> 95		
賽 sai <sup>4</sup>				
	臧 — tsai <sup>4</sup> 86	倉 — ts'ai <sup>4</sup> 92		
賣 nai <sup>4</sup>				
	邦 — pai <sup>4</sup> 90	旁 — p'ai <sup>4</sup> 91	滂 — p'ai <sup>4</sup> 98	
債 ch'ai <sup>4</sup>				
	雙 — shai <sup>4</sup> 93			
再 tsai <sup>4</sup>				
	桑 — sai <sup>4</sup>			

第七 真文韻 本韻には in (諺譯 ㄨ), in (諺譯 ㄨ), un (諺譯

工), un (諺譯 ㄨ) を含み、其の共通點は en にあり、en の e は eng (東鑑 庚青兩韻) の例に見るが如く、口腔内喉頭より来る韻なるが故に、腹音 i u u と結ばるゝ時は、其の影響を受けて en は單に n の如く聞え、直接腹音を介せざる聲母と相綴らるゝ場合には單に en の如く響くを常とす。(拙著支那現代音源流考第 四章第九節の第七參照)

奔 p'en<sup>1</sup>

	敷 — f'en <sup>1</sup> 1	麻 — m'en <sup>2</sup> 45	無 — w'en <sup>2</sup> 4	扶 — f'en <sup>2</sup> 55
昆 kun <sup>1</sup>				
	花 — hu <sup>1</sup> 2	烏 — w'en <sup>1</sup> (wun) 24	租 — tsun <sup>1</sup> 33	華 — hu <sup>2</sup> 56
斤 kin <sup>1</sup>				
	衣 — yin <sup>1</sup> 3	希 — hin <sup>1</sup> 13	尼 — nin <sup>2</sup> 61	
眞 chen <sup>1</sup>				
	升 — sh'en <sup>1</sup> 4	梨 — lin <sup>2</sup> 38	如 — j'en <sup>2</sup> 41	蛇 — sh'en <sup>2</sup> 58
人 jen <sup>2</sup>				
	稱 — ch'en <sup>1</sup> 5	遮 — ch'en <sup>1</sup> 15	池 — ch'en <sup>2</sup> 50	
唇 ch'un <sup>2</sup>				
	痴 — ch'un <sup>1</sup> 6			
雲 yun <sup>2</sup>				
	須 — sun <sup>1</sup> 7	居 — kun <sup>1</sup> 19	墟 — k'un <sup>1</sup> 37	虛 — hu <sup>1</sup> 37
	渠 — k'un <sup>2</sup> 43	徐 — sun <sup>2</sup> 53		
根 ken <sup>1</sup>				
	拖 — t'en <sup>1</sup> 8	阿 — en <sup>1</sup> 33	可 — k'en <sup>1</sup> 35	何 — h'en <sup>2</sup> 60
純 ch'un <sup>2</sup>				
	朱 — chun <sup>1</sup> 10			



荀 *sun*<sup>1</sup>  
     蛆 — *tsun*<sup>1</sup>  
             11  
 痕 *hēn*<sup>2</sup>  
     歌 — *kēn*<sup>1</sup>  
             12  
 君 *kun*<sup>1</sup>  
     於 — *yun*<sup>1</sup>      虛 — *hūn*<sup>1</sup>  
             14              22  
 津 *tsin*<sup>1</sup>  
     斯 — *sin*<sup>1</sup>      澌 — *sin*<sup>1</sup>      齊 — *ts'in*<sup>2</sup>  
             16              16              51  
 民 *min*<sup>2</sup>  
     巴 — *pin*<sup>1</sup>      毘 — *p'in*<sup>2</sup>  
             17              39  
 溫 *wun*<sup>1</sup> (*wēn*)  
     誇 — *k'un*<sup>1</sup>      瓜 — *kun*<sup>1</sup>  
             18              23  
 誅 *shēn*<sup>1</sup>  
     之 — *chēn*<sup>1</sup>  
             20  
 榛 *chēn*<sup>1</sup>  
     尸 — *shēn*<sup>1</sup>  
             21  
 尊 *tsun*<sup>1</sup>  
     思 — *sun*<sup>1</sup>      倉 — *ts'un*<sup>1</sup>      藏 — *ts'un*<sup>2</sup>  
             25              30              59  
 孫 *sun*<sup>1</sup>  
     茲 — *tsun*<sup>1</sup>      滋 — *tsun*<sup>1</sup>  
             26              26  
 論 *lun*<sup>1</sup>  
     都 — *tun*<sup>1</sup>      池 — *ch'un*<sup>2</sup>  
             27              52  
 門 *mēn*<sup>2</sup>  
     巴 — *p'ēu*<sup>1</sup>      鋪 — *p'ēn*<sup>1</sup>      蒲 — *p'ēn*<sup>2</sup>  
             28              34              49

銀 *yin*<sup>2</sup>  
     雞 — *kin*<sup>1</sup>  
             29  
 辛 *sin*<sup>1</sup>  
     妻 — *ts'in*<sup>1</sup>      賚 — *tsin*<sup>1</sup>  
             31              36  
 跟 *kēn*<sup>1</sup>  
     阿 — *ēn*<sup>1</sup>  
             33  
 賓 *pin*<sup>1</sup>  
     迷 — *min*<sup>2</sup>  
             40  
 敦 *tun*<sup>1</sup>  
     驢 — *lun*<sup>2</sup>      盧 — *lun*<sup>2</sup>  
             42              46  
 寅 *yin*<sup>2</sup>  
     其 — *k'in*<sup>2</sup>  
             44  
 巾 *kin*<sup>1</sup>  
     移 — *yin*<sup>2</sup>  
             43  
 均 *kun*<sup>1</sup>  
     于 — *yun*<sup>2</sup>  
             54  
 崙 *lun*<sup>2</sup>  
     都 — *tun*<sup>2</sup>  
             57  
 忍 *jēn*<sup>2</sup>  
     知 — *chēn*<sup>2</sup>  
             62  
 很 *hēn*<sup>2</sup>  
     康 — *k'ēn*<sup>2</sup>  
             63  
 允 *yūn*<sup>2</sup>  
     張 — *chun*<sup>2</sup>      區 — *k'ūn*<sup>2</sup>      徒 — *t'un*<sup>2</sup>  
             67              74              81



敏 *min<sup>3</sup>*  
     滂 — *p'in<sup>3</sup>*      婢 — *p'in<sup>3</sup>*  
                     76                      77  
 懇 *k'en<sup>3</sup>*  
     呵 — *h'en<sup>3</sup>*  
                     78  
 軫 *ch'en<sup>3</sup>*  
     禳 — *j'en<sup>3</sup>*  
                     80  
 准 *chun<sup>3</sup>*  
     禳 — *jun<sup>3</sup>*  
                     82  
 本 *p'en<sup>3</sup>*  
     他 — *t'en<sup>3</sup>*  
                     92  
 圖 *lun<sup>2</sup>*  
     多 — *tun<sup>2</sup>*  
                     94  
 認 *j'en<sup>4</sup>*  
     長 — *ch'en<sup>4</sup>*  
                     95  
 晉 *tsin<sup>4</sup>*  
     喪 — *sin<sup>4</sup>*  
                     97  
 郡 *k'un<sup>4</sup>*  
     於 — *yün<sup>4</sup>*  
                     102  
 信 *sin<sup>4</sup>*  
     臧 — *tsin<sup>4</sup>*      藏 — *ts'in<sup>4</sup>*  
                     104                      105  
 印 *yin<sup>4</sup>*  
     其 — *k'in<sup>4</sup>*  
                     107  
 良 *k'en<sup>4</sup>*  
     初 — *ch'en<sup>4</sup>*      何 — *h'en<sup>4</sup>*  
                     108                      130

進 *tsin<sup>4</sup>*  
     羊 — *yin<sup>4</sup>*  
                     110  
 峻 *sun<sup>4</sup>*  
     臧 — *tsun<sup>4</sup>*  
                     113  
 閏 *jun<sup>4</sup>*  
     書 — *shun<sup>4</sup>*      殊 — *shun<sup>4</sup>*  
                     114                      115  
 舜 *shun<sup>4</sup>*  
     如 — *jun<sup>4</sup>*  
                     116  
 閏 *m'en<sup>4</sup>*  
     邦 — *p'en<sup>4</sup>*      匡 — *k'un<sup>4</sup>*      滂 — *p'en<sup>4</sup>*      *p'en<sup>4</sup>*  
                     121                      124                      125                      136  
 運 *yün<sup>4</sup>*  
     渠 — *k'un<sup>4</sup>*  
                     123  
 頓 *tun<sup>4</sup>*  
     郎 — *lun<sup>4</sup>*      奴 — *nun<sup>4</sup>*  
                     127                      131  
 困 *k'un<sup>4</sup>*  
     郎 — *lun<sup>4</sup>*      胡 — *hun<sup>4</sup>*  
                     127                      128  
 遜 *sun<sup>4</sup>*  
     倉 — *ts'un<sup>4</sup>*  
                     129  
 損 *sun<sup>3</sup>*  
     奴 — *nun<sup>4</sup>*  
                     131  
 寸 *ts'un<sup>4</sup>*  
     租 — *tsun<sup>4</sup>*  
                     137

第八 寒山韻 本韻には *an* (諺譯止), *ian* (諺譯止), *uan* (諺譯止) を含み、其の共通點は *an* なるを以て、成音の種類は専ら聲母の



音種によりて決せらるゝもの多きに居、腹音 *u* を帯べるものに若干の例外あり。

關	<i>kuan<sup>1</sup></i>			
	師 — <i>shan<sup>1</sup></i> 1	尸 — <i>shan<sup>1</sup></i> 8	烏 — <i>wan<sup>1</sup></i> 10	思 — <i>san<sup>1</sup></i> 13
	胡 — <i>huan<sup>2</sup></i> 22	吳 — <i>'wan<sup>2</sup></i> 31	熬 — <i>'wan<sup>2</sup></i> 31	呼 — <i>huan<sup>2</sup></i> 33
閑	<i>lan<sup>2</sup></i>			
	多 — <i>tan<sup>1</sup></i> 2	他 — <i>t'an<sup>1</sup></i> 11	陀 — <i>t'an<sup>2</sup></i> 25	
寒	<i>han<sup>2</sup></i>			
	歌 — <i>kan<sup>1</sup></i> 3	軻 — <i>k'an<sup>1</sup></i> 6		
干	<i>kan<sup>1</sup></i>			
	阿 — <i>an<sup>1</sup></i>	何 — <i>han<sup>2</sup></i> 20		
閑	<i>hian<sup>2</sup></i>			
	筭 — <i>kian<sup>1</sup></i> 5	溪 — <i>k'ian<sup>1</sup></i> 15	狙 — <i>ts'an<sup>2</sup></i> 23	狙 — <i>ts'an<sup>2</sup></i> 23
還	<i>huan<sup>2</sup></i>			
	瓜 — <i>kuan<sup>1</sup></i> 7			
蠻	<i>man<sup>2</sup></i>			
	巴 — <i>pan<sup>1</sup></i> 9	鋪 — <i>p'an<sup>1</sup></i> 14		
班	<i>pan<sup>1</sup></i>			
	夫 — <i>fan<sup>1</sup></i> 12	扶 — <i>fan<sup>2</sup></i> 26	麻 — <i>man<sup>2</sup></i> 28	
山	<i>shan<sup>1</sup></i>			
	之 — <i>chan<sup>1</sup></i> 16			
殘	<i>ts'an<sup>2</sup></i>			
	粗 — <i>ts'an<sup>1</sup></i> 17			
灣	<i>wan<sup>1</sup></i>			

	之 — <i>chuan<sup>1</sup></i> 18			
奸	<i>kian<sup>1</sup></i>			
	依 — <i>yian<sup>1</sup></i> 19			
丹	<i>tan<sup>1</sup></i>			
	羅 — <i>lan<sup>2</sup></i> 21			
間	<i>kian<sup>1</sup></i>			
	携 — <i>kian<sup>2</sup></i> 24	移 — <i>yian<sup>2</sup></i> 29		
單	<i>tan<sup>1</sup></i>			
	那 — <i>nan<sup>2</sup></i> 27			
拴	<i>shan<sup>1</sup></i>			
	鋤 — <i>ch'an<sup>2</sup></i> 30			
板	<i>pan<sup>2</sup></i>			
	方 — <i>fan<sup>2</sup></i> 34	亡 — <i>wan<sup>2</sup></i> 36		
償	<i>tsan<sup>2</sup></i>			
	桑 — <i>san<sup>2</sup></i> 35			
晚	<i>wan<sup>2</sup></i>			
	邦 — <i>pan<sup>2</sup></i> 37			
眼	<i>yian<sup>2</sup></i>			
	江 — <i>kian<sup>2</sup></i> 38			
簡	<i>kian<sup>2</sup></i>	此字的本に使用せず恐らく簡の誤りならん		
	瘡 — <i>ch'an<sup>2</sup></i> 39	倉 — <i>ts'an<sup>2</sup></i> 39		
懶	<i>nan<sup>2</sup> (lan)</i>			
	當 — <i>tan<sup>2</sup></i> 40	湯 — <i>t'an<sup>2</sup></i> 42		
程	<i>kan<sup>2</sup></i>			



呵 — han<sup>3</sup>  
 43  
 賣 tan<sup>3</sup>  
 那 — nan<sup>3</sup>  
 45  
 傘 san<sup>3</sup>  
 囊 — nan<sup>3</sup>  
 48  
 臧 — tsan<sup>3</sup>  
 46  
 產 ch'an<sup>3</sup>  
 莊 — chan<sup>3</sup>  
 49  
 簡 kian<sup>3</sup>  
 衣 — yan<sup>3</sup>  
 50  
 管 kuan<sup>3</sup>  
 胡 — huan<sup>3</sup>  
 51  
 幹 kan<sup>3</sup>  
 何 — han<sup>4</sup>  
 52  
 爛 lan<sup>4</sup>  
 當 — tan<sup>4</sup>  
 54  
 扮 p'an<sup>4</sup>  
 忘 — wan<sup>4</sup>  
 56  
 汗 han<sup>4</sup>  
 岡 — kan<sup>4</sup>  
 60  
 散 san<sup>4</sup>  
 倉 — ts'an<sup>4</sup>  
 61  
 訕 shan<sup>4</sup>  
 雖 — san<sup>4</sup>  
 62  
 漫 man<sup>4</sup>  
 呵 — han<sup>4</sup>  
 53  
 昂 — 'an<sup>4</sup>  
 58  
 鷺 — 'an<sup>4</sup>  
 59  
 唐 — t'an<sup>4</sup>  
 55  
 湯 — t'an<sup>4</sup>  
 57  
 忙 — man<sup>4</sup>  
 66  
 康 — k'an<sup>4</sup>  
 80  
 臧 — tsan<sup>4</sup>  
 68

滂 — p'an<sup>4</sup>  
 63  
 慣 kuan<sup>4</sup>  
 之 — chuan<sup>4</sup>  
 64  
 選 suan<sup>4</sup>  
 疎 — shuan<sup>4</sup>  
 65  
 患 huan<sup>4</sup>  
 光 — kuan<sup>4</sup>  
 67  
 晏 yan<sup>4</sup>  
 江 — kian<sup>4</sup>  
 70  
 慢 man<sup>4</sup>  
 旁 — p'an<sup>4</sup>  
 71  
 紆 fan<sup>4</sup>  
 防 — fan<sup>4</sup>  
 74  
 淵 kian<sup>4</sup>  
 奚 — hian<sup>4</sup>  
 76  
 且 tan<sup>4</sup>  
 郎 — lan<sup>4</sup>  
 81  
 贊 tsan<sup>4</sup>  
 喪 — san<sup>4</sup>  
 83  
 黃 — huan<sup>4</sup>  
 69  
 烏 — wan<sup>4</sup>  
 85  
 初 — ch'uan<sup>4</sup>  
 82  
 邦 — pan<sup>4</sup>  
 73  
 方 — fan<sup>4</sup>  
 75  
 希 — hian<sup>4</sup>  
 77  
 移 — yan<sup>4</sup>  
 78  
 衣 — yan<sup>4</sup>  
 79

第九 桓歡韻 本韻は原と寒山韻の諸字と共に平水韻寒刪(上去聲)二韻の間に含まれたる内、anの前にuを帯びたるuanが獨立したるものなれども、徳清が分韻の趣旨を揣るに、此韻が若し單にuを帯びたるan即ち純粹のuanなりせば、之れを他諸韻の例に觀て特に獨立の一韻目を設けずとも、寒山



韻と併せ得られざるの理なきが故に、其の特種のものなるは言ふ迄もなく、先づ諺譯に徴するに、本韻内容の諸字は孰れも、 $\text{u}$ の諺文を用ひて其の韻を寫したり、諺文の $\text{u}$ は $\text{t}$ ( $\text{a}$ )が陽の韻にして $\text{ア}$ と體外に發するものなるに對し、こは陰の韻にして喉頭より内に引く氣息より生ずるものなれば、 $\text{ア}$ とも $\text{オ}$ ともつかざる $\text{ウ}$ に近き韻なれば、 $\text{u}$ と $\text{a}$ と密着して約まりたるものが $\text{n}$ を携へて發音せらるゝ爲に生じたる  $\text{uan}$ の訛韻と推せらる、試みに‘元朝秘史’に用ゐられたる本韻所屬字二三の譯音を按ずるに

豁團  $\text{uon}$  (oton) 城、圈子

桓  $\text{uon}$  (on) 年

款只列  $\text{koncile}$  被

款顛  $\text{konden}$  動搖する

斡樂  $\text{olon}$  多き

完勒澤  $\text{oltei}$  福

の如く、孰れも  $\text{on}$  又は  $\text{on}$  の蒙古音を寫すに當てられ、又た千八百九十六年刊行の Chinese Phonology, An Attempt to Discover the Resounds of Ancient Language and to Recover the Last Rhymes of China (By VOLPICELLI) にも‘廣韻’をローマ字に寫して

平聲	上聲	去聲	
寒 $\text{uon}$	旱 $\text{uon}$	翰 $\text{uon}$	$\text{on}$
桓 $\text{uon}$	緩 $\text{uon}$	換 $\text{uon}$	$\text{uon}$ { $\Delta$ 印は平水韻の 目にして余が註 入したるもの}
刪 $\text{uan}$	潛 $\text{uan}$	諫 $\text{uan}$	$\text{uan}$
山 $\text{an}$	產 $\text{an}$	諫 $\text{an}$	$\text{an}$

の如くし、大體今の桓歎韻に相當するものに  $\text{uon}$   $\text{on}$  の韻を當

てあるを見る。但、此書が如何なる材料と憑據とに據りて‘廣韻’の韻を斯く推定したるか、其の年代に依て考ふるに、明末天啓六年に金尼閣(NICOLAS TRIGAULTの漢名)の著したる‘西儒耳目資’(未見、滿田新造氏)が其第四十九母  $\text{uon}$  の韻に鑽官寬般等此の桓歎韻に屬する文字を收めありと謂へば、是れ恐らくは前記 VOLPICELLI の材料となりたるならんか。要するに本韻は純粹の  $\text{an}$  又は  $\text{on}$  に非ず、 $\text{u}$  の影響に依りて口腔の充分に開かざる  $\text{a}$  の變化が基本なれば、英語の water, wander などの  $\text{a}$  に相近きものと推定せらるが故に余は假りに  $\text{a}$  を用ひたり。

(拙著支那現代音源流考第六章第二十四節参照)

完  $\text{wan}^2$

瓜  $\text{kuan}^1$  1 謗  $\text{p'uan}^1$  8 ( $\text{p, m}$  等を首音とするものは  $\text{p'uan}$   $\text{muon}$  の約まりたるものなり)

瞞  $\text{man}^2$

巴  $\text{pan}^1$  2 葩  $\text{p'uan}^1$  4 蒲  $\text{p'uan}^2$  17

官  $\text{kuan}^1$

花  $\text{luan}^1$  3 烏  $\text{wan}^1$  6 華  $\text{luan}^2$  14 吳  $\text{wan}^2$  15

樂  $\text{luan}^2$

多  $\text{luan}^1$  5 他  $\text{t'uan}^1$  10

鑽  $\text{tsuan}^4$

思  $\text{suan}^1$  7 桑  $\text{suan}^4$  36

酸  $\text{suan}^1$

租  $\text{tsuan}^1$  9 粗  $\text{ts'uan}^1$  11

端  $\text{tuon}^1$

盧  $\text{luan}^2$  12

般  $\text{pan}^1$



麻 — *mān*<sup>13</sup>  
 蠻 *mān*<sup>13</sup>  
 徒 — *t'uan*<sup>16</sup>  
 丸 *wān*<sup>16</sup>  
 徂 — *ts'uan*<sup>18</sup>  
 椀 *wān*<sup>18</sup>  
 光 — *kuān*<sup>19</sup> 匡 — *kuān*<sup>21</sup>  
 管 *kuān*<sup>19</sup>  
 臧 — *tsuan*<sup>20</sup> 王 — *wān*<sup>22</sup> 忙 — *mān*<sup>23</sup> 汪 — *wān*<sup>25</sup>  
 短 *tuān*<sup>20</sup>  
 囊 — *nuān*<sup>24</sup> 郎 — *luān*<sup>27</sup>  
 卵 *luān*<sup>24</sup>  
 湯 — *t'uan*<sup>26</sup> 當 — *tuān*<sup>28</sup>  
 貫 *kuān*<sup>26</sup>  
 荒 — *huān*<sup>29</sup> 黃 — *huān*<sup>30</sup> 王 — *wān*<sup>31</sup>  
 半 *pān*<sup>29</sup>  
 忙 — *mān*<sup>32</sup>  
 算 *suān*<sup>32</sup>  
 倉 — *ts'uan*<sup>33</sup> 臧 — *tsuan*<sup>31</sup>  
 亂 *luān*<sup>33</sup>  
 當 — *tuān*<sup>34</sup> *tuān*<sup>35</sup> 湯 — *t'uan*<sup>43</sup>  
 慢 *mān*<sup>34</sup> (慢は悉らく機の説?)  
 滂 — *p'an*<sup>37</sup> 邦 — *pān*<sup>39</sup> 旁 — *p'an*<sup>40</sup>  
 玩 *wān*<sup>37</sup>

光 — *kuān*<sup>33</sup>  
 斷 *tuān*<sup>33</sup>  
 郎 — *luān*<sup>42</sup> 囊 — *nuān*<sup>44</sup>  
 第十 先天韻 本韻には *en ien uen uen* を含み、其の共通  
 點は *en* なり、本韻の諺譯は *ま* を以て寫せるも、*才* は *イ* の如  
 き音にして *ま* は當然 *yon* の如くなるが故に、支那音との間に  
 小異あれども、是れ鮮音の *ien (yen)* を寫す特質にして今も尙  
 は慣用せらるゝものなり。  
 煎 *tsien*<sup>1</sup>  
 思 — *sien*<sup>1</sup> 徐 — *sien*<sup>41</sup>  
 先 *sien*<sup>1</sup>  
 臧 — *tsien*<sup>2</sup> 妻 — *ts'ien*<sup>11</sup> 齊 — *ts'ien*<sup>27</sup>  
 延 — *yen*<sup>2</sup>  
 雞 — *kien*<sup>3</sup> 欺 — *k'ien*<sup>14</sup>  
 連 *lien*<sup>2</sup>  
 低 — *tien*<sup>4</sup> 他 — *t'ien*<sup>21</sup> 堂 — *t'ien*<sup>28</sup>  
 困 *yuen*<sup>1</sup>  
 俱 — *kuen*<sup>5</sup>  
 圓 *yuen*<sup>2</sup>  
 俱 — *kuen*<sup>5</sup>  
 娟 *kuen*<sup>1</sup>  
 虛 — *huen*<sup>7</sup>  
 然 *jen*<sup>2</sup>  
 知 — *chen*<sup>8</sup> 池 — *ch'en*<sup>26</sup>



道 *chen*<sup>1</sup>  
     尸 — *shen*<sup>1</sup><sub>9</sub>      如 — *jen*<sup>2</sup><sub>25</sub>  
 傳 *ch'uen*<sup>2</sup>  
     知 — *chuen*<sup>1</sup><sub>10</sub>  
 肩 *kien*<sup>1</sup>  
     稀 — *hien*<sup>1</sup><sub>12</sub>      希 — *hien*<sup>1</sup><sub>12</sub>  
 堅 *kien*<sup>1</sup>  
     衣 — *yen*<sup>1</sup><sub>13</sub>      奚 — *hien*<sup>2</sup><sub>29</sub>      移 — *yen*<sup>2</sup><sub>31</sub>      尼 — *'nien*<sup>2</sup><sub>40</sub>  
 綿 *mien*<sup>2</sup>  
     批 — *p'ien*<sup>1</sup><sub>15</sub>  
 涓 *kuen*<sup>1</sup>  
     衣 — *yuen*<sup>1</sup><sub>16</sub>      于 — *yuen*<sup>3</sup><sub>33</sub>  
 宣 *suen*<sup>1</sup>  
     雌 — *ts'uen*<sup>1</sup><sub>17</sub>      滋 — *tsuen*<sup>1</sup><sub>22</sub>      茲 — *tsuen*<sup>1</sup><sub>22</sub>      才 — *ts'uen*<sup>2</sup><sub>34</sub>  
 全 *ts'uen*<sup>2</sup>  
     思 — *suen*<sup>1</sup><sub>18</sub>  
 專 *chuen*<sup>1</sup>  
     昌 — *ch'uen*<sup>1</sup><sub>19</sub>      池 — *ch'uen*<sup>2</sup><sub>36</sub>      如 — *juen*<sup>2</sup><sub>42</sub>  
 喧 *huen*<sup>1</sup>  
     區 — *k'uen*<sup>1</sup><sub>20</sub>  
 顛 *tien*<sup>1</sup>  
     离 — *lien*<sup>2</sup><sub>23</sub>  
 邊 *pien*<sup>1</sup>  
     麻 — *mien*<sup>2</sup><sub>24</sub>

元 *yuen*<sup>2</sup>  
     奚 — *huen*<sup>2</sup><sub>30</sub>      渠 — *k'uen*<sup>2</sup><sub>37</sub>      驢 — *l'uen*<sup>2</sup><sub>39</sub>  
 言 *yen*<sup>2</sup>  
     其 — *k'ien*<sup>2</sup><sub>32</sub>  
 鐫 *tsuen*<sup>1</sup>  
     詞 — *suen*<sup>2</sup><sub>35</sub>  
 眠 *mien*<sup>2</sup>  
     毘 — *p'ien*<sup>2</sup><sub>38</sub>  
 捲 *kuen*<sup>3</sup>  
     俞 — *yuen*<sup>3</sup><sub>43</sub>      於 — *yuen*<sup>3</sup><sub>44</sub>  
 蹇 *kien*<sup>3</sup>  
     移 — *yen*<sup>2</sup><sub>45</sub>      衣 — *yen*<sup>2</sup><sub>46</sub>      尼 — *'nien*<sup>2</sup><sub>52</sub>      希 — *hien*<sup>2</sup><sub>61</sub>  
 遠 *yuen*<sup>3</sup>  
     居 — *kuen*<sup>3</sup><sub>47</sub>      虛 — *huen*<sup>3</sup><sub>62</sub>  
 剪 *tsien*<sup>3</sup>  
     西 — *sien*<sup>3</sup><sub>48</sub>  
 漣 *lien*<sup>2</sup>      此字的本に収めあらず。後世増加の符あり  
     他 — *t'ien*<sup>3</sup><sub>49</sub>  
 璉 *lien*<sup>3</sup>  
     他 — *t'ien*<sup>3</sup><sub>49</sub>      當 — *tien*<sup>3</sup><sub>60</sub>      湯 — *t'ien*<sup>3</sup><sub>65</sub>  
 演 *yen*<sup>3</sup>  
     雞 — *kien*<sup>3</sup><sub>50</sub>  
 薺 *sien*<sup>3</sup>  
     臧 — *tsien*<sup>3</sup><sub>51</sub>      倉 — *ts'ien*<sup>3</sup><sub>63</sub>



典 *tien*<sup>3</sup>  
     郎 — *lien*<sup>3</sup><sub>54</sub>      補 — *p'ien*<sup>3</sup><sub>56</sub>  
 轉 *chuen*<sup>3</sup>  
     郎 — *luen*<sup>3</sup><sub>54</sub>      如 — *juen*<sup>3</sup><sub>67</sub>  
 扁 *pian*<sup>3</sup>  
     忙 — *mien*<sup>3</sup><sub>57</sub>  
 輓 *juen*<sup>3</sup>  
     昌 — *ch'uen*<sup>3</sup><sub>58</sub>  
 展 *chen*<sup>3</sup>  
     昌 — *ch'en*<sup>3</sup><sub>59</sub>  
 選 *süen*<sup>3</sup>  
     徐 — *süen*<sup>3</sup><sub>66</sub>  
 免 *mien*<sup>3</sup>  
     滂 — *p'ien*<sup>3</sup><sub>63</sub>  
 眷 *kuen*<sup>4</sup>  
     余 — *yüen*<sup>4</sup><sub>70</sub>      於 — *yüen*<sup>4</sup><sub>71</sub>      虛 — *huen*<sup>4</sup><sub>77</sub>      郎 — *luen*<sup>4</sup><sub>102</sub>  
 現 *hien*<sup>4</sup>  
     雞 — *kien*<sup>4</sup><sub>73</sub>      其 — *k'ien*<sup>4</sup><sub>74</sub>  
 睨 *hien*<sup>4</sup>  
     雞 — *kien*<sup>4</sup><sub>73</sub>  
 見 *kien*<sup>4</sup>  
     希 — *hien*<sup>4</sup><sub>75</sub>      奚 — *hien*<sup>4</sup><sub>76</sub>      衣 — *yen*<sup>4</sup><sub>79</sub>      移 — *yen*<sup>4</sup><sub>80</sub>  
 練 *lien*<sup>4</sup>  
     唐 — *t'ien*<sup>4</sup><sub>78</sub>      湯 — *t'ien*<sup>4</sup><sub>104</sub>

愿 *yüen*<sup>4</sup>  
     居 — *kuen*<sup>4</sup><sub>81</sub>      渠 — *k'uen*<sup>4</sup><sub>82</sub>  
 徧 *pian*<sup>4</sup>  
     忙 — *mien*<sup>4</sup><sub>83</sub>  
 面 *mien*<sup>4</sup>  
     滂 — *p'ien*<sup>4</sup><sub>84</sub>      邦 — *pian*<sup>4</sup><sub>85</sub>      旁 — *p'ien*<sup>4</sup><sub>86</sub>  
 箭 *tsien*<sup>4</sup>  
     桑 — *sien*<sup>4</sup><sub>87</sub>      詞 — *sien*<sup>4</sup><sub>88</sub>  
 戰 *chen*<sup>4</sup>  
     聲 — *shen*<sup>4</sup><sub>90</sub>      繩 — *shen*<sup>4</sup><sub>91</sub>      城 — *shen*<sup>4</sup><sub>100</sub> (*ch'en*<sup>4</sup>)  
 線 *sien*<sup>4</sup>  
     巴 — *pian*<sup>4</sup><sub>9</sub>      威 — *tsien*<sup>4</sup><sub>92</sub>      倉 — *ts'ien*<sup>4</sup><sub>103</sub>  
 噲 *chuen*<sup>4</sup>  
     池 — *ch'uen*<sup>4</sup><sub>96</sub>  
 擅 *shen*<sup>4</sup>  
     張 — *chen*<sup>4</sup><sub>97</sub>  
 硯 *yen*<sup>4</sup>  
     丘 — *k'ien*<sup>4</sup><sub>98</sub>  
 善 *shen*<sup>4</sup>  
     昌 — *ch'en*<sup>4</sup><sub>99</sub>

第十一 蕭豪韻 本韻には *ao iao* の韻を含み、其の共通點は *ao* なり。本韻所録字の内、平水韻蕭韻(上去聲)に屬する諸字は、諺譯に *iao* を當て、肴韻の *iao*、豪韻の *ao* と區別しあるも、是れ廣韻系統の紙上韻にして、徳清時代には既に肴



蕭兩韻が共に併せられて *iao* に通用したることは‘四聲通解’  
 が特にこれを俗音としたりたるにても推すことを得べく、亦た  
 本韻[3]烏鴉囂梛曉敵 (熟れも平水韻に屬す) 等と、[22]喙曉然噉咬 (平水  
 韻に屬す) に同一の音註希交切 (交は平水韻肴韻に屬す) を用ゐたるを  
 見れば、等しく其音 *kiao* にして、諺譯が[3]を空 (*hiao*) とし[22]を苙  
 (*hiao*) と區別したるを知るべく、又た[72]杳天妖佰 (平水韻佳韻に屬す)  
 等と、[101]敵 (平水韻巧韻に屬す) 等を併せて同一の衣皎切を以  
 て寫しあるによりて之れを知らるゝのみならず、本韻が若し  
*ao iao* の外に *eo* 又は *io* などを容るゝものとすれば、其の共通  
 點を最終韻の *o* に求むるの外なくして、竟に歌戈韻と區別な  
 きに至り、德清が分韻の旨と相乖くべければ也。

焦 *tsiao*<sup>1</sup>  
 西 — *siao*<sup>1</sup><sub>1</sub>  
 聊 *liao*<sup>2</sup>  
 丁 — *tiao*<sup>1</sup><sub>2</sub>      他 — *t'iao*<sup>1</sup><sub>30</sub>      田 — *t'iao*<sup>1</sup><sub>41</sub>  
 交 *kiao*<sup>1</sup>  
 希 — *hiao*<sup>1</sup><sub>3</sub>      *hiao*<sup>1</sup><sub>22</sub>      衣 — *yao*<sup>1</sup><sub>17</sub>      丘 — *k'iao*<sup>1</sup><sub>23</sub>  
 移 — *yao*<sup>1</sup><sub>43</sub>      奚 — *kiao*<sup>2</sup><sub>57</sub>  
 嘲 *chao*<sup>1</sup>  
 尸 — *shao*<sup>1</sup><sub>4</sub>      鋤 — *ch'ao*<sup>2</sup><sub>52</sub>  
 肴 *yao*<sup>1</sup>  
 居 — *kiao*<sup>1</sup><sub>5</sub>  
 消 *siao*<sup>1</sup>  
 茲 — *tsiao*<sup>1</sup><sub>6</sub>      粗 — *ts'iao*<sup>1</sup><sub>32</sub>      慈 — *ts'iao*<sup>2</sup><sub>44</sub>      齊 — *ts'iao*<sup>1</sup><sub>65</sub>  
 毛 *mao*<sup>2</sup>

巴 — *pao*<sup>1</sup><sub>9</sub>      *pao*<sup>2</sup><sub>16</sub>      鋪 — *p'ao*<sup>1</sup><sub>19</sub>      博 — *pao*<sup>1</sup><sub>29</sub>      蒲 — *p'ao*<sup>2</sup><sub>48</sub>  
 捐 *shao*<sup>1</sup>  
 之 — *chao*<sup>1</sup><sub>10</sub>  
 豪 *hao*<sup>2</sup>  
 歌 — *kao*<sup>1</sup><sub>11</sub>  
 高 *kao*<sup>1</sup>  
 都 — *tao*<sup>1</sup><sub>12</sub>      阿 — *ao*<sup>1</sup><sub>15</sub>      呵 — *hao*<sup>1</sup><sub>26</sub>      何 — *hao*<sup>2</sup><sub>34</sub>  
 訛 — *'ao*<sup>2</sup><sub>45</sub>  
 遭 *tsao*<sup>1</sup>  
 思 — *sao*<sup>1</sup><sub>13</sub>  
 搔 *sao*<sup>1</sup>  
 租 — *tsao*<sup>1</sup><sub>14</sub>      粗 — *ts'ao*<sup>1</sup><sub>33</sub>  
 饒 *jao*<sup>2</sup>  
 知 — *chao*<sup>1</sup><sub>16</sub>      痴 — *ch'ao*<sup>1</sup><sub>31</sub>      持 — *ch'ao*<sup>2</sup><sub>42</sub>  
 苗 *miao*<sup>2</sup>  
 鋪 — *p'iao*<sup>1</sup><sub>18</sub>      毘 — *p'iao*<sup>2</sup><sub>51</sub>      巴 — *piao*<sup>2</sup><sub>53</sub>  
 勞 *lao*<sup>2</sup>  
 他 — *t'ao*<sup>1</sup><sub>20</sub>      徒 — *t'ao*<sup>2</sup><sub>49</sub>      多 — *tao*<sup>2</sup><sub>55</sub>  
 堯 *yao*<sup>2</sup>  
 欺 — *k'iao*<sup>1</sup><sub>21</sub>  
 巢 *ch'ao*<sup>2</sup>  
 痴 — *ch'ao*<sup>1</sup><sub>24</sub>  
 昭 *chao*<sup>1</sup>  
 尸 — *shao*<sup>1</sup><sub>28</sub>      繩 — *shao*<sup>2</sup><sub>63</sub>



刀 *tao*<sup>1</sup>  
     离 — *liao*<sup>2</sup><sub>35</sub>      孛 — *nao*<sup>2</sup><sub>39</sub>      郎 — *lao*<sup>2</sup><sub>40</sub>  
 招 *chao*<sup>1</sup>  
     如 — *jao*<sup>2</sup><sub>36</sub>  
 標 *piao*<sup>1</sup>  
     迷 — *miao*<sup>2</sup><sub>37</sub>  
 包 *pao*<sup>1</sup>  
     麻 — *mao*<sup>2</sup><sub>33</sub>      房 — *fao*<sup>2</sup><sub>58</sub>      於 — *yao*<sup>2</sup><sub>67</sub>  
 爻 *yao*<sup>2</sup> (*hiao*<sup>2</sup>)  
     其 — *k'iao*<sup>2</sup><sub>46</sub>  
 騷 *sao*<sup>1</sup>  
     藏 — *ts'ao*<sup>2</sup><sub>50</sub>      慈 — *ts'ao*<sup>2</sup><sub>62</sub>  
 梢 *shao*<sup>1</sup>  
     錐 — *chao*<sup>2</sup><sub>54</sub>      雖 — *sao*<sup>2</sup><sub>54</sub>  
 爪 *chao*<sup>3</sup>  
     胡 — *hao*<sup>2</sup><sub>60</sub>      雙 — *shao*<sup>2</sup><sub>120</sub>  
 燒 *shao*<sup>1</sup>  
     池 — *ch'ao*<sup>2</sup><sub>61</sub>  
 勦 *tsiao*<sup>3</sup>  
     桑 — *siao*<sup>2</sup><sub>68</sub>  
 杏 *yao*<sup>3</sup>  
     江 — *kiao*<sup>2</sup><sub>69</sub>      丘 — *k'iao*<sup>2</sup><sub>92</sub>  
 皎 *kiao*<sup>3</sup>  
     宜 — *'yiao*<sup>3</sup> (*'niao*<sup>3</sup>)<sub>70</sub>      郎 — *liao*<sup>3</sup><sub>71</sub>      衣 — *yao*<sup>3</sup> *yao*<sup>3</sup><sub>72 101</sub>      希 — *hiao*<sup>3</sup><sub>93</sub>

沼 *chao*<sup>3</sup>  
     禳 — *jao*<sup>3</sup><sub>73</sub>      商 — *shao*<sup>3</sup><sub>90</sub>  
 表 *piao*<sup>3</sup>  
     忙 — *miao*<sup>3</sup><sub>74</sub>  
 小 *siao*<sup>3</sup>  
     青 — *ts'iao*<sup>3</sup><sub>75</sub>      精 — *tsiao*<sup>3</sup><sub>105</sub>  
 卯 *mao*<sup>3</sup>  
     邦 — *pao*<sup>3</sup><sub>76</sub>      滂 — *p'ao*<sup>3</sup><sub>103</sub>      之 — *chao*<sup>3</sup><sub>107</sub>      沾 — *kao*<sup>3</sup><sub>113</sub>  
     枯 — *k'ao*<sup>3</sup><sub>114</sub>      聲 — *shao*<sup>3</sup><sub>115</sub>  
 保 *pao*<sup>3</sup>  
     忙 — *mao*<sup>3</sup><sub>77</sub>  
 島 *tao*<sup>3</sup>  
     郎 — *lao*<sup>3</sup><sub>79</sub>      囊 — *nao*<sup>3</sup><sub>100</sub>  
 倒 *tao*<sup>3</sup>  
     囊 — *nao*<sup>3</sup><sub>80</sub>  
 早 *tsao*<sup>3</sup>  
     桑 — *sao*<sup>3</sup><sub>81</sub>  
 渺 *miao*<sup>3</sup>  
     滂 — *p'iao*<sup>3</sup><sub>82</sub>      邦 — *piao*<sup>3</sup><sub>91</sub>  
 掃 *sao*<sup>3</sup>  
     臧 — *tsao*<sup>3</sup><sub>83</sub>      倉 — *ts'ao*<sup>3</sup><sub>98</sub>  
 老 *lao*<sup>3</sup>  
     當 — *tao*<sup>3</sup><sub>84</sub>      湯 — *t'ao*<sup>3</sup><sub>97</sub>  
 襖 *ao*<sup>3</sup>



	岡 — <i>kao</i> <sup>3</sup> 85	康 — <i>k'ao</i> <sup>3</sup> 87			
呆	<i>kao</i> <sup>3</sup>				
	阿 — <i>ao</i> <sup>3</sup> 86	呵 — <i>hao</i> <sup>3</sup> 99			
了	<i>liao</i> <sup>3</sup>				
	湯 — <i>t'iao</i> <sup>3</sup> 88				
遠	<i>jiao</i> <sup>3</sup>				
	知 — <i>chao</i> <sup>3</sup> 89				
考	<i>k'ao</i> <sup>3</sup>				
	博 — <i>pao</i> <sup>3</sup> 94				
醜	<i>tsiao</i> <sup>4</sup>				
	桑 — <i>siao</i> <sup>4</sup> 130	藏 — <i>ts'iao</i> <sup>4</sup> 147			
料	<i>liao</i> <sup>4</sup>				
	湯 — <i>t'iao</i> <sup>4</sup> 131	當 — <i>tiao</i> <sup>4</sup> 132	唐 — <i>t'iao</i> <sup>4</sup> 133		
貌	<i>mao</i> <sup>4</sup>				
	邦 — <i>pao</i> <sup>4</sup> 134	旁 — <i>p'ao</i> <sup>4</sup> 135			
噪	<i>sao</i> <sup>4</sup>				
	臧 — <i>tsao</i> <sup>4</sup> 136				
灶	<i>tsao</i> <sup>4</sup>				
	藏 — <i>ts'ao</i> <sup>4</sup> 136	桑 — <i>sao</i> <sup>4</sup> 161			
弔	<i>tiao</i> <sup>4</sup>				
	郎 — <i>liao</i> <sup>4</sup> 137				
告	<i>kao</i> <sup>4</sup>				
	昂 — <i>'ao</i> <sup>4</sup> 138	杭 — <i>hao</i> <sup>4</sup> 141	亨 — <i>hao</i> <sup>4</sup> 141	烏 — <i>ao</i> <sup>4</sup> 164	
紹	<i>shao</i> <sup>4</sup>				

	長 — <i>ch'ao</i> <sup>4</sup> 139				
邵	<i>shao</i> <sup>4</sup>				
	張 — <i>chao</i> <sup>4</sup> 139				
照	<i>chao</i> <sup>4</sup>				
	傷 — <i>shao</i> <sup>4</sup> 140	繩 — <i>shao</i> <sup>4</sup> 171	仁 — <i>jao</i> <sup>4</sup> 172		
滂	<i>lao</i> <sup>4</sup>				
	唐 — <i>t'ao</i> <sup>4</sup> 142	當 — <i>tao</i> <sup>4</sup> 143	湯 — <i>t'ao</i> <sup>4</sup> 175		
叫	<i>kiao</i> <sup>4</sup>				
	姚 — <i>yao</i> <sup>4</sup> 144	奚 — <i>hiao</i> <sup>4</sup> 152	么 — <i>yao</i> <sup>4</sup> 156	尼 — <i>'niao</i> <sup>4</sup> 167	
效	<i>hiao</i> <sup>4</sup>				
	江 — <i>kiao</i> <sup>4</sup> 145				
笑	<i>siao</i> <sup>4</sup>				
	藏 — <i>ts'iao</i> <sup>4</sup> 146	妻 — <i>ts'iao</i> <sup>4</sup> 149			
燥	<i>sao</i> <sup>4</sup>				
	倉 — <i>t'sao</i> <sup>4</sup> 148				
妙	<i>miao</i> <sup>4</sup>				
	邦 — <i>piao</i> <sup>4</sup> 150	滂 — <i>p'iao</i> <sup>4</sup> 174			
教	<i>kiao</i> <sup>4</sup>				
	興 — <i>hiao</i> <sup>4</sup> 151	奚 — <i>hiao</i> <sup>4</sup> 152			
報	<i>pao</i> <sup>4</sup>				
	忙 — <i>mao</i> <sup>4</sup> 157				
冒	<i>mao</i> <sup>4</sup>				
	滂 — <i>p'ao</i> <sup>4</sup> 153				
浩	<i>hao</i> <sup>4</sup>				



岡 — *kao*<sup>4</sup>  
 159  
 到 *tao*<sup>4</sup>  
 郎 — *lao*<sup>4</sup>      囊 — *nao*<sup>4</sup>      狻 — *nao*<sup>4</sup>  
 160                      163                      163  
 俵 *piao*<sup>4</sup>  
 忙 — *miao*<sup>4</sup>  
 162  
 要 *yao*<sup>4</sup>  
 丘 — *k'iao*<sup>4</sup>      强 — *k'iao*<sup>4</sup>  
 166                      173  
 罩 *chao*<sup>4</sup>  
 雙 — *shao*<sup>4</sup>  
 168  
 號 *hao*<sup>4</sup>  
 康 — *k'ao*<sup>4</sup>  
 170  
 耀 *yao*<sup>4</sup>  
 强 — *k'iao*<sup>4</sup>  
 173

第十二 歌戈韻 本韻には *o wo* を含み、其の共通點は *o* にして諺譯の *o*、今注音字母の *o* 是れに當る。本韻音切を寫すに *o* のローマ字を以てせるもの若干あるは、是れ相繋がる聲母の關係によりて幾分口腔に寬濶を來せることを示すが爲めの便宜にして、韻に異あるが故に非ず、蓋し *o* と *o* とは等しく喉頭の韻なれば、獨立に單純韻として用ゐらるゝ時は寧ろ *o* を適當とすべきも、聲母字音との關係上特に二様の寫し方を用ゐたるに過ぎざればなり。

和 *huo*<sup>2</sup>  
 岡 — *kuo*<sup>1</sup>      匡 — *k'uo*<sup>1</sup>      康 — *k'uo*<sup>1</sup>      瓜 — *kuo*<sup>1</sup>  
 1                      2                      3                      4  
 何 *ho*<sup>2</sup>

康 — *k'o*<sup>1</sup>      火 — *ho*<sup>2</sup>  
 3                      57  
 禾 *huo*<sup>2</sup>  
 瓜 — *kuo*<sup>1</sup>  
 4  
 搓 *ts'o*<sup>1</sup>  
 思 — *so*<sup>1</sup>  
 5  
 梭 *so*<sup>1</sup>  
 倉 — *ts'o*<sup>1</sup>      藏 — *ts'o*<sup>2</sup>  
 6                      21  
 羅 *lo*<sup>2</sup>  
 湯 — *t'o*<sup>1</sup>      當 — *to*<sup>1</sup>      唐 — *t'o*<sup>2</sup>  
 7                      13                      20  
 哥 *ko*<sup>1</sup>  
 何 — *he*<sup>1</sup>      呼 — *ho*<sup>1</sup>      杭 — *ho*<sup>2</sup>      吳 — *'e*<sup>2</sup>  
 8                      12                      19                      22  
 戈 *kuo*<sup>1</sup>  
 阿 — *wo*<sup>1</sup>(*eo*)      華 — *huo*<sup>2</sup>  
 9                      18  
 磨 *mo*<sup>2</sup>  
 葩 — *p'o*<sup>1</sup>      巴 — *po*<sup>1</sup>      旁 — *p'o*<sup>2</sup>  
 10                      11                      23  
 歌 *ko*<sup>1</sup>  
 呼 — *ho*<sup>1</sup>      杭 — *ho*<sup>2</sup>      吳 — *'e*<sup>2</sup>  
 12                      19                      22  
 波 *po*<sup>1</sup>  
 眉 — *mo*<sup>1</sup>      麻 — *mo*<sup>2</sup>  
 14                      16  
 多 *to*<sup>1</sup>  
 郎 — *lo*<sup>2</sup>      農 — *no*<sup>2</sup>  
 15                      7  
 巴 *pa*<sup>1</sup>      (此字家麻韻に屬すが故に誤)  
 (入ならん以下三字も同じ)  
 浮 — *fu*<sup>2</sup> (*fo*)  
 27  
 拏 *na*<sup>2</sup>



東 —  $ta^2$  ( $to^2$ )  
 30  
 麻  $ma^2$   
 之 —  $cha^2$  ( $cho^2$ )  
 31  
 左  $tso^3$   
 桑 —  $so$   
 38  
 可  $ko^3$   
 烏 —  $ε^3$   
 47  
 舸  $ko^3$   
 昂 —  $ε^3$   
 49  
 鎖  $so^3$   
 臧 —  $tso^3$   
 50  
 果  $kuo^3$   
 花 —  $huo^3$  徂 —  $ts'uo^3$  蛙 —  $wo^3$  抽 —  $ch'uo^3$   
 52 55 69 73  
 寡  $kuo^3$  (此字家麻韻に屬す誤用ならん)  
 思 —  $sua^3$  ( $suo^3$ ) 之 —  $chua^3$  ( $chuo^3$ )  
 74 75  
 箇  $ko^4$   
 臧 —  $tso^4$  昂 —  $ε^4$  俄 —  $ε^4$   
 79 92 105  
 佐  $tso^4$   
 臧 —  $tso^4$   
 80  
 邏  $lo^4$   
 唐 —  $to^4$  當 —  $to^4$   
 81 82  
 坐  $tso^4$   
 倉 —  $ts'o^4$   
 83  
 臥  $wo^4$

黃 —  $huo^4$  荒 —  $huo^4$  匡 —  $k'uo^4$  符 —  $fuo^4$   
 84 85 93 99  
 播  $po^4$   
 忙 —  $mo^4$  襪 —  $jo^4$  包 —  $po^4$   
 88 103 108  
 過  $kuo^4$   
 王 —  $wo^4$   
 89  
 剝  $to^4$   
 囊 —  $no^4$   
 90

第十三 家麻韻 本韻には  $a ia ua$  の三種を含み、其の共通點は  $a$  にして諺譯のト是れに當る。

牙  $ya^2$   
 居 —  $kia^1$   
 1  
 麻  $ma^2$   
 邦 —  $pa^1$  滂 —  $p'a^1$  旁 —  $p'a^2$   
 2 11 18  
 瓜  $kuo^1$   
 烏 —  $wa^1$  莊 —  $chua^1$  烘 —  $hua^1$  胡 —  $huo^2$   
 3 6 12 15  
 查  $cha^1$   
 師 —  $sha^1$  囊 —  $na^2$   
 4 20  
 沙  $sha^1$   
 之 —  $cha^1$  初 —  $ch'a^1$  茲 —  $tso^2$   
 5 8 21  
 家  $ka^1$   
 伊 —  $ya^1$   
 7  
 洼  $wa^1$   
 初 —  $ch'a^1$   
 8  
 華  $huo^2$



空 — *k'ua*<sup>9</sup>      光 — *kua*<sup>13</sup>  
 加 *ki*<sup>1</sup>  
     希 — *hi*<sup>10</sup>      移 — *ya*<sup>16</sup>      奚 — *hi*<sup>17</sup>      鋤 — *ch'a*<sup>19</sup>  
     枯 — *k'a*<sup>22</sup>      青 — *ts'a*<sup>23</sup>      清 — *ts'a*<sup>23</sup>      當 — *ta*<sup>24</sup>  
     扶 — *fu*<sup>27</sup>  
 巴 *pa*<sup>1</sup>  
     模 — *ma*<sup>14</sup>  
 佳 *ki*<sup>1</sup>  
     呼 — *hua*<sup>25</sup>      奚 — *hi*<sup>26</sup>      邦 — *pa*<sup>28</sup>  
 劫 *kieh* (此字は車遮韻に屬せり誤用なるべし)  
     其 — *k'ieh* (*ki*)<sup>32</sup>  
 把 *pa*<sup>3</sup>  
     忙 — *ma*<sup>33</sup>  
 賈 *ki*<sup>3</sup>  
     移 — *ya*<sup>34</sup>      殺 — *sha*<sup>56</sup>  
 鉞 *cha*<sup>3</sup>  
     商 — *sha*<sup>35</sup>      雙 — *sha*<sup>49</sup>  
 雅 *ya*<sup>3</sup>  
     傷 — *sha*<sup>36</sup>      之 — *cha*<sup>42</sup>      當 — *ta*<sup>43</sup>      方 — *fu*<sup>53</sup>  
     江 — *ki*<sup>54</sup>      強 — *k'ia*<sup>61</sup>      匡 — *k'a*<sup>64</sup>  
 瓦 *wa*<sup>3</sup>  
     光 — *kua*<sup>38</sup>  
 下 *hi*<sup>4</sup>  
     齒 — *ch'a*<sup>39</sup>

馬 *ma*<sup>3</sup>  
     邦 — *pa*<sup>40</sup>      霜 — *shua*<sup>44</sup>      离 — *li*<sup>47</sup>  
 寡 *kua*<sup>3</sup>  
     王 — *wa*<sup>41</sup>      烏 — *wa*<sup>62</sup>      雙 — *shua*<sup>63</sup>  
 打 *ta*<sup>3</sup>  
     奴 — *na*<sup>45</sup>      湯 — *ta*<sup>48</sup>  
 洒 *sa*<sup>3</sup>  
     莊 — *cha*<sup>50</sup>  
 殺 *sha*<sup>3</sup>  
     抽 — *ch'a*<sup>52</sup>  
 假 *ki*<sup>3</sup>  
     香 — *hi*<sup>59</sup>  
 煞 *sha*<sup>3</sup>  
     七 — *ts'a*<sup>65</sup>  
 合 *ha*<sup>5</sup> (誤用な?)  
     五 — *wa*<sup>66</sup>  
 亞 *ya*<sup>4</sup>  
     江 — *ki*<sup>67</sup>      囊 — *na*<sup>89</sup>  
 卦 *kua*<sup>4</sup>  
     汪 — *wa*<sup>68</sup>      王 — *wa*<sup>69</sup>      荒 — *hua*<sup>77</sup>      胡 — *hu*<sup>77</sup>  
 化 *hua*<sup>4</sup>  
     匡 — *k'ua*<sup>70</sup>  
 架 *ki*<sup>4</sup>  
     衣 — *yr*<sup>71</sup>      枯 — *k'a*<sup>86</sup>      郎 — *la*<sup>88</sup>      那 — *na*<sup>88</sup>



羊 — *ya<sup>4</sup>*  
 90  
 詐 *cha<sup>4</sup>*  
 瘡 — *ch'a<sup>4</sup>*  
 72  
 罵 *ma<sup>4</sup>*  
 榜 — *p'a<sup>4</sup>*    滂 — *p'a<sup>4</sup>*    邦 — *pa<sup>4</sup>*    旁 — *p'a<sup>4</sup>*  
 73                      73                      79                      80  
 忘 — *wa<sup>4</sup>*  
 92  
 價 *kia<sup>4</sup>*  
 庄 — *cha<sup>4</sup>*    牀 — *ch'a<sup>4</sup>*    奚 — *hia<sup>4</sup>*  
 74                      75                      76  
 嫁 *kia<sup>4</sup>*  
 奴 — *na<sup>4</sup>*    所 — *sha<sup>4</sup>*  
 78                      87  
 話 *hua<sup>4</sup>*  
 光 — *kua<sup>4</sup>*    匡 — *k'ua<sup>4</sup>*  
 81                      85  
 那 *na<sup>4</sup>*  
 堂 — *ta<sup>4</sup>*  
 83  
 霸 *pa<sup>4</sup>*  
 忙 — *ma<sup>4</sup>*  
 84

第十四 車遮韻    本韻には *ch ieh ueh ueh* を含み、其の共通點は *e* にして今ローマ字に *eh* の如く *h* を附綴せるは *e* の尾韻に氣息を帯びたるを示せるもの、諺譯に用ふるは  $\widehat{イヨ}$  に近き音なれば較々實際と差あるが如きも、是れ朝鮮音の特質なること先天韻の項にて説けるが如し。

些 *sieh<sup>1</sup>*  
 茲 — *tsieh<sup>1</sup>*  
 1  
 遮 *chelh<sup>1</sup>*

聲 — *shel<sup>1</sup>*    虛 — *huel<sup>1</sup>*    移 — *yeh<sup>2</sup>*    繩 — *shel<sup>2</sup> shel<sup>2</sup>*  
                     2                      6                      8                      10                      22  
 蛇 *shel<sup>2</sup>*  
 昌 — *ch'eh<sup>1</sup>*    張 — *chelh<sup>1</sup> chelh<sup>2</sup>*    長 — *ch'eh<sup>2</sup>*  
                     3                      4                      77                      27  
 呆 *yeh<sup>2</sup>*  
 多 — *tieh<sup>1</sup>*  
                     5  
 嗟 *tsieh<sup>1</sup>*  
 西 — *sieh<sup>1</sup>*    辭 — *sieh<sup>2</sup>*  
                     2                      9  
 爹 *tieh<sup>1</sup>*  
 郎 — *lieh<sup>2</sup>*  
                     11  
 靴 *huel<sup>1</sup>*  
 渠 — *k'ueh<sup>2</sup>*    *k'ueh<sup>2</sup>*    胡 — *hueh<sup>2</sup>*    藏 — *ts'ueh<sup>2</sup>*    徐 — *sueh<sup>2</sup>*  
                     12                      21                      17                      25                      26  
 耶 *yeh<sup>2</sup>*  
 雞 — *kieh<sup>2</sup>*    其 — *k'ieh<sup>2</sup> k'ieh<sup>2</sup>*    希 — *hieh<sup>2</sup>*    奚 — *hieh<sup>2</sup>*  
                     13                      14                      19                      17                      18  
 斜 *sieh<sup>2</sup>*  
 藏 — *ts'ieh<sup>2</sup>*  
                     23  
 爺 *yeh<sup>2</sup>*  
 邦 — *pieh<sup>2</sup>*  
                     24  
 姐 *tsieh<sup>2</sup>*  
 桑 — *sieh<sup>3</sup>*    奚 — *hieh<sup>3</sup>*    倉 — *ts'ieh<sup>3</sup>*  
                     32                      30                      35  
 者 *chelh<sup>3</sup>*  
 藏 — *jeh<sup>3</sup>*    商 — *shelh<sup>3</sup>*  
                     32                      51  
 惹 *jeh<sup>3</sup>*  
 昌 — *ch'eh<sup>3</sup>*  
                     33  
 也 *yeh<sup>3</sup>*



忙 — <i>mich<sup>3</sup></i> 36	飢 — <i>kiel<sup>3</sup></i> 39	丘 — <i>k'iel<sup>3</sup></i> 40	希 — <i>hiel<sup>3</sup></i> 42
區 — <i>k'uel<sup>3</sup></i> 43	居 — <i>kueh<sup>3</sup></i> 44	湯 — <i>t'iel<sup>3</sup></i> 45	偏 — <i>p'iel<sup>3</sup></i> 46
邦 — <i>piel<sup>3</sup></i> 47	須 — <i>süel<sup>3</sup></i> 53		
說 <i>shuel<sup>3</sup></i>			
朱 — <i>chuel<sup>3</sup></i> 48	樞 — <i>ch'ueh<sup>3</sup></i> 52		
偌 <i>jeh<sup>3</sup></i>			
昌 — <i>ch'eh<sup>3</sup></i> 49			
拙 <i>chuel<sup>3</sup></i>			
書 — <i>shuel<sup>3</sup></i> 54			
結 <i>kiel<sup>3</sup></i>			
衣 — <i>yeh<sup>3</sup></i> 55			
決 <i>kuel<sup>3</sup></i>			
於 — <i>yüeh<sup>3</sup></i> 56			
雪 <i>süeh<sup>3</sup></i>			
疽 — <i>tsüeh<sup>3</sup></i> 57			
蔗 <i>shel<sup>4</sup></i>			
申 — <i>shel<sup>4</sup></i> 58	神 — <i>shel<sup>4</sup></i> 58	仁 — <i>jeh<sup>4</sup></i> 70	
借 <i>tsieh<sup>4</sup></i>			
詞 — <i>sieh<sup>4</sup></i> 59	桑 — <i>sieh<sup>4</sup></i> 59		
射 <i>shel<sup>4</sup></i>			
張 — <i>chel<sup>4</sup></i> 61			
夜 <i>yeh<sup>4</sup></i>			
茲 — <i>tsieh<sup>4</sup></i> 62	青 — <i>ts'ieh<sup>4</sup></i> 63	尼 — <i>'liel<sup>4</sup></i> 65	迷 — <i>mich<sup>4</sup></i> 66
郎 — <i>liel<sup>4</sup></i> 68	魚 — <i>'yüeh<sup>4</sup></i> 69		

月 *'yueh<sup>4</sup>*

如 — *jueh<sup>4</sup>*  
71

閩 — *lueh<sup>4</sup>*  
72

第十五 庚青韻 本韻には *eng ing* の二韻を含み、其共通點は *eng* にして東鍾韻 (本節第) の最終韻と相通すること前述の如し、即ち本韻及び東鍾韻最終の *ng* は支那音の特質として單純なる *ng* にあらず、喉頭に發する *ɿ* の韻が結ばれあるものなれば、*i u u* の如き口腔の窄まる音に繋がる場合には、*ɿ* は茲に其韻を失ひ、然らざる場合には其韻を存す、支那人が唸り聲を寫すに *eng* を以てするは能く此韻の特質を語るものにして、就ち *ing* は其實 *ieng* と寫せば解し易きものなりとす。

英 *ying<sup>1</sup>*

雞 — *king<sup>1</sup>*  
1

星 *sing<sup>1</sup>*

茲 — *tsing<sup>1</sup>*  
2

妻 — *ts'ing<sup>2</sup>*  
17

齊 — *ts'ing<sup>2</sup>*  
41

爭 *chēng<sup>1</sup>*

尸 — *shēng<sup>1</sup>*  
3

而 — *jēng<sup>2</sup>*  
51

生 *shēng<sup>1</sup>*

之 — *chēng<sup>1</sup>*  
4

雖 — *sēng<sup>1</sup>*  
13

遲 — *ch'ēng<sup>2</sup>*  
48

零 *ling<sup>2</sup>*

低 — *ting<sup>1</sup>*  
5

梯 — *t'ing<sup>1</sup>*  
19

題 — *t'ing<sup>2</sup>*  
42

名 *ming<sup>2</sup>*

居 — *kūng<sup>1</sup>*  
6

聲 *shēng<sup>1</sup>*

知 — *chēng<sup>1</sup>*  
7

明 *ming<sup>2</sup>*



巴 — ping<sup>1</sup><sub>8</sub>      毘 — p'ing<sup>2</sup><sub>29</sub>      批 — p'ing<sup>2</sup><sub>29</sub>  
 稜 leng<sup>2</sup>  
     多 — teng<sup>1</sup><sub>9</sub>      唐 — t'eng<sup>4</sup><sub>81</sub>      當 — teng<sup>4</sup><sub>81</sub>  
 宏 heng<sup>2</sup>  
     呼 — heng<sup>1</sup><sub>10</sub>      烏 — weng<sup>1</sup><sub>27</sub>  
 僧 seng<sup>1</sup>  
     茲 — tseng<sup>1</sup><sub>11</sub>      徂 — ts'eng<sup>2</sup><sub>34</sub>  
 升 sheng<sup>1</sup>  
     痴 — ch'eng<sup>1</sup><sub>12</sub>  
 京 king<sup>1</sup>  
     衣 — ying<sup>1</sup><sub>14</sub>  
 盈 ying<sup>2</sup>  
     欺 — k'ing<sup>1</sup><sub>15</sub>  
 經 king<sup>1</sup>  
     希 — hing<sup>1</sup><sub>16</sub>      奚 — hing<sup>2</sup><sub>40</sub>      泥 — ning<sup>2</sup><sub>50</sub>  
 征 cheng<sup>1</sup>  
     施 — sheng<sup>1</sup><sub>18</sub>      蛇 — sheng<sup>2</sup><sub>52</sub>  
 精 tsing<sup>1</sup>  
     梭 — sing<sup>1</sup><sub>20</sub>  
 耕 king<sup>1</sup>  
     逋 — peng<sup>1</sup><sub>21</sub>      移 — ying<sup>2</sup><sub>38</sub>  
 橫 heng<sup>2</sup>  
     姑 — keng<sup>1</sup><sub>22</sub>      逋 — peng<sup>1</sup><sub>28</sub>      蒲 — p'eng<sup>2</sup><sub>32</sub>  
 曾 tseng<sup>2</sup>

    思 — seng<sup>1</sup><sub>24</sub>  
 貞 cheng<sup>1</sup>  
     呵 — heng<sup>1</sup><sub>25</sub>  
 庚 keng<sup>1</sup>  
     呵 — heng<sup>1</sup><sub>25</sub>  
 營 ying<sup>2</sup>  
     虛 — h'ung<sup>1</sup><sub>29</sub>      渠 — k'ung<sup>2</sup><sub>43</sub>  
 兵 ping<sup>1</sup>  
     迷 — ming<sup>2</sup><sub>30</sub>  
 丁 ting<sup>1</sup>  
     離 — ling<sup>2</sup><sub>31</sub>  
 登 teng<sup>1</sup>  
     盧 — l'eng<sup>2</sup><sub>33</sub>      奴 — neng<sup>2</sup><sub>35</sub>  
 楞 leng<sup>2</sup>  
     徒 — t'eng<sup>2</sup><sub>36</sub>  
 行 hing<sup>2</sup>  
     其 — k'ing<sup>2</sup><sub>39</sub>  
 繩 sheng<sup>2</sup>  
     池 — ch'eng<sup>2</sup><sub>44</sub>  
 崩 peng<sup>2</sup>  
     麻 — meng<sup>2</sup><sub>46</sub>  
 工 keng<sup>1</sup> (此字は東鑑韻に屬するも今本韻に列するが故に假りに其音を定む)  
     胡 — heng<sup>2</sup><sub>47</sub>  
 平 ping<sup>2</sup>



除 — yung<sup>49</sup>  
 情 ts'ing<sup>4</sup>  
 詞 — sing<sup>53</sup>  
 燈 teng<sup>4</sup>  
 拖 — t'eng<sup>54</sup>  
 影 ying<sup>4</sup>  
 江 — king<sup>55</sup>  
 茗 ming<sup>4</sup>  
 邦 — ping<sup>57</sup>  
 景 king<sup>4</sup>  
 衣 — ying<sup>62</sup>    羊 — ying<sup>62</sup>    希 — hing<sup>75</sup>  
 猛 meng<sup>4</sup>  
 古 — keng<sup>61</sup>  
 永 yung<sup>4</sup>  
 居 — kung<sup>62</sup>  
 梗 keng<sup>4</sup>  
 母 — meng<sup>63</sup>  
 濃 neng<sup>4</sup> (此字は東鍾韻に屬するも、今本韻に列するが故に假りに其音を定む)  
 于 — yung<sup>4</sup>  
 硬 ying<sup>4</sup>  
 其 — k'ing<sup>77</sup>  
 佞 ning<sup>4</sup>  
 魚 — ying<sup>78</sup>  
 用 yeng<sup>4</sup> (此字は東鍾韻に屬するも、今本韻に列するが故に假りに其音を定む)

踞 — kung<sup>82</sup>  
 剩 sheng<sup>4</sup>  
 長 — ch'eng<sup>85</sup>  
 命 ming<sup>4</sup>  
 爲 — ying<sup>86</sup>    邦 — ping<sup>87</sup>    滂 — p'ing<sup>91</sup>  
 正 cheng<sup>4</sup>  
 商 — sheng<sup>89</sup>    禳 — jeng<sup>89</sup>  
 性 sing<sup>4</sup>  
 藏 — ts'ing<sup>93</sup>  
 敬 king<sup>4</sup>  
 奚 — hing<sup>94</sup>    希 — hing<sup>94</sup>  
 鄂 t'eng<sup>4</sup>  
 妻 — ts'eng<sup>96</sup>    居 — keng<sup>106</sup>    台 — t'eng<sup>107</sup>  
 盛 sheng<sup>4</sup>  
 昌 — ch'eng<sup>97</sup>  
 另 ling<sup>4</sup>  
 低 — ting<sup>98</sup>    提 — t'ing<sup>99</sup>  
 定 ting<sup>4</sup>  
 他 — t'ing<sup>101</sup>  
 孟 meng<sup>4</sup>  
 方 — feng<sup>102</sup>    戶 — heng<sup>104</sup>  
 竟 king<sup>4</sup>  
 暮 — meng<sup>103</sup>  
 堯 teng<sup>4</sup>



抽 — *ch'eng*<sup>4</sup><sub>165</sub>      郎 — *leng*<sup>4</sup><sub>108</sub>

第十六 尤侯韻 本韻には *ou iu* を含みて一見其共通點が *u* に在るが如きも、斯くては魚模韻と區別なければ、本韻の最終は *u* に歸着するも其の韻内唇に達するの前喉頭に *o* (又 *o* とも同じ) の基本韻あるものなるが故に、若し嚴格に本韻を示せば、*ou iou* (又 *iu*) と寫すべきものにして、*开* が共通韻は *ou* (又 *iu*) なりとす、而して *o* (又 *o*) が喉頭の韻なる爲、前に *i* 音の結ばるれば *iou* が化せられて *iu* の如くなること、亦た庚青韻 (前項) の *eng* と *ing* との關係に於けると同じ。

因 *ts'iu*<sup>1</sup>

茲 — *tsiu*<sup>1</sup><sub>1</sub>      粗 — *ts'iu*<sup>1</sup><sub>9</sub>      妻 — *ts'iu*<sup>1</sup><sub>9</sub>

由 *you*<sup>2</sup>

飢 — *kiu*<sup>1</sup><sub>2</sub>      溪 — *k'iu*<sup>1</sup><sub>14</sub>      其 — *k'iu*<sup>2</sup><sub>31</sub>      直 — *ch'ou*<sup>2</sup><sub>36</sub>

商 — *shou*<sup>2</sup><sub>37</sub>

鄒 *chou*<sup>1</sup>

之 — *chou*<sup>1</sup><sub>3</sub> (此字は誤用なるべし、本文参照)

搜 *chou*<sup>1</sup> (sou 又は shou の訛誤ならむ、本文参照)

之 — *chou*<sup>1</sup><sub>4</sub>      又 — *chou*<sup>1</sup><sub>16</sub>      鋤 — *ch'ou*<sup>2</sup><sub>33</sub>

鳩 *kiu*<sup>1</sup>

希 — *hiu*<sup>1</sup><sub>5</sub>      衣 — *you*<sup>1</sup><sub>10</sub>      疏 — *shou*<sup>1</sup><sub>17</sub>      移 — *you*<sup>2</sup><sub>22</sub>

房 — *foi*<sup>2</sup><sub>35</sub>

勾 *kou*<sup>1</sup>

阿 — *ou*<sup>1</sup><sub>9</sub>      *ou*<sup>1</sup><sub>20</sub>      何 — *hou*<sup>2</sup><sub>23</sub>

謳 *ou*<sup>1</sup>

哥 — *kou*<sup>1</sup><sub>7</sub>

婁 *lou*<sup>2</sup>

多 — *tu*<sup>1</sup><sub>8</sub>      拖 — *t'ou*<sup>1</sup><sub>15</sub>      枯 — *k'ou*<sup>1</sup><sub>21</sub>      籬 — *kou*<sup>1</sup><sub>21</sub>

陀 — *t'ou*<sup>2</sup><sub>32</sub>

揪 *ts'iu*<sup>1</sup>

西 — *siu*<sup>1</sup><sub>11</sub>

秋 *ts'iu*<sup>1</sup>

西 — *siu*<sup>1</sup><sub>11</sub>      慈 — *ts'iu*<sup>2</sup><sub>29</sub>

柔 *jou*<sup>2</sup>

昌 — *ch'ou*<sup>1</sup><sub>12</sub>      張 — *chou*<sup>1</sup><sub>13</sub>      長 — *ch'ou*<sup>2</sup><sub>30</sub>

矛 *mou*<sup>2</sup>

巴 — *pou*<sup>1</sup><sub>18</sub>

周 *chou*<sup>1</sup>

賒 — *shou*<sup>1</sup><sub>19</sub>

丟 *tiu*<sup>1</sup>

郎 — *liu*<sup>2</sup><sub>24</sub>      良 — *liu*<sup>2</sup><sub>24</sub>

州 *chou*<sup>1</sup>

如 — *ju*<sup>2</sup><sub>25</sub>

侯 *hou*<sup>2</sup>

蒲 — *p'ou*<sup>2</sup><sub>26</sub>      酥 — *sou*<sup>2</sup><sub>34</sub>

彪 *pou*<sup>1</sup>

麻 — *mou*<sup>2</sup><sub>27</sub>

兜 *t'ou*<sup>1</sup>

羅 — *lou*<sup>2</sup><sub>28</sub>



九 *kiu<sup>3</sup>*  
     移 — *you<sup>3</sup>*<sub>40</sub>      滂 — *p'ou<sup>3</sup>*<sub>54</sub>      仁 — *jou<sup>3</sup>*<sub>58</sub>  
 久 *kiu<sup>3</sup>*  
     尼 — *'ni<sup>3</sup>*<sub>42</sub>      虛 — *hi<sup>3</sup>*<sub>52</sub>      方 — *fou<sup>3</sup>*<sub>57</sub>  
 有 *you<sup>3</sup>*  
     筭 — *ki<sup>3</sup>*<sub>44</sub>  
 走 *tsou<sup>3</sup>*  
     桑 — *sou<sup>3</sup>*<sub>46</sub>      思 — *sou<sup>3</sup>*<sub>62</sub>  
 口 *k'ou<sup>3</sup>*  
     魚 — *'ou<sup>3</sup>*<sub>49</sub>  
 友 *you<sup>3</sup>*  
     賈 — *tsi<sup>3</sup>*<sub>53</sub>  
 苟 *kou<sup>3</sup>*  
     呵 — *hou<sup>3</sup>*<sub>55</sub>      枯 — *k'ou<sup>3</sup>*<sub>59</sub>  
 叟 *sou<sup>3</sup>*  
     茲 — *tsou<sup>3</sup>*<sub>56</sub>      粗 — *ts'ou<sup>3</sup>*<sub>60</sub>  
 厚 *hou<sup>3</sup>*  
     枯 — *k'ou<sup>3</sup>*<sub>59</sub>  
 究 *kiu<sup>4</sup>*  
     移 — *you<sup>4</sup>*<sub>67</sub>  
 壽 *shou<sup>4</sup>*  
     長 — *ch'ou<sup>4</sup>*<sub>63</sub>  
 又 *you<sup>4</sup>*  
     其 — *ki<sup>4</sup>*<sub>69</sub>      飢 — *ki<sup>4</sup>*<sub>69</sub>      防 — *fou<sup>4</sup>*<sub>92</sub>      房 — *fou<sup>4</sup>*<sub>92</sub>

咒 *chou<sup>4</sup>*  
     神 — *shou<sup>4</sup>*<sub>70</sub>  
 奏 *tsou<sup>4</sup>*  
     桑 — *sou<sup>4</sup>*<sub>72</sub>  
 瘦 *chou<sup>4</sup>* (shou 又は sou の訛誤ならむ、本文参照)  
     庄 — *chou<sup>4</sup>*<sub>73</sub>      牀 — *ch'ou<sup>4</sup>*<sub>86</sub>  
 候 *hou<sup>4</sup>*  
     庚 — *k'ou<sup>4</sup>*<sub>75</sub>  
 秀 *siu<sup>4</sup>*  
     藏 — *ts'iu<sup>4</sup>*<sub>77</sub>  
 漏 *lou<sup>4</sup>*  
     唐 — *t'ou<sup>4</sup>*<sub>78</sub>      當 — *tou<sup>4</sup>*<sub>78</sub>  
 嗽 *sou<sup>4</sup>*  
     倉 — *ts'ou<sup>4</sup>*<sub>80</sub>  
 救 *kiu<sup>4</sup>*  
     蒼 — *ts'ou<sup>4</sup>*<sub>80</sub>      初 — *ch'ou<sup>4</sup>*<sub>91</sub>  
 鬪 *tou<sup>4</sup>*  
     囊 — *nou<sup>4</sup>*<sub>87</sub>  
 后 *hou<sup>4</sup>*  
     茲 — *tsou<sup>4</sup>*<sub>88</sub>  
 構 *kou<sup>4</sup>*  
     忙 — *mou<sup>4</sup>*<sub>90</sub>      方 — *fou<sup>4</sup>*<sub>94</sub>

第十七 侵尋韻      本韻には *em im* (嚴格に寫) を含み、其の  
 共通韻は *em* なるが故に、眞文韻 (第七項) 一部の閉口韻と見る



を至當とす。

深 *shēm<sup>1</sup>*  
 知 — *chēm<sup>1</sup>*<sub>1</sub>      持 — *ch'ēm<sup>2</sup>*<sub>20</sub>  
 吟 *yim<sup>1</sup>*  
 飢 — *kim<sup>1</sup>*<sub>2</sub>      欺 — *k'im<sup>1</sup>*<sub>11</sub>      其 — *k'im<sup>2</sup>*<sub>18</sub>  
 心 *sim<sup>1</sup>*  
 妻 — *ts'im<sup>1</sup>*<sub>3</sub>  
 針 *chēm<sup>1</sup>*  
 踪 — *shēm<sup>1</sup>*<sub>4</sub>  
 參 *shēm<sup>1</sup>*  
 之 — *chēm<sup>1</sup>*<sub>5</sub>  
 淫 *yim<sup>1</sup>*  
 慈 — *ts'ēm<sup>1</sup>*<sub>6</sub>  
 隱 *yim<sup>3</sup> (yim)* (此字は眞文韻に屬す  
 が故に誤入なるべし)  
 慈 — *ts'ēn (ts'ēm)*<sub>6</sub>  
 簪 *chēm<sup>1</sup>*  
 尸 — *shēm<sup>1</sup>*<sub>7</sub>  
 森 *shēm<sup>1</sup>*  
 抽 — *ch'ēm<sup>1</sup>*<sub>8</sub>      鋤 — *ch'ēm<sup>2</sup>*<sub>19</sub>  
 金 *kim<sup>1</sup>*  
 衣 — *yim<sup>1</sup>*<sub>9</sub>      希 — *him<sup>1</sup>*<sub>13</sub>      离 — *lim<sup>2</sup>*<sub>14</sub>      如 — *jēm<sup>2</sup>*<sub>15</sub>  
 移 — *yim<sup>2</sup>*<sub>17</sub>      呵 — *hēm<sup>2</sup>*<sub>21</sub>  
 侵 *ts'im<sup>1</sup>*  
 思 — *sim<sup>1</sup>*<sub>10</sub>      詞 — *sim<sup>2</sup>*<sub>16</sub>

枕 *chēm<sup>2</sup>*  
 仁 — *jēm<sup>2</sup>*<sub>23</sub>  
 錦 *kim<sup>2</sup>*  
 初 — *ch'ēm<sup>2</sup>*<sub>26</sub>      疏 — *shēm<sup>2</sup>*<sub>26</sub>  
 任 *jēm<sup>2</sup>*  
 茲 — *tsēm<sup>2</sup>*<sub>30</sub>  
 鳩 *ch'ēm<sup>2</sup>*  
 茲 — *tsēm<sup>2</sup>*<sub>38</sub>  
 禁 *kim<sup>2</sup>*  
 初 — *ch'ēm<sup>4</sup>*<sub>41</sub>      蘆 — *lēm<sup>4</sup>*<sub>44</sub>      他 — *t'ēm<sup>4</sup>*<sub>45</sub>      欺 — *k'im<sup>4</sup>*<sub>46</sub>

第十八 監咸韻 本韻には *am iam* を含み、其の共通點は *am* なるが故に亦た寒山韻一部の閉口韻と見るを得べし。

甘 *kam<sup>1</sup>*  
 烏 — *am<sup>1</sup>*<sub>1</sub>      呵 — *ham<sup>1</sup>*<sub>10</sub>      何 — *ham<sup>2</sup>*<sub>24</sub>  
 藍 *lam<sup>2</sup>*  
 都 — *tam<sup>1</sup>*<sub>2</sub>      徒 — *t'am<sup>2</sup>*<sub>22</sub>      他 — *t'am<sup>2</sup>*<sub>28</sub>  
 咸 *hiam<sup>2</sup>*  
 飢 — *kiam<sup>1</sup>*<sub>3</sub>      竹 — *cham<sup>1</sup>*<sub>14</sub>      鋤 — *ch'am<sup>2</sup>*<sub>25</sub>      希 — *hiam<sup>2</sup>*<sub>34</sub>  
 之 — *cham<sup>2</sup>*<sub>41</sub>  
 含 *ham<sup>2</sup>*  
 軻 — *k'am<sup>1</sup>*<sub>4</sub>      哥 — *kam<sup>1</sup>*<sub>6</sub>      踈 — *sham<sup>1</sup>*<sub>18</sub>      藏 — *ts'am<sup>2</sup>*<sub>23</sub>  
 簪 *tsam<sup>1</sup>*  
 思 — *sam<sup>1</sup>*<sub>5</sub>  
 岩 *yiam<sup>2</sup>*



師 — sham<sup>1</sup> 7      欺 — k'iam<sup>1</sup> 12  
 婪 lam<sup>2</sup>  
 他 — t'am<sup>1</sup> 8  
 三 sam<sup>1</sup>  
 倉 — ts'am<sup>1</sup> 9      茲 — tsam<sup>1</sup> 11  
 監 kiam<sup>1</sup>  
 衣 — yiam<sup>1</sup> 15      奚 — hiam<sup>2</sup> 20      移 — yiam<sup>2</sup> 26  
 銜 hiam<sup>2</sup>  
 初 — ch'am<sup>1</sup> 16  
 聃 tam<sup>1</sup>  
 那 — nam<sup>2</sup> 19  
 擔 tam<sup>1</sup>  
 羅 — lam<sup>2</sup> 21  
 覽 lam<sup>2</sup>  
 妻 — ts'am<sup>2</sup> 32  
 敢 kam<sup>2</sup>  
 烏 — am<sup>2</sup> 33  
 減 kiam<sup>2</sup>  
 希 — hiam<sup>2</sup> 34      衣 — yiam<sup>2</sup> 40      之 — cham<sup>2</sup> 41  
 威 kam<sup>2</sup>  
 徒 — t'am<sup>2</sup> 25  
 膽 tam<sup>2</sup>  
 那 — nam<sup>2</sup> 43  
 憾 ham<sup>4</sup>

軻 — k'am<sup>4</sup> 43  
 濫 lam<sup>4</sup>  
 徒 — t'am<sup>4</sup> 46      多 — tam<sup>4</sup> 47      知 — cham<sup>4</sup> 51      西 — siam<sup>4</sup> 55  
 龕 — ts'am<sup>4</sup> 61      休 — hiam<sup>4</sup> 62  
 豎 kiam<sup>4</sup>  
 奚 — hiam<sup>4</sup> 48      溪 — k'iam<sup>4</sup> 50      茲 — tsam<sup>4</sup> 55      衣 — yiam<sup>4</sup> 57  
 探 t'am<sup>4</sup>  
 徒 — t'am<sup>4</sup> 63

第十九 廉纖韻      本韻には em iem を含み、其の共通點は em に在るが故に、亦た先天韻一部の閉口韻と見るを得べし。

苦 shem<sup>1</sup>  
 知 — chem<sup>1</sup> 1  
 鹽 yem<sup>2</sup>  
 飢 — k'iem<sup>1</sup> 2      欺 — k'iem<sup>1</sup> 11      离 — liem<sup>2</sup> 13      其 — k'iem<sup>2</sup> 16  
 慈 — ts'iem<sup>1</sup> 21  
 兼 k'iem<sup>1</sup>  
 衣 — yem<sup>1</sup> 3      希 — h'iem<sup>1</sup> 7      尼 — 'niem<sup>2</sup> 14      移 — yem<sup>2</sup> 18  
 徒 — t'iem<sup>2</sup> 19      奚 — h'iem<sup>2</sup> 22  
 尖 tsiem<sup>1</sup>  
 西 — siem<sup>1</sup> 4  
 織 siem<sup>1</sup>  
 妻 — ts'iem<sup>1</sup> 5      茲 — tsiem<sup>1</sup> 8      詞 — siem<sup>2</sup> 15  
 髻 jem<sup>2</sup>  
 痴 — ch'iem<sup>1</sup> 6      池 — ch'iem<sup>2</sup> 17



廉	liem <sup>2</sup>				
	低 — tiem <sup>1</sup> <sub>9</sub>	他 — t'iem <sup>1</sup> <sub>12</sub>			
占	chem <sup>1</sup>				
	聲 — shem <sup>1</sup> <sub>10</sub>	仁 — jem <sup>2</sup> <sub>20</sub>			
檢	kien <sup>3</sup>				
	於 — yem <sup>3</sup> <sub>24</sub>	移 — yem <sup>3</sup> <sub>24</sub>			
斂	liem <sup>3</sup>				
	他 — t'iem <sup>3</sup> <sub>29</sub>	當 — tiem <sup>3</sup> <sub>32</sub> tiem <sup>3</sup> <sub>38</sub>			
臉	liem <sup>3</sup>				
	希 — liem <sup>3</sup> <sub>30</sub>				
染	jem <sup>3</sup>				
	昌 — ch'em <sup>3</sup> <sub>31</sub>				
冉	jem <sup>3</sup>				
	昌 — ch'em <sup>3</sup> <sub>31</sub>				
劍	kien <sup>4</sup>				
	移 — yem <sup>4</sup> <sub>35</sub>	衣 — yem <sup>4</sup> <sub>35</sub>	尼 — niem <sup>4</sup> <sub>40</sub>	希 — liem <sup>4</sup> <sub>48</sub>	
占	chem <sup>4</sup>				
	傷 — suem <sup>4</sup> <sub>36</sub>				
焯	yem <sup>4</sup>				
	欺 — k'iem <sup>4</sup> <sub>37</sub>	江 — kien <sup>4</sup> <sub>41</sub>	強 — k'iem <sup>4</sup> <sub>42</sub>	張 — chem <sup>4</sup> <sub>46</sub>	
	昌 — ch'em <sup>4</sup> <sub>47</sub>				
店	liem <sup>4</sup>				
	离 — liem <sup>4</sup> <sub>39</sub>				

#### 第十四節 首音より観たる音切

‘中原音韻’は韻書中の特殊なる者なれば、本書の音切に用ゐたる韻母即ち尾韻を寫す下一字は、縱令、其音註者が原著者德清に非すとすも、亦た其の音切が古來の慣用を混するとして、必らずや德清が編纂の趣旨に叶ふべく勗めたることは之を疑ふの餘地なきを以て、随つて、其の韻母の解釋には何等の例外なく‘中原音韻’の分韻別に遵ふべきこと、例へば寒山韻中に使用せられたるものは其韻尾必らず *am* に、車遮韻中に使用せられたるものは、亦た其韻尾必らず *eh* と決すべきや論無しと雖、首音即ち聲母を寫す音切の上一字は之れに反し、此書の目的が當時の標準口語音を寫して北曲の用音を示すに在ると、亦た時音の變化が主として韻の方面に多き事實とに觀て、聲母字音の解釋は通行音中未だ‘中原音韻’に其の面目を改められざるものと推定すべく、殊に支那寫音法の慣例として其の反切には、必らず古來の正音として信憑すべき文献に傳ふるものに遵ふが常なれば、今首尾の觀察に際しては特に此點を顧慮せざる可らず、何となれば、‘中原音韻’の未だ其音切を示さざる以前世人は皆な斯かる字音を時代の依據音と見るが常なればなり、況んや‘中原音韻’の一書は、時人尙ほ之れを單なる北曲の參考韻書とするに止まりて、正式韻書の權威あるものと見做さざるをや。今之れを實際の例に徴するも

[尤 49] 藕偶等に魚口切とある“魚”を‘中原音韻’に據りて移居切 *yü* と解さば此寫音は *you* 又は *yiü* ならざる可らずして他の諸材料と相符せず、必らず“魚”の所謂正音‘唐韻’に語居切、‘集韻’、‘韻會’、‘洪武正韻’に牛居切御平聲及び‘四聲通解’の諺譯舟 (*yü*) (*ngu*) に遵つて *ou* の音を得ざる可らず。



[蕭164]與僕等に烏告切とある“烏”を‘中原音韻’に據りて蛙孤切 *wu* と解さば、此寫音は當然 *wao* ならざる可らずして、他の諸材料と相符せず、必らず“烏”の所謂正音‘廣韻’に哀都切、‘集韻’、‘洪武正韻’に汪胡切、諺譯平(*eu*)に遵ひて *ao* の音を得ざる可らず。の類全書を通じて其類尠からずとす。就ち余は今聲母の解釋に當り、斯かる見地より先づ當時の標準韻書たる‘唐韻’、‘廣韻’、‘集韻’、‘韻會’の類(原註者ありと見做して)、‘洪武正韻’(王增註發正の爲)を其の依據とし、傍ら其他の材料を參稽して以て首音の音切字音を次の如く決定したり。其特に‘三音聲彙’の諺譯を附録對照したるは、其書の傳ふる‘四聲通解’音が當時の通行音を直接に寫したりといふに基き、而して一々各字の反切を檢討したるに、之れが大部分は皆な所謂正音(紙上音)といふに一致し、異なるもの極めて一小部分なりたるが故なり。

第一 *ch* を音首とするもの (諺譯の下に括弧せるは三十六字母の目なり)

之	지(照)	知	지(照)
張	장(照)	征	정(照)
爭	정(照)	眞	진(照)
莊	장(照)	止	지(照)
竹	죽(照)	遮	저(照)
錐	취(照)	朱	추(照)

第二 *ch'* を音首とするもの

昌	창(穿)	池	치(牀)
初	추(穿)	癡	치(牀)
抽	취(穿)	鋤	추(牀)
長	창(牀)	持	치(牀)
遲	치(牀)	瘡	창(穿)
牀	창(牀)	陳	진(牀)

蟲	충(牀)	楚	추(穿)
蚩	치(穿)	充	충(穿)
樞	추(穿)	齒	치(穿)
又	차(穿)	稱	칭(穿)
直	저(牀)	狀	장(牀)
重	중(牀)	樞	추(穿)

第三 *f* を音首とするもの

夫	부(非)	扶	부(奉)
房	방(奉)	方	방(非)
敷	부(非)	防	방(奉)
浮	부(奉)	符	부(奉)

第四 *h* を音首とするもの

胡	후(匣)	呼	후(曉)
何	허(匣)	呵	허(曉)
華	화(曉)	花	화(曉)
荒	황(曉)	黃	황(匣)
杭	항(匣)	亨	형(曉)
紅	홍(匣)	霞	하(匣)
河	허(匣)	烘	홍(曉)
戶	후(匣)	火	후(曉)
希	희(曉)	奚	혜(匣)
虛	허(曉)	興	형(曉)
攜	혜(匣)	香	향(曉)
弦	현(匣)	休	휴(曉)
稀	희(曉)		

第五 *j* を音首とするもの

如	유(日)	人	인(日)
---	------	---	------



仁	신(日)	禳	산(日)
而	시(日)	兒	시(日)
第六	kを音首とするもの		
瓜	파(見)	光	광(見)
歌	거(見)	哥	거(見)
岡	강(見)	孤	구(見)
姑	구(見)	沽	구(見)
公	궁(見)	居	규(見)
雞	계(見)	江	강(見)
飢	계(見)	更	경(見)
筭	계(見)	經	경(見)
姜	장(見)	巾	진(見)
擊	기(見)	俱	규(見)
踞	구(見)	柯	거(見)
第七	k'を音首とするもの		
康	강(溪)	匡	강(溪)
枯	구(溪)	軻	커(溪)
空	궁(溪)	可	커(溪)
誇	과(溪)	苦	구(溪)
口	구(溪)	其	계(溪)
丘	구(溪)	渠	규(群)
區	구(溪)	欺	계(溪)
強	강(群)	溪	계(溪)
狂	광(群)	求	규(群)
輕	경(溪)	擊	경(群)
孔	궁(溪)		
第八	lを音首とするもの		

郎	랑(來)	良	랑(來)
離	래(來)	蘆	루(來)
羅	러(來)	凌	링(來)
龍	룡(來)	狼	렁(來)
蘆	루(來)	梨	래(來)
靈	링(來)	驢	류(來)
閻	류(來)		
第九	mを音首とするもの		
忙	망(明)	麻	마(明)
眉	위(明)	模	무(明)
謨	무(明)	母	무(明)
蒙	몽(明)	暮	무(明)
迷	미(明)	明	밍(明)
第十	nを音首とするもの		
囊	낭(泥)	奴	누(泥)
那	너(泥)	農	농(泥)
泥	네(泥)	拏	나(泥)
乃	내(泥)	濃	농(泥)
孛	노(泥)	寧	녕(泥)
尼	네(泥)	女	누(泥)
第十一	pを音首とするもの		
邦	방(幫)	巴	바(幫)
逋	부(幫)	邊	변(幫)
兵	병(幫)	補	부(幫)
包	뵤(幫)	博	뵤(幫)
博	博字の譌(正字通)		
第十二	p'を音首とするもの		



滂	팡(滂)	旁	팡(滂) 又 旁(並)
蒲	부(並)	鋪	부(滂)
葩	파(滂)	毘	피(並)
偏	편(滂)	平	평(滂)
批	피(滂)	傍	방(並)
婢	비(並)		
第十三	* を音首とするもの		
思	스(心)	桑	상(心)
喪	상(心)	蘇	수(心)
酥	蘇に同じ	僧	승(心)
梭	서(心)	雖	위(心)
辭	쓰(邪)	詞	쓰(邪)
西	세(心)	徐	유(邪)
須	수(心)	祥	상(邪)
詳	상(邪)	斯	쓰(心)
漸	선(心)	相	상(心)
先	씨(心)	星	성(心)
第十四	sh を音首とするもの		
繩	성(禪)	商	상(審)
尸	시(審)	師	시(審)
雙	상(審)	傷	상(審)
升	성(審)	聲	성(審)
疎	수(審)	蛇	씨(禪)
申	신(審)	神	신(禪)
詩	시(審)	生	성(審)
書	수(審)	睽 (唐韻式車切、集韻、韻會詩車切、洪武正韻、詩述切音者あり、)	奢(審)
施	시(審)	殊	유(禪)

所	수(審)	時	씨(禪)
舒	수(審)	霜	상(審)
殺	사(審)	成	성(禪)
徇	상(禪)	城	성(禪)
第十五	t を音首とするもの		
多	더(端)	當	당(端)
低	데(端)	都	두(端)
丁	딩(端)	東	동(端)
第十六	p を音首とするもの		
湯	탕(透)	他	터(透)
徒	투(定)	唐	당(定)
拖	터(透)	堂	당(定)
陀	떠(定)	梯	테(透)又 띠(定)
田	면(定)	停	평(定)
天	면(透)	題	테(定)
提	테(定)	台	테(定)
第十七	ts を音首とするもの (韻母をこふるにせよ)		
茲	즈(精)	臧	장(精)
租	주(精)	滋	즈(精)
增	징(精)	資	즈(精)
賁	제(精)	精	징(精)
將	장(精)	疽	주(精)
蛆	유(精)	曾	징(精)
第十八	ts' を音首とするもの (韻母をこふるにせよ)		
倉	창(清)	藏	장(從)
慈	쓰(從)	粗	추(清)
徂	유(從)	聰	충(清)



向	충(清)	從	충(清)
蒼	창(清)	雌	츠(清)
此	츠(清)	才	채(從)
趁	추(清)	妻	제(清)
齊	제(從)	青	칭(清)又정(精)
清	칭(清)	前	현(從)
七	치(清)		

第十九 聲母が極めて軽く、主として韻の開ゆる諸音

(一)影母及喻母に屬するもの

阿	어(影)	移	이(喻)
衣	이(影)	於	유(影)
羊	양(喻)	于	유(喻)
余	유(喻)	餘	유(喻)
依	이(影)	因	인(影)
么	요(影)	姚	요(喻)
爲	위(喻)	俞	유(喻)
怡	이(喻)	伊	이(影)
應	영(影)	盈	영(喻)
烏	우(影)	蛙	와(影)
王	왕(喻)	汪	왕(影)

(二)疑母に屬するもの

吳	우(疑)	魚	유(疑)
昂	양(疑)	訛	위(疑)
鷺	어(疑)	熬	안(疑)
俄	어(疑)	五	우(疑)
銀	인(疑)	宜	이(喻)

(三)微母に屬するもの

譯語は喻母に屬すれ共、唐韻集韻は魚模切、韻會には疑龍切音儀あり

無	무(微)	亡	망(微)
忘	망(微)		

第四章 中原音韻と元曲選音釋

第十五節 元曲と中原音韻

‘中原音韻編纂の主たる目的が、當時盛行を極めたる北曲音の準的を示すに在りたることは、前既に述べしたるが如くなれば、其の所録各音が實際に使用せられたるの例を知らむとせば、先づ之れを元曲の各句に質さざる可らざるは云ふ迄もなき所にして、而して現存せる元曲の句を知るべきものは、明の萬曆中、吳興の臧晉叔が校訂纂輯したる‘元曲選’及び、近年我が京都大學にて公刊したる‘雜劇三十種’の類に之を求むべく殊に‘元曲選’は所録の百種曲に就て各折毎に音釋の註入あるが故に、採つて以て‘中原音韻’と對照するの便あり、試みに‘元曲選’と‘雜劇三十種’の用韻法を將て‘中原音韻’の分韻法と對照すれば、面目符合すること次に示すが如し。

元曲押韻一覽表

曲名	元曲選				雜劇三十種					
	楔子	一折	二折	三折	四折	楔子	一折	二折	三折	四折
漢宮秋	家麻	家麻	尤侯	江陽	庚青					
金錢記	—	家麻	先天	尤侯	蕭豪					
陳州糶米	尤侯	庚青	尤侯	先天	皆來					
鴛鴦被	真文	支思	家麻	庚青	齊微					
賺荆通	—	魚模	齊微	歌戈	江陽					
玉鏡臺	—	江陽	庚青	齊微	魚模					



殺狗勸夫 江陽·真文·齊微·庚青·支思  
 合汗衫 ——·真文·家麻·皆來·先天 ——·真文·家麻·皆來·先天  
 謝天香 先天·支思·江陽·齊微·尤侯  
 爭報恩 支思·蕭豪·皆來·歌戈·齊微  
 張天師 東鍾·東鍾·齊微·支思·皆來  
 救風塵 ——·齊微·尤侯·真文·魚模  
 東堂老 支思·蕭豪·庚青·魚模·真文  
 燕青博魚 魚模·家麻·真文·庚青·蕭豪  
 瀟湘雨 江陽·尤侯·支思·魚模·先天  
 曲江池 尤侯·先天·真文·庚青·歌戈  
 楚昭公 ——·寒山·尤侯·魚模·齊微 齊微·寒山·尤侯·魚模·齊微  
 來生債 魚模·真文·魚模·皆來·先天  
 薛仁貴 江陽·魚模·皆來·齊微·家麻 江陽·魚模·皆來·齊微·家麻  
 墻頭馬上 ——·齊微·皆來·車遮·魚模  
 梧桐雨 魚模·庚青·寒山·家麻·蕭豪  
 老生兒 蕭豪·皆來·蕭豪·江陽·真文 ——·皆來·蕭豪·江陽·真文  
 硃砂擔 魚模·庚青·尤侯·寒山·齊微  
 虎頭牌 ——·真文·先天·齊微·皆來  
 合同文字 尤侯·先天·真文·魚模·齊微  
 凍蘇秦 皆來·庚青·齊微·江陽·真文  
 兒女團圓 尤侯·齊微·皆來·車遮·支思  
 玉壺春 車遮·先天·江陽·皆來·齊微  
 鐵拐李 家麻·蕭豪·先天·齊微·皆來 家麻·蕭豪·先天·齊微·皆來  
 小尉遲 ——·東鍾·皆來·齊微·真文  
 風光好 ——·寒山·江陽·真文·支思  
 秋胡戲妻 ——·真文·齊微·魚模·江陽  
 神奴兒 皆來·齊微·庚青·魚模·真文

薦福碑 尤侯·魚模·蕭豪·皆來·齊微  
 謝金吾 尤侯·皆來·歌戈·齊微·魚模  
 岳陽樓 尤侯·江陽·寒山·齊微·魚模  
 蝴蝶夢 真文·支思·魚模·先天·皆來  
 伍員吹簫 家麻·江陽·魚模·齊微·蕭豪  
 勸頭巾 東鍾·真文·支思·齊微·先天  
 黑旋風 皆來·庚青·車遮·齊微·尤侯  
 倩女離魂 江陽·蕭豪·家麻·齊微·庚青  
 陳搏高臥 ——·庚青·真文·齊微·江陽 ——·庚青·真文·齊微·江陽  
 馬陵道 二·真文·東鍾·尤侯·齊微·車遮  
 救孝子 皆來·家麻·真文·魚模·江陽  
 黃梁夢 齊微·真文·皆來·蕭豪·歌戈  
 揚州夢 庚青·尤侯·東鍾·家麻·庚青  
 王粲登樓 尤侯·寒山·皆來·齊微·江陽  
 吳天塔 ——·東鍾·家麻·魚模·庚青  
 魯齋郎 家麻·先天·齊微·魚模·歌戈  
 漁樵記 齊微·魚模·皆來·真文·先天  
 青衫泪 魚模·皆來·先天·齊微·家麻  
 麗春堂 ——·東鍾·齊微·魚模·江陽  
 舉案齊眉 ——·魚模·真文·齊微·蕭豪  
 後庭花 ——·真文·魚模·家麻·齊微  
 范張鷄黍 魚模·真文·車遮·尤侯·江陽 魚模·真文·車遮·尤侯·江陽  
 兩世姻緣 ——·先天·庚青·家麻·皆來  
 趙禮讓肥 ——·家麻·蕭豪·皆來·魚模  
 酷寒亭 真文·家麻·齊微·歌戈·皆來  
 桃花女 蕭豪·尤侯·歌戈·齊微·東鍾  
 竹葉舟 真文·魚模·尤侯·尤侯·蕭豪·歌戈 ——·魚模·尤侯·尤侯·寒山·歌戈



忍字記 真文蕭豪家麻江陽歌戈  
 紅梨花 —— 家麻庚青真文先天  
 金安壽 —— <sup>東鍾</sup> [轉] 皆庚蕭豪魚模 <sup>皆東</sup> [轉] 承尾混韵  
 灰闌記 真文江陽蕭豪家麻齊微  
 冤家債主 蕭豪皆來尤侯魚模真文  
 傷梅香 魚模庚青蕭豪江陽皆來  
 單鞭奪槊 齊微皆來尤侯東鍾先天  
 城南柳 尤侯魚模東鍾先天江陽  
 諱范叔 支思蕭豪江陽真文齊微  
 梧桐葉 寒山真文魚模蕭豪東鍾  
 東坡夢 —— 真文齊微東鍾江陽  
 金線池 魚模真文尤侯庚青先天  
 留鞋記 尤侯齊微皆來家麻先天  
 氣英布 —— 歌戈庚青尤侯 <sup>魚模</sup> [轉] 江陽 —— 歌戈庚青尤侯魚模  
 隔江關智 家麻支思齊微蕭豪皆來  
 劉行首 —— 真文蕭豪車遮齊微  
 度柳翠 東鍾真文尤侯齊微江陽  
 悞入桃源 庚青家麻東鍾齊微蕭豪  
 魔合羅 皆來魚模蕭豪江陽齊微 皆來魚模蕭豪江陽齊微  
 盆兒鬼 皆來家麻歌戈齊微家麻  
 對玉梳 尤侯真文歌戈魚模先天  
 百花亭 先天車遮尤侯齊微支思  
 竹塢聽琴 魚模先天家麻庚青蕭豪  
 抱粧盒 二 <sup>庚青</sup> 先天皆來支思魚模  
 趙氏孤兒 尤侯真文東鍾蕭豪魚模 <sup>五折</sup> 尤侯真文東鍾蕭豪魚模  
 寶娥冤 真文尤侯齊微先天皆來  
 李逵負荆 —— 尤侯齊微蕭豪皆來

蕭淑蘭 —— 廉纖監咸侵尋桓歡  
 連環計 —— 尤侯先天江陽齊微  
 羅李郎 二 <sup>魚模</sup> 尤侯蕭豪支思真文  
 看錢奴 齊微家麻皆來江陽支思 —— 家麻皆來江陽支思  
 還半末 真文齊微蕭豪江陽皆來  
 柳毅傳書 齊微魚模東鍾真文江陽  
 貨郎旦 —— 歌戈尤侯先天支思 <sup>一皆二家三皆四支五寒</sup> [轉] 六魚七家八魚九齊  
 望江亭 —— 寒山齊微 <sup>車遮</sup> 先天  
 任風子 —— 先天魚模齊微蕭豪 —— 先天魚模齊微蕭豪  
 碧桃花 尤侯真文齊微先天皆來  
 張生煮海 —— 東鍾皆來江陽魚模  
 生金閣 江陽魚模江陽蕭豪齊微  
 馮玉蘭 —— 真文魚模蕭豪庚青  
 李太白 —— 江陽魚模齊微 <sup>先天</sup> [轉] 車遮  
 七里灘 —— 江陽魚模庚青皆來  
 尉遲恭 —— 江陽蕭豪真文先天  
 紫雲庭 真文庚青齊微歌戈 <sup>江陽</sup> [轉] 真文  
 赴西蜀夢 —— 齊微江陽歌戈尤侯  
 調風月 —— 真文齊微庚青魚模  
 周公攝政 先天庚青蕭豪齊微皆來  
 遇皇上 —— 江陽魚模齊微監咸  
 諸葛亮 —— 齊微魚模江陽東鍾  
 東窓事犯 支思江陽齊微尤侯 <sup>真文</sup> [轉] 皆來  
 追韓信 —— 蕭豪寒山真文庚青  
 張千替 齊微先天真文蕭豪齊微  
 焚兒救母 魚模江陽歌戈皆來真文  
 霍光鬼諫 —— 江陽先天尤侯寒山



單刀會  
晉文公  
拜月亭

——蕭豪尤侯江陽車造  
[轉]齊微  
——皆來尤侯家麻真文  
家麻齊微江陽車造先天

但し、元曲選中の元曲は臧晉叔の所謂校訂程度が餘りに甚太しくして、元時の的本を倣印したる『雜劇三十種』本中の同曲と對照すれば、字句の間相異あること幾んど別種の如くに感ぜらるゝも、然かも曲意と其基本たる用韻法に至りては兩者等しく『中原音韻』の分韻と相符すること右表の如く。又だ『元曲選』には元人の作曲以外明初の作曲若干を混じあるも、其の作者の目的が元時の北曲を標的としたる以上、字句の使用はこれを元曲と見倣すも多くの錯りあらざるべし。別に明初の編纂に係る『太和正音譜』ありて北曲一部の模型を示せるあるも、此れには各字の平仄を註せるのみにて、其の音切を示さざるが故に、今、中原音韻に參考するには先づ『元曲選』の音釋に頼るの他あらずとす。

### 第十六節 元曲選音釋と中原音韻の異同

『元曲選』には所録百種曲の各折毎に(折とは北曲の場なり、斷なし、  
趙氏孤兒の一曲の)  
題は五折とせり)該折中に使用されたる要字の音を釋したるもの總計七千八百六十字あり、今これを『中原音韻』諸本と對攷するに、的本・王本・葉本を通じて共に音釋と一致するもの一千百四十三字、寫音の方法は一致せざれ共、實質に於て同一音と見倣し得るもの二百二十九字、異なるもの百十字、入聲字及び特に入聲音切を註せるもの合せて八十四字、的本に無くして王本・葉本のみが共に音釋と一致するもの三百五十二字、寫音法異りたる同音七十二字、異なるもの四十字、入聲字を註せるもの五十四字、又だ的本と葉本とに有りて王本に無き各字の音

釋と一致するもの六十四字、寫音法異りて同音なるもの十六字、異なるもの十字、入聲字を註せるもの二字、的本と王本とに無くして葉本のみが音釋と一致するもの三字、寫音法異りたる同音字一字、王本のみがありての本と葉本とに無き各字の音釋と一致するもの二字、的本のみが音釋と一致するもの十字、寫音法異りて同音なるもの一字、入聲字を註せるもの一字、的本と王本とのみか音釋と一致するもの一字を算す。

更に之れを各本別に觀れば

異 同	葉本	王本	的本
⊖ 全然一致するもの	1,562	1,497	1,217
⊖ 寫音法異なる同音	318	301	246
⊖ 一致せざるもの	160	150	120
⊖ 入聲字を註せるもの	140	138	87

となるが故に、數の上より『元曲選』音釋と諸本との關係を揣れば、葉本との一致點最も多く、王本之に次ぎ、的本との關係最も淺きが如くに推せらる。勿論是れ其の異同が各本收録字の多少に伴ひ、又だ的本に音切の記註なくして王・葉本に音註ある等の原因にも伴ふべけむも、別方面より觀察すれば、『元曲選』の編者臧晉叔(懋循)は萬曆の進士にして南國子監博士に官仕せし人、趣味を中心として此の百種曲を校訂したるが如ければ、其の元曲に關する造詣の淺からざりしより見て、元曲と密接の關係を有てる『中原音韻』諸本の類は必らずや一々寓目を経たらむことも亦た想像し得られざるに非ず。請ふ其の一斑を窺はむか。

### 第十七節 元曲選音釋全部の内容

臧晉叔の記註せる『元曲選』音釋の全部七千八百六十中には、



同字を幾個所にも再註三註したるもの多ければ、同種之を併する時は其の大部分が孰れも‘中原音韻’諸本と一致することは前節數量の比較に於て之を知るべく、亦た其の音切相符せざるものゝ大多數が概して調子の關係より來れるものに過ぎざることは本書‘補考’の諸例に照して之を推定せらる。而して特に音釋の結果が直ちに‘中原音韻’音切の誤を訂し、若くは其の妥當ならざるを改めたるもの尠なからざるは

[歌26]跋魁等は中原諸本に叶巴 *pa* とあるを、曲選には音波 *po* としたる

[歌27]縛佛等は中原諸本浮巴切 *fu* とあるを、曲選には浮臥切 *fuō* 又は浮波切 *fuō* としたる

[歌30]鐸度等は中原諸本東拏切 *ta* とあるを曲選には東挪切 *to* 又は東何切 *to* としたる

[車59]卸藉等に中原諸本が詞借切 *sich* 又は桑借切 *sich* を註しあるを曲選には音瀉、寫去聲、音謝 *sich* と妥當に寫したる

[車71]燕に中原諸本が如月切 *jueh* を註しあるを、曲選には又如夜切 *jueh* あるの例を示したる

諸例の如き、又別に句調上の或個所には特に入聲音あることを嚴密に註明したるが如きは、最も切實に元曲の面目を傳へたるものといふべく、其の平聲に陰陽の別あるを明示せざること王文璧と一致するは、彼が明廷に官仕せる關係上、太祖の規度音たる‘洪武正韻’に違ひたりとも解せられ、或は又平聲の陰陽は單へに聲の清濁に基けるが故に一見これが區別を明らめ得べしと見做したりとも解せらる。

更に曲選音釋の全部を通覽するに、其の寫音法中

[庚82]倩は中原諸本に倉線切とあるに、曲選には千去聲、阡去聲、淺去聲の三種を註し

[尤157]漚は中原諸本阿勾切とあるに、曲選には音歐、音鷗、謳去聲、歐去聲の四種を註し

[先79]碾は中原諸本に尼塞切とあるに、曲選には、尼塞切、尼展切、女剪切、奴典切、年上聲の五種を註したる

の類甚だ多きは、是れ校訂者晋叔が、其の記憶に任せ、手に随つて記註したるが如けれ共、概して

[先42]塤(王本、知專切、葉本、口專切)は曲選に口專切(城南柳第三折)あり

[蕭54]濁溜等(王本、雖稍切、葉本、雖稍切)は曲選に雖稍切(灰關記第二折及忍字記第一折)あり

[江106]醜(葉本、尼降切)は曲選に仰去聲(老生兒楔子)あり、的本と王本とには此仰字を收めあらず

の類は葉本とのみ盲目的に一致するものにして、

[蕭139]肇(王本、長紹切)は、曲選に音兆(撰入桃源第一折外三例)あり此の“肇”は葉本には補刻の際誤つて昂告切中に列し(葉本下卷第十五丁)又た“兆”字を脱刻したれば、こは的本と王本とに頼らざれば“肇”字の同列に“兆”字あることを知る可らず(他の例、にょり)、又

[支5]撕(的本、是列切)に曲選は音斯(蕭淑蘭第一折)の例あり

然かも王・葉兩本には此“撕”字が“斯”字の同列にあることを知る能はざるが故に、此等の諸例より攷ふれば、晋叔が曲選音釋を註するに際しては、王・葉二本の‘中原音韻’を除くの外、更に的本又は的本に近き他の類似本をも參考し、且つ難ふるに自己の研究を以てせることは、中原諸本に收めざる他の曲選使用字に音釋したる寫音法が孰れも妥當なりと類推せらるゝに於て、幾んど之れを疑ふの餘地なきが如し。

但だ、研究者の心すべきは、‘元曲選’も亦た誤寫誤刻又は誤脱の例尠なからざること、例せば

黃梁夢第三折に狷(與韻)とあるは狽の誤りなり



黒旋風第三折に七(倉洗切)とあるは倉洗切の誤りなり  
鴛鴦被第二折に楞(盧登切)とあるは盧登切の誤りなり  
陳搏高臥第二折に駸(音侵)とあるは音侵又は音浸の誤りなり  
范張鷄黍第三折に盲(音亮)とあるは盲の誤りなり  
殺狗勸夫第一折に揪(音臍)とあるは、其の本文に“嗷你兄弟貧  
居闌市無人問”とあるに徴し嗷の誤りなり  
對玉梳第四折の音釋中、贍の次に轉あり、而して其本文は顛  
倒せり  
東坡夢第一折の音釋中、燕と偁とは本文の位置と反對す  
酷寒亭第三折に娑(音梭)とあるは、其本文に“你莫不是眼摩澤  
云々”とあるに徴して拏の誤りなり  
魔合羅第四折に訖(音登)とあるも、其本文には訖字なし  
隔江鬪智楔子に疾(方切)とあるも、其本文には疾字なし  
謝金吾第二折に鼎(音奈)とあるも、其本文推定個所に鼎字なし  
救孝子第二折に嚇(音黑)とあるも、其本文推定個所に嚇字なし  
の如き、乃至字書の誤りの類は枚舉に遑あらざるが故に、査察  
綿密ならざれば、時に意料外の錯誤を將來することあるを免  
れずとす。

— 解説終 —

## 攷定中原音韻本文



東 鍾

平 聲 陰

(1) 東 多龍切 tung

冬

凍 ×

(2) 鍾 之戎切 chung

鐘

中

忠

衷

終

[考]葉本東 = 作ルハ誤

鍾 × [一]音中(抱二)

衆 [二]平聲(桃二、來一、度模、鐵模)

(3) 通 他隆切 tung

道

恫 ×

侗

(4) 松 西宗切 siung

嵩

[一]音松(酷模)

淞 ×

(5) 冲 初戎切 chung [考]葉本ハ冲 = 作ル

充

衝

冲

椿

幢

種

狝

种

[考]王本ニナシ、葉本ハ舟名ト註ス

[考]王本ハ舟名ト註シ、葉本ハ茅也ト註ス、王本ノ註ハ誤

[一]音冲(百四、仄一)

春 [考]王本ニナシ

幢 ×

怵

(6) 邕 衣容切 yung

噤

雍

雍 ×

雍 [考]葉本應 = 作ルハ誤

離

離

離

離

離

離

離

(7) 空 王本・枯紅切 k'ung 葉本・苦紅切

[考]枯ハ唐韻苦胡切、集韻・韵會・洪武正韵空胡切、苦ハ唐韻康土切、集韻・韵會孔五切其音相同シ

控



穹 ×  
莖  
岐  
筮  
芎

(8) 宗 茲馨切 tsung  
樓  
驥  
髮 ×  
綫  
蹤

(9) 風 夫崩切 fung  
楓  
豐  
封  
峯  
鋒  
烽  
丰  
蜂  
縫 ×  
鄂 ×  
蠡

(10) 鬆 思宗切 sung [一]思宗切(城二)  
惚  
愒 [一]音鬆(張天一)  
菘 ×  
駮 [一]音鬆(魯模、黑二)、[三]音松(生一)、[考]松ハ西宗

切、一補(1)ヲ見ヨ

(11) 匆 粗叢切 ts'ung [考]王本ニナシ  
葱  
聰  
驄  
函 烟突  
息  
縱 × [一]音匆(張生一)  
從  
從 [一]音匆(張生一、東坡三、單三、趙氏二、桃四、虎三)

(12) 蹤 資松切 tsung  
縱  
樅  
從 ×  
穹 區容切 kiung [一]區容切(金安一、漢模、東坡四)、[考]王本ニナシ  
芎  
傾 [考]王本ニナシ  
[三]區容切(柳二)、[考]王本ニナシ、通ハ誤リナラン一補(150)ヲ見ヨ

(14) 工 孤翁切 kung  
功  
攻  
公  
蚣  
弓  
躬  
恭  
[考]業本ハ第一字ニ位置ス

宮  
龔  
供  
肱  
觥  
筮 ×  
紅  
(15) 烘 呼工切 hung  
叻 人聲 [二]火紅切(張天一)、[考]火ハ呼ト音首同シク紅ハ工ト其韻同シ、王本ニナシ  
轟  
蕘  
洵 ×  
僂  
(16) 凶 希容切 hiung  
兇  
胃  
洵  
兇  
誦 ×

平 聲 陽

(21) 同 徒龍切 tung  
筒  
銅  
桐

(17) 翁 烏公切 wung  
翰 [考]業本・王本共ニ翰アリ此字ナク、『吳人雜物曰一』ト註ス、蓋シの本ノ誤刻ナラン  
癰  
塵 碎 [考]王本ニナシ  
壅  
泓  
(18) 崩 蓬蒙切 p'ung  
繡  
浜 ×  
拼  
餅  
餅  
(19) 烹 鋪蒙切 p'ung  
鬪 [一]鋪蒙切(張生三)、[考]業本此字ノ頭ニ音界符○ヲ入レタルハ誤リ也  
[20] 踏 初戎切 ch'ung  
恣  
駮

平 聲 陽

峒  
童  
僮  
撞 ×



瞳  
瞳  
潼  
蕤

瞳  
瞳 [-]音同(黑一)  
甍  
形 [-]音同(來三、抱模、合汗一、漁二)  
甍 [-]音同(小一、揚四、悞二、金安一)

(22) 戎 而中切 jung

戎  
戎  
駮  
絨  
蒞  
茸

[-]音戎(金安一、金錢一、柳二、竹端二、東坡二、麗一)

戎 ×  
蒞

(23) 龍 龍東切 liung

龍  
隆  
癘  
窿

蒞 ×

(24) 窮 其容切 k'iang

窮  
窮  
蛩

[-]音窮(謝天一、張生一、王三、對二、醜模、梧業二、金安三、紅一、梧南四、風二、潘三)

叩  
筇

[-]音窮(楚一、張生一、黨一)  
[-]音窮(竹業四、悞二)  
瓊 × [-]音窮(悞二、張生一)

(25) 籠 龍東切 lung

籠  
隴  
隴  
楠  
瓏  
瓏  
碧  
聾  
嚨

[-]音本・王本共ニナシ

隴 [-]音本・王本ニナシ

隴 ×

楠

瓏

瓏

(26) 聾 奴東切 nung [-]音本・王本共ニナシ

農  
農  
農

聾

聾 × [-]音農(陳搏一、張天一)

聾

(27) 濃 尼容切 niung

濃  
穠  
醲

[-]音濃(金安一、悞二)、  
[-]音容切(楊二)、[-]音尼  
ハ廣韵・集韵・韵會女夷切、  
泥ハ廣韵叙低切ナレドモ、

集韵・韵會・洪武正韵ハ年  
韻切音相同シ

頤 ×

唱 [-]音濃(金安一)

(28) 重 池戎切 ch'ung

[-]平聲(韻氏一、抱二、黑三、留一、范一、鼠一、悞二、隔二、百四、益二、寶一、度三、碧一、燕一、曲三、竹業三、東坡一、單四、張生四、連一、柳模、貨四、看四、碎一、趙禮四、寬二、忍三、舉一、桃一、生二、殺四、爭模)、[-]音業本ハ第二字ニ位置ス

蟲  
備  
繡  
崇

[-]音業本ハ第一字ニ位置ス

[-]音蟲(桃一、梧兩三、龍一、留一、隔一、對一、碧一、備二、岳二、揚模、舉一)

[-]音王本・業本共ニナシ

繡

(29) 馮 扶崩切 fung

逢  
縫

[-]音蓬(單三)、[-]音蓬ハ  
通象切、蓬ノ列ニ此字ナシ  
一補(2)ナ見ヨ

(30) 叢 王本・慈鬆切 ts'ung  
業本・慈松切

[-]音從(悞二、氣一、揚一、竹端一、梧業四、凍一、城二)  
[-]音叢ト松トハ舊韵同異リ  
叢ハ冬韵ニ屬シ、松ハ鍾韵  
ニ屬スルカ故ニ王本ヲ採ル

叢  
琮

[-]音叢(王二)

簾 ×

諫

從

(31) 熊 猶容切 hiung

雄

(32) 容 移濃切 yung

溶  
蓉  
瑤  
鎔  
庸  
備  
廊  
鏞  
壙  
融  
榮

[-]音容(桃模)、音庸(舉三)

[-]音容(麗一)

榕 ×

榕

(33) 蒙 麻崩切 mung

濛  
濛  
蒙  
蒙  
蒙  
盲  
膏  
萌

[-]音蒙(悞二)、音萌(謝金二、見二)

[-]音王本ニナシ

惜

幪 × [-]音蒙(桃三)

氓



瘋  
 癡 (一)音蒙(黑一)  
 嘍  
 夢  
 (34) 紅 胡工切 *lung*  
 虹  
 哄 [考]葉本・王本共ニナシ  
 鴻  
 宏  
 絃 [考]葉本ハ絃ニ作ル、意義相同シ  
 橫  
 嶸 (一)音橫(陳搏四、楊四、謝天四)  
 弘 [考]王本ハ弘ニ作ル、同シク大弘ノ意ニ通用ス

上

(37) 董 多龍切 *tung*  
 懂 (一)音董(趙氏四、張天一、諱一、楊二)、[考]葉本懂ニ作ルハ非也、一補(3)ヲ見ヨ  
 (38) 腫 之冗切 *chwng* [考]葉本ハ第三字  
 踵  
 種 [二]上聲(留模、候二、趙氏一、碧三、柳二、爭二、秋三、桃四、忍三)、[考]葉本ハ第一字ニ位置ス  
 冢  
 塚 ×  
 (39) 孔 枯拱切 *k'ung*  
 恐

洪  
 涿 ×  
 (35) 蓬 蒲蒙切 *p'uung* [考]葉本ハ第二字ニ位置ス  
 芄  
 擊 (一)音蓬(趙氏二)  
 彭  
 棚  
 鵬  
 諱 ×  
 葦  
 朋  
 膨  
 (36) 從 齊松切 *ts'ung*

聲

倥 ×  
 倥  
 (40) 桶 叶通上聲 *t'ung*  
 統  
 捅 ×  
 (41) 汞 烏拱切 *wung* (一)烏拱切(陳搏二、張生三)  
 噴 [考]王本ニナシ、但王本ニハ胡孔切ニアリ、葉本ニハ又胡孔切ト註シテ實ハ同切ニ無キヲ見レバ葉本ノ誤脱ナルコトヲ知ルニ足ル  
 翁 ×  
 滄  
 (42) 隴 盧董切 *lung*

壠  
 籠 ×(二)上聲(隔模、盆一)  
 撻 (一)音籠(馬三)、(三)籠上聲(竹鳩模)、[考]籠ハ陽平韻東切、一補(4)ヲ見ヨ  
 攏 [考]王本攏ニ作ルハ誤リ也(共ニ乘馬ト註ス)  
 壘 [考]王本ニナシ

(43) 洶 叶凶上聲 *hiung*  
 詢  
 (44) 聳 思總切 *sung*  
 竦  
 悚 ×  
 攫 [考]王本聳ニ作ルハ誤リ也(共ニ擬也ト註ス)

(45) 拱 居孔切 *kung*  
 鞏  
 珙 (二)公上聲(敦孝二)、[考]公ハ陰平孤翁切 *kung*  
 礦 ×

(46) 勇 因凍切 *yung*  
 擁  
 涌  
 踊  
 桶  
 永  
 俑  
 [考]王本ニナシ

湧  
 蛹 ×  
 輿  
 俑

(47) 蠓 叶蒙上聲 *mung*  
 惜 (一)蒙上聲(趙氏四、楊二、諱一)、(二)參上聲(馬一、城一)、[考]葉本ハ惜ニ作ル、意同シ、蒙ト夢トハ同音  
 猛  
 艇  
 蚌  
 儻 ×(三)音蒙(吳四、神二)、[考]蒙ハ陽平麻刷切、一補(5)ヲ見ヨ

(48) 總 茲聲切 *tsung*  
 鬚 ×  
 (49) 捧 夫孔切 *fung*  
 豐 ×  
 (50) 寵 王本・初冗切 *ch'ung*  
 葉本・初戎切  
 [考]冗ト戎トハ韻相通スレドモ、上聲ナルガ故ニ王本ノ音切ヲ採ル

(51) 冗 而鍾切 *jung*  
 茸 ×  
 薨  
 絳  
 (52) 膿 *nung* [考]王本・葉本共ニナシ、廣韻・集韻共ニ奴冬切音農トアリ

(53) 擘 邊孔切 *pung*  
 琇 ×  
 裨  
 [54] 瘰 乃董切 *nung* [考]王本ニナシ  
 [55] 炯 ×胡勇切 *hiung*  
 問  
 迴 [考]王本迴ニ作ルハ俗字  
 [56] 噴 胡孔切 *lung* [考]葉本ニナシ、烏孔切(41)ヲ參照セヨ



去

(57) 洞 徒弄切 t'ung

動

(58) 棟 多弄切 tung

凍

竦

(59) 鳳 夫貢切 fung

奉

諷

縫

〔二〕去聲(趙氏三、韻三、桃

封 ×

俸

贈

(60) 貢 孤貢切 kung

共

〔三〕音公(韻一)、〔考〕公ハ陰平孤翁切ナレドモ葉本ノ共字ニハ下ニ又平聲ト註セルヲ見レバ平聲部ノ誤脱ナレベシ

供

犴 ×

(61) 宋 思綜切 sung

送

(62) 弄 盧凍切 lung

哢

碧

躡 ×

(63) 控 枯貢切 k'ung 〔三〕空上聲(吳一) 〔考〕王本ニナシ、

聲

又上聲ニ此字ナシ 一補(6)ヲ見ヨ

空

〔二〕去聲(灰一、爭一、柳二、青一、推一、玉鏡三)、〔考〕葉本ハ第三字ニ位置ス

靚

〔二〕空去聲(小一、揚二、麗一、張天一)、〔考〕葉本ハ第二字ニ位置ス

倥 ×

(64) 訟 詞綜切 sung

誦

頌

(65) 甕 烏貢切 wung 〔二〕翁去聲(燕三)、〔考〕翁ハ陰平烏公切 wung

鷗

鞞

〔考〕王本ニナシ

瓮

(66) 痛 徒弄切 t'ung 〔考〕王本ニナシ

慟

〔考〕王本ニナシ

(67) 衆 叶中去聲 clung

中

〔二〕去聲(商一、留一、隔二、氣二、字三、金線一、連二、生一、爭二、竹葉二、桃四、舉一、灰一)

仲

重

種

(68) 縱 資送切 tsiung

從

〔二〕去聲(趙氏二、連二、張生一、模模、生一、范二、隔模、拖模、柳二、梧葉三、殺四、麗一、譯模、舉四、金安一、灰二)

粽

〔考〕王本ニナシ

(69) 夢 叶蒙去聲 mung 〔考〕葉本ハ叶蒙トアリ、去聲ノ二字ヲ脱ス

孟

(70) 用 衣誦切 yung

詠

瑩

〔一〕音用(候二)

泳

咏 ×〔一〕音用(候二)

永

啓

(71) 哄 呼貢切 hung 〔二〕烘去聲(桃四) 〔考〕葉本ハ第二字烘ハ陰平呼工切 hung

鬨

〔二〕烘去聲(吳一、桃三) 〔考〕葉本ハ第三字、烘ハ陰平呼工切 hung

橫

〔二〕去聲(桃模)、〔考〕葉本ハ第一字

烘 ×

江

陽

平聲

陰

(1) 姜 居羊切 kiang 〔考〕葉本ハ第二字

江

〔考〕葉本ハ第一字

杠

〔考〕王本・葉本共ニナシ

缸

薑

疆

頌

(72) 綜 臧送切 tsung

總 ×

粽

(73) 迸 進夢切 pung 〔一〕進夢切(寬二、張生一、紅一、候二、韻三)

迸 ×

蚌

(74) 銃 叶充去聲 ch'ung

恚 ×

腫

[75] 腫 ×奴凍切 nung 〔一〕奴凍切(氣三)

鬚

[76] 嗅 ×虛用切 hiung

迴

復

詞



擲幫 〔一〕音邦(望一)  
幫  
幫 ×  
挈  
撈  
 (3) 桑思咸切 sang  
 喪  
 (4) 雙師莊切 shuang  
 艘  
 霜  
 孀  
〔一〕音霜(虎一)  
 驕  
 (5) 章知傷切 chang  
 漳  
 獐  
 樟  
 璋  
 彰  
 鑿  
 張  
鄣 ×  
璋  
障  
 (6) 商尸張切 shang  
 傷

殤  
 觴  
 湯  
 枳 〔考〕王本・葉本共ニナシ  
嗚 ×  
 (7) 漿屬相切 tsiang 〔考〕葉本ハ第二字  
 漿 〔一〕音漿(漢三)、〔考〕葉本ハ第三字  
 將 〔考〕葉本ハ第一字  
漿 ×  
 (8) 莊之霜切 chuang  
 粧 〔考〕王本ニナシ  
 裝 〔一〕音莊(老三、岳一、望一)  
 椿  
粧  
 (9) 岡歐抗切 kang  
 剛  
 鋼  
 缸  
〔三〕孤術切(韻一)、〔考〕術ハ去聲霞浪切ニシテ去聲ニハ此字ナシ、一補(7)ヲ見ヨ  
〔考〕王本・葉本共ニナシ  
 缸  
〔考〕王本・葉本共ニナシ  
瓠 ×  
 肛  
 杠  
〔考〕葉本ニナシ  
 (10) 康柯抗切 kang

糠  
糠  
糠 ×  
 (11) 光姑黃切 kuang  
 胱  
胱 ×  
 (12) 當多郎切 tang 〔三〕上聲(韻生三、柳三、留二、望三) 〔考〕上聲ニ此字ナシ、一補(8)ヲ見ヨ  
 璫  
 簪  
 襜  
 鎗  
腦 〔考〕王本ニナシ  
聾 ×  
聾  
東  
 (13) 荒花光切 huang  
 穉  
 育 〔一〕音荒(倩三、范三、儂三、玉鏡一)  
宜 ×  
 (14) 香希江切 liang  
 鄉  
蕪 ×  
 (15) 鏘鋪忙切 pang  
 滂 〔一〕鋪忙切(韻三)  
 霧 〔考〕王本ニナシ  
 滂

胖 ×  
諱  
磅  
 (16) 腔丘羊切 k'iang  
〔考〕王本ニナシ  
 銜  
 蜺  
 羌 〔一〕音腔(勸二)  
慶 ×  
 (17) 鴛衣江切 yang  
 央  
 殃  
 秧  
 決  
 (18) 方敷邦切 fang  
 芳  
 枋  
 妨  
 坊  
〔一〕音方(玉鏡一)  
枋 ×  
 (19) 昌痴傷切 ch'ang  
〔一〕音昌(黃梗)  
〔考〕王本ニナシ  
 猖  
 娼  
 菖  
 闖  
倡 ×



- 錫  
 (20) 湯 他耶切 *tang*  
 鏜  
 (21) 湘 西將切 *siang* [考]葉本ハ第二字  
 廂 [考]葉本ハ第三字  
 相 [考]葉本ハ第一字  
 箱  
 襄  
 瓊  
 驤  
 縷 ×  
 緇 [-]音湘(襄快)  
 (22) 槍 妻相切 *ts'iang* [考]葉本ハ第六字  
 鏘  
 踰 [-]妻相切(王四)  
 搶  
 踰 × [-]妻相切(麗四)、音踰(遼三)、[三]音踰(燕四)  
 [考]踰字ナシ、一補(9)ナ見  
 錢  
 (23) 匡 枯黃切 *k'uang*

平聲

- (28) 陽 移江切 *yang*  
 揚  
 楊  
 陽  
 易

- 筐  
 暉  
 光 ×  
 (24) 汪 烏光切 *wang*  
 厓 [-]音汪(薛二、望二)  
 (25) 倉 王本・祖藏切 *w. tsang* (詠譯前)  
 葉本・祖藏切 *s. ts'ang*  
 [考]廣韵ハ七開切、洪武正韵ハ千剛切葉本テ正シトス  
 蒼  
 滄 ×  
 鶻  
 (26) 臆 初莊切 *ch'uang* [考]王本ニナシ  
 瘡  
 窻  
 鹵 ×  
 攮  
 (27) 臧 茲桑切 *tsang*  
 臧  
 戕 ×

陽

- 颺  
 羊  
 佯  
 洋  
 佯

- 翔 ×  
 煬 [-]音陽(岳一、度二)  
 (29) 忙 麻邦切 *mang*  
 茫  
 邙 [-]音忙(竹葉三、岳二、竹塢二)、音茫(劉一)  
 芒  
 鏗 [考]葉本ハ鉦ニ作ル、俗字ナリ  
 宗 [考]葉本ハ第十二字  
 獬 [考]王本ニナシ、葉本ハ第九字  
 虺 [-]音忙(虎二、金安二、金錢一、玉鏡一、楊三、潘一)  
 [考]葉本第十字  
 屬 [-]音忙(東坡四)、[考]王本ニアリテ葉本ニナシ、屬ト通用スルモノ也  
 哢 [考]王本ニナシ  
 彪  
 彪 ×  
 龙 ×  
 (30) 糧 離張切 *liang* [考]王本ニナシ  
 良  
 涼  
 輦  
 梁  
 量  
 [二]平聲(生二、諄二、隔一、秋一)  
 糧 [考]王本ハ糧ノ位置ニアリ即チ第一字  
 涼  
 踉 × [-]音涼(燕四)

- (31) 穰 仁張切 *jang* [-]仁張切(電三)  
 穰 [考]王本ニナシ  
 瀼  
 瓢  
 攘 × [-]仁張切(伍四)  
 禳 [-]仁張切(桃棟)  
 (32) 忘 無邦切 *wang*  
 亡  
 望 ×  
 (33) 郎 盧當切 *lang*  
 榔  
 廊 [考]王本ニナシ  
 榔 [考]王本ニナシ  
 浪  
 琅  
 琅  
 琅 [-]音郎(庚三、教風一)  
 琅  
 (34) 杭 何岡切 *hang*  
 行  
 [一]音杭(諄一、陳搏四、碧一、度二、寃一、貨一、柳一、忍三、灰模、殺二、合汗二、金錢三、謝天二、曲一、漢二、玉鏡一、生一、虎二、伍一、統一、勸三、揚一、麗一、舉二、兩一、趙禮一、范一、留一、金線復、來二、煥二、百一、盆二、隔一、趙氏一、賈二、李四、蕭三、連二、綉二、魯三、栝菜一)  
 頡  
 航 [-]音杭(氣四)



(35) 昂 吳四切 *'ang*  
 叩 [考]王本ニナシ  
 聊 ×  
 (36) 床 勸霜切 *ch'uang* [考]葉本ハ牀ニ作ル  
 幢 [一]音床(金安四)  
 撞 ×  
 撞 [考]王本ニナシ  
 撞 [一]音床(殺二、老模、後一、李二、舉四、青三)  
 瘡  
 (37) 傍 蒲忙切 *p'ang*  
 旁  
 房  
 龐  
 逢  
 傍 ×  
 傍  
 勝 [一]音旁(揭四)  
 (38) 房 扶邦切 *fang*  
 防  
 魴 ×  
 (39) 長 池傷切 *ch'ang*  
 [三]音丈(范一、東堂三、兒模、魯三、滄一)、音丈(爭二)  
 [考]丈仗去聲知上切 *chang*  
 音異ル、一補(10)ヲ見ヨ  
 養 [一]音廣(寶三)  
 腸 [考]王本ニナシ  
 場 [考]王本ニナシ

常  
 裳  
 嗜  
 償 [考]王本ニナシ  
 腸  
 場  
 尙 ×  
 嘗  
 齕  
 (40) 唐 徒郎切 *t'ang*  
 糖  
 塘  
 糖  
 堂  
 棠  
 糖 [一]音唐(還三、疎三)  
 糖 ×  
 糖  
 螳  
 腔  
 (41) 詳 徐將切 *siang*  
 祥  
 翔  
 庠 ×  
 (42) 牆 齊將切 *ts'iang*  
 牆  
 牆  
 狀

墻  
 齶 ×  
 (43) 黃 胡光切 *huang*  
 璜 × [考]葉本ハ第十四字  
 簧 [一]音黃(晴三)  
 蝗 [考]王本ニナシ  
 皇  
 篁  
 凰  
 惶  
 蝗  
 遑  
 隍  
 潢 [一]音黃(謝金三)  
 績

上

(51) 講 居養切 *kiang*  
 港 [一]音講(黑一)  
 鏗 ×  
 脛  
 僂  
 (52) 養 怡講切 *yang*  
 痒 [考]王本ニナシ  
 鞅 [考]王本ニナシ

徨  
 惶  
 煌  
 (44) 葳 *(ts'ang)* [考]王本ニナシ、葉本ニハ葳ニ作り獨立セルモ音切ヲ脱セリ、蓋シの本ノ誤ナラン、唐韵ニ昨郎切、洪武正韵ニハ阻郎切トアリ(詠譯ハ葳)  
 (45) 强 渠良切 *k'iang*  
 彊 ×  
 (46) 娘 尼姜切 *'niang*  
 (47) 降 奚江切 *hiang*  
 [一]奚江切(道氏四、陳搏二、\*百三、桃一、譚二、氣一、薛一、隔一、玉鏡四、柳模、連一金輪一、張生二、單模)、[考] \*ハ奚江切トアリ誤ナラン、葉本ニハ音界符ヲ脱セリ  
 (48) 王 吳光切 *'wang*  
 (49) 狂 渠王切 *k'uang*  
 (50) 囊 奴當切 *nang*

聲

癢  
 仰 ×  
 (53) 蔣 茲想切 *tsiang*  
 獎  
 漿 [考]王本・葉本共ニナシ  
 漿  
 (54) 兩 良蔣切 *liang*  
 魍 [一]音兩(凍三、張天三)  
 [考]葉本題ハ誤刻ナルコト明カナリ



蝓 ×  
 (55) 想 思蔭切 *siang*  
 煮  
 (56) 蟒 蒙榜切 *mang* 〔一〕音莽(李四)、  
 〔二〕忙上聲(韻三)  
 〔考〕葉本ハ第二  
 字、忙ハ陽平麻邦  
 切 *mang*  
 莽 〔考〕葉本ハ第一字  
 滂  
 茫 ×  
 (57) 爽 叶霜上聲 *sluang* 〔一〕霜上聲  
 (韻三)  
 〔考〕王本ニナシ  
 澆  
 狹  
 (58) 響 希講切 *liang*  
 蟹  
 享  
 饗  
 秀 〔一〕音享(忍一、滿三、秋四、  
 金安三、王四、寬一)、〔考〕曲  
 選秀ニ作ルモノアルハ誤  
 嚮 ×  
 (59) 敝 痴實切 *ch'ang*  
 斃 〔一〕音敝(陳搏三、劉二、竹葉四)  
 〔考〕王本ニナシ  
 昶  
 齋 廠 ×  
 (60) 壤 人掌切 *jang*  
 穰 〔一〕人掌切(神二、玉壺一)  
 攘 ×  
 (61) 舫 方榜切 *fang*

倣  
 放  
 訪  
 訪 ×  
 勞  
 衍 ×  
 (62) 罔 無榜切 *wang* 〔考〕葉本扶榜切  
*fang* ハ誤ナラン  
 網  
 輞 姻 ×〔一〕音罔(凍三、張天三)  
 謂  
 惘  
 (63) 枉 吳廣切 *wang*  
 往  
 (64) 穎 思明切 *sang* 〔二〕桑上聲(玉鏡  
 一)、〔考〕桑ハ陰平  
 思咸切 *sang*  
 礪  
 噪 〔二〕桑上聲(曲三、生二、磔  
 一、忍一)、〔考〕桑ハ陰平思  
 咸切 *sang*  
 聾 ×  
 (65) 榜 遵養切 *pang*  
 擲 〔考〕王本ニナシ  
 綁 勞 ×  
 (66) 倘 他量切 *t'ang*  
 帑 儻 〔一〕他量切(隔一)、〔二〕湯  
 上聲(馮二)湯ハ陰平他耶切  
*t'ang* 又ハ去聲徒浪切 *t'ang*

膳  
 (67) 黨 多量切 *tang*  
 讜  
 (68) 掌 之賞切 *chang*  
 長 〔一〕音掌(虎一、爭模、留三、  
 狼一、皮一、百三、范一、隔一  
 米二、快一、抱一、趙氏快、殺  
 一、寬一、忍快、仄一、趙禮一  
 玉鏡一、生一、舉一、柳一、看  
 一、食二、燕一、秋二、備二、  
 金銀一、張生二、碧樹)  
 仇 ×  
 亢  
 (69) 朗 羅黨切 *lang*  
 浪 ×  
 (70) 謊 呼廣切 *huang*  
 恍 〔一〕呼廣切(趙禮二)、〔考〕  
 王本ニナシ  
 慌 晃 ×〔一〕音謊(救風二)、〔二〕  
 晃上聲(馮三)、〔考〕晃ハ陰  
 平化光切 *huang*  
 (71) 廣 孤性切 *kuang*  
 (72) 沆 沆阿黨切 *ang*  
 吭 ×  
 去  
 (81) 絳 雞漾切 *kiang*  
 降  
 洚  
 虹  
 糴 〔二〕姜去聲(磔三)、〔考〕姜  
 ハ陰平居羊切

(73) 髒 茲曉切 *tsang*  
 駟 ×  
 (74) 強 欺養切 *k'iang*  
 〔一〕欺養切(桃三、柳三、連  
 一、百三、隔一、慎模、諫二)  
 〔二〕欺廣切(韻三)、潘養切  
 (生一、趙氏一)、〔考〕養模ハ  
 同韵  
 (75) 搶 妻想切 *ts'iang* 〔三〕鎗去聲(敦孝  
 三)、〔考〕去聲ニ  
 搶字ナシ、一補  
 (11)ヲ見ヨ  
 (76) 賞 聲掌切 *shang*  
 响 〔一〕音賞(精模、玉鏡一、盆  
 三、竹鳩二、寬三、望四、凍三  
 合同三、仄一、竹葉四)  
 餉 ×  
 上  
 [77] 鞅 ×於港切 *yang*  
 快  
 [78] 囊 ×奴黨切 *nang*  
 漾  
 攘  
 [79] 盎 ×衣朗切 *yang*  
 映  
 [80] 穰 ×枯廣切 *k'uang*  
 聲  
 強 〔一〕音絳(風二、趙氏三、玉  
 鏡一、柳模、連二、仄一、秋四  
 桃二)  
 涼 ×  
 襁  
 (82) 象 西醫切 *siang*  
 像



相 [二]去聲(柳四、抱二、益一、貨四、墨一、張生三、東坡四、碧樹、度樹、寶四、桃一、陳博四、竹葉一)

(83) 亮 離丈切 *liang*

諒

量

納

輻 [一]音亮(老一、桃三)、[考]王本ニナシ

兩

踉 ×

眼

(84) 漾 衣祥切 *yang* [考]葉本ハ第二字

漾

業 [考]王本ニナシ、葉本ハ第三字

揚 [考]葉本ハ第五字

養 [二]去聲(連三)、[考]葉本ハ第六字

樣 [考]葉本ハ第七字

快 [考]葉本ハ第一字

快

缺 [考]王本ニナシ、葉本ハ第八字

漾

恙 [一]音樣(德四、伍四)、[考]葉本ハ第九字

颺 × [一]音樣(金錢一、曲一、秋一、城四)、[二]揚去聲(抱二)、羊去聲(東坡三)、[考]揚羊ハ陰平移江切 *yang*

(85) 狀 叶林去聲 *ch'uang*

壯 [考]王本ニナシ

撞

撞

撞 × [一]音狀(救風二)

(86) 上 升帳切 *shang*

尙

餉 [二]賞去聲(連三)、[考]賞ハ上聲聲學切 *shang*

餉 ×

(87) 讓 人帳切 *jang*

懷 [考]王本・葉本共ニナシ

饜 [考]王本ニナシ

饜 [考]王本ニナシ

(88) 帳 知上切 *chang*

脹 [考]葉本ハ第三字

漲 [一]音帳(柳三、楚三)、[考]葉本ハ第二字

丈 [考]王本ニナシ

仗 [考]王本ニナシ

障

瘴 ×

瘴 [考]王本ニナシ

瘴 [考]王本ニナシ

[89] 仗 池上切 *ch'ang*

杖

丈

(90) 巷 奚降切 *hiang*

向

項

項 ×

(91) 匠 齊相切 *ts'iang (siang)*

[考]王本・葉本ハ此一字ク獨立ス

將 (*tsiang*) [二]去聲(抱二、諄二、墨一、隔一、百三、趙氏一、連三、碧三、竹葉一)、[考]王本ハ齊相切、葉本ハ慶相切、聲ハ廢ノ俗字

醬 (*tsiang*) [考]音切ハ王本・葉本共ニ同シ

(92) 唱 王本・喻尙切 葉本・麻上切 *ch'ang*

[考]上ハ廣韻・集韻・韻會共ニ時亮切音尙、韻相同シ

倡

暢

悵

鬯 [一]音唱(連一)

鬯 ×

(93) 創 叶塞去聲 *ch'uang*

創

創

創 ×

創

(94) 望 無放切 *wang*

忘 [二]去聲(麗四、王四、漢三、伍二、范四、看一)

妄 [二]去聲(蒲四)

(95) 旺 吳誰切 *wang*

王 [二]去聲(氣一、隔二)

(96) 放 夫訪切 *fang*

訪

訪 ×

(97) 蕩 徒浪切 *t'ang*

宕 [考]王本ニナシ

宕 [考]王本ニナシ

當 [考]王本ニナシ

擋 [考]王本ニナシ

[98] 盪 × 他浪切 *t'ang*

[二]湯去聲(融三、老三、連一、岳一、麗四)、[考]湯ハ陰平他郎切 *t'ang* 又ハ去聲徒浪切 *t'ang*

鎗

宕

礪

(99) 浪 狼蕩切 *lang*

闕 [一]音浪(金錢二、竹塢一、岳一、抱二、任三、城三、金安一)

(100) 葬 茲喪切 *tsang*

藏 [二]去聲(柳一、度樹、來三)、[考]王本ニナシ

蕙 [考]王本ニナシ

(101) 謗 通曠切  *pang*

傍 [二]去聲(柳四、東坡四、生三、灰一)

蚌 [一]音謗(氣二)、[考]王本ニナシ

棒

(102) 炕 柯桁切 *k'ang*

亢 [考]葉本ハ第三字

抗 [考]葉本ハ第二字

抗 × [一]音抗(候四)

炕

(103) 曠 枯旺切 *k'uang*

曠

曠

(104) 晃 胡誑切 *huang*

幌 [一]胡誑切(謝天二、岳二)



況 ×  
(105) 况 呼景切 *luang*

况 ×

(106) 釀 泥降切 *n'ang*

〔一〕泥降切(玉壺二、竹葉三、金錢三、生三、岳一、凍三、玉四、酷三、竹塢一、兒一、玉鏡一)、〔二〕尼降切(百三、備一、范棟、揚一、兩一、麗一、增一)、仰去聲(老棟)、〔考〕泥尼ハ又相通用ス

仰〔考〕王本ニナシ

(107) 喪 思喪切 *sang*

(108) 胖 鋪誇切 *p'ang*

(109) 行 霞溪切 *hang* 〔一〕霞溪切(玉壺四、凍二、秋二、對四、倩三、風二)

桁 × *hang*

吭

沆

(110) 愴 妻喪切 *ts'iang*

(111) 誑 姑見切 *kuang* 〔二〕去聲(玉鏡一)、光去聲(風四、贖三、救孝四、凍四)

枕 ×

光

(112) 盎 烏浪切 *ang*

(113) 餞 妻相切 *ts'iang*

〔一〕妻相切(替三)、〔二〕妻向切(王三)、〔考〕相向ハ其韻相同シ

簞〔考〕葉本ニナシ

踣 ×

(114) 鋼 居郎切 *kang* 〔考〕王本ニナシ

(115) 盪 徒浪切 *t'ang* 〔考〕王本ニナシ

湯 〔考〕王本ニナシ

[116] 壯 × 叶莊去聲 *chuang*

〔考〕葉本叶莊トアルハ誤リナラン

[117] 當 × 都浪切 *tang*

〔二〕去聲(蕭四、貨四、范三、盆一、生一、梧葉四、灰棟、統棟、燕一、錫一、柳四、度棟、隔一、百二、來三、候三、李二、連三、碧棟、殺二)

[118] 藏 × 慈喪切 *ts'ang*

臧

[119] 旨 × 忙浪切 *mang*

泚

[120] 儻 奴浪切 *nang*

[121] 綱 × 孤桁切 *kang*

[122] 釐 × 胡曠切 *huang*

支 思

平 聲 陰

(1) 支 爭時切 *chih*  
枝

肢 〔考〕的本肢ニ作ルハ誤リナラン  
卮 〔一〕音支(看四)

梘 椿之芝脂脂

〔一〕音支(百四)

〔考〕王本ニナシ

氏 〔一〕音支(漢二)

祇 ×

鴆 〔一〕音支(柳一)

(2) 髭 曾思切 *tsü* (詠譯五)

〔一〕音茲(驚一)

貲 貨 苒 苒 孳 孳 孜 滋 資 咨 淄 諮 姿 籽

〔考〕王本ニナシ

棄 ×  
齋 齋 齋 緇 緇

楮 營 輻 鎡 越 齊 蓄

〔考〕王本建ニ作ルハ俗字

(3) 眇 抽支切 *chih* 〔一〕抽支切(李三、蕭二、羅三)、音噉(抱三)、音盞(見三、錫一、風四)

噉 〔考〕王本ニナシ

差

〔一〕抽支切(植禮四、風四、城四、勸二)、音盞(錫二)、音噉(蕭二、抱一)、音釐(陽一)

鳴 ×

蚩

嗤 〔一〕抽支切(獨一)、〔三〕音痴(劉二)、〔考〕痴ハ齊微韵陰平昌知切 *ch'i* 一補(12)ナ見ヨ

媼

(4) 施 生之切 *shih*

施 詩 師 獅 蝻 尸 屍 鳴 著

〔一〕音詩(羅三)、音尸(陳博一)

醜 ×

蒨

蒨



(5) 斯 僧茲切 *szü*  
 斯 〔一〕音斯(蕭一)、〔考〕王本・葉本共ニナシ  
 斯 〔一〕音斯(曲三、風四、張天三)  
 斯  
 鷲  
 思  
 司  
 私  
 絲

惇 〔考〕的本意ニ作ルハ誤ナラシ  
 惇  
 惇  
 惇  
 惇  
 惇  
 (6) 雌 增思切 *tzü*  
〔考〕雌ハ唐韵七移切、集韵・韵會七支切、諺譯ハ云(た)ナリ、暫フク疑ヲ存ス

平 聲 陽

(7) 兒 如之切 *jih*  
 而  
 洎 輔 ×  
 (8) 慈 齊茲切 *tzü*  
 慈  
 磁  
 茲  
 資  
 茨  
 疵  
 玼  
 苳

(9) 時 蛇之切 *shih*  
〔考〕王本・葉本共ニナシ  
 時  
 時  
 時  
 時 〔考〕王本ニナシ  
 時 ×  
 (10) 詞 王本・詳茲切 *szü* 葉本・詳茲切  
〔考〕詳詳共ニ唐韵似羊切、集韵・韵會・洪武正韵除羊切、音首同シ  
 詞  
 詞 〔考〕葉本ハ第四字  
 詞 〔考〕王本ニナシ、葉本ハ第三字  
 詞 ×

入 聲 作 平 聲

[11] 蟲 叶 詩 *shih*

上 聲

(12) 紙 之始切 *chih*

砥  
 底  
 旨  
 指  
 止  
 止  
 芷  
 趾  
 祉  
 址  
 址  
 徵  
 咫

〔考〕葉本ハ第十四字  
〔一〕音止(玉臺二、虎二)〔考〕葉本ハ第十二字  
〔一〕音止(慶二)、〔考〕葉本ハ第十三字

积 ×  
 軹  
 轡 〔一〕音旨(風四)

(13) 爾 而止音 *jih*

爾  
 邇  
 耳  
 餌

聲

珥  
 駢  
 (14) 此 倉子切 *tzü*  
 玼  
〔一〕音此(謝天一、張天三、對四、綱一、抱三)  
 訛  
〔一〕音此(玉鏡二)  
 訛  
 訛 ×  
 (15) 史 詩止切 *shih*  
 駛  
 使  
 弛  
 豕  
 矢  
 始  
 屎  
 菌 〔考〕王本ニナシ  
 (16) 子 茲死切 *tzü*  
 紫  
〔考〕王本・葉本共ニナシ、恐ラク姊ノ誤ナラン  
 姝  
 梓  
〔一〕音子(薛四、灰換、金線二、謝金三)



營 ×  
仔  
趾  
(17) 死 蘇子切 szü

(18) 齒 昌止切 ch'ih  
仔 [考]王本・葉本共ニナシ  
侈 ×

入聲作上聲

(19) 澁 生止切 shih [一]生止切(勸二)  
[四]音瑟(蕭四、羅二、聲二)  
瑟 [一]生止切(風四、東坡四、百四、瀟二)

(20) 塞 思子切 szü [一]思子切(王三)  
[考]王三ニハ又音賽ノ例アリ、一補(58)ヲ見  
[21] 則 叶子 tzi

去

(22) 是 詩至切 shih  
氏  
市  
柿  
侍  
士  
仕  
使 [二]去聲(度三、聲榭、風四、氣一、候三、隔一、百三、抱三、趙氏、碧三、柳一、貨四)  
示  
謚  
蒔  
侍  
事  
施 [二]去聲(張生一、度榭)

聲

嗜  
鼓  
試  
弒  
筮  
視  
噉  
音 × [二]施去聲(楚四)、[考]施ハ陰平生之切 shih  
養  
(23) 似 詞恣切 szü [一]音似(馬一)  
兕  
賜  
媿  
已  
汜

祀  
嗣  
飼  
筍  
耜  
涖  
俟  
寺  
食  
思 [考]王本ニナシ  
[一]音似(綱一)  
[二]去聲(秋二、范二、留榭、氣二、候二、百三、趙氏四、碧三、東坡二、留榭、看二、柳四、風四、狗榭、桃二、黑一、竹葉一、灰榭、聲榭)

四  
肆  
泗  
駟  
禩 ×  
伺 [一]音寺(謝天一)、音似(風四)

(24) 次 倉四切 tz'ü  
刺  
刺  
薊 [考]王本ニナシ  
戢  
厠 [一]音次(老二)

(25) 字 亡四切 (ts'ü) [考]葉本ハ慈四切第二字、以下九字ハ王本・葉本共慈四切、資四切ノ二種ニ分レ詠譯モ亦然ノ二種ニ分ル、モ資四切ヲ可トスベキガ如シ  
漬 [一]音恣(玉鏡二、陶二、勸二、梧雨四)、[考]葉本ハ資四切第二字

梓 (ts'ü) [考]葉本ハ慈四切第三字  
自 (ts'ü) [考]葉本ハ慈四切第一字  
恣 [考]葉本ハ資四切第一字  
骹 [考]葉本ハ資四切第四字  
胷 [考]葉本ハ資四切第三字  
皆 × [考]葉本ハ資四切  
滓 [考]葉本ハ資四切  
(26) 志 之是切 chih [考]葉本ハ第二字  
至 [考]葉本ハ第一字  
誌

瘧 ×  
躡  
(27) 二 而至切 jih  
貳  
餌

珥 ×  
(28) 翅 王本・蚩侍切 w. ch'ih  
葉本・止侍切 s. chih  
[二]蚩去聲(黨一、綱一)  
[考]蚩ハ陰平抽支切 ch'ih  
王本ノ音切ヲ正シトスベキガ如シ(詠譯A)  
轅 ×

(29) 厠 (ts'ü) [考]王本・葉本共ニ獨立ノ項ナク、廣韻ハ初聲切、洪武正韻ハ初寺切聲去聲、王本・葉本ハ倉四切 ts'ü ニアリ、詠譯ハ空ナリ、暫ラク之レニ從フ



齊 微

平 聲 陰

(1) 機 王本・經修切 ki  
葉本・經修切  
[考]王本ノ修ハ或ハ移ノ誤  
刻カ、若シ然ラズトスルモ  
移修ハ韻相通ズル場合アリ

幾  
磯  
璣  
護  
肌  
飢  
笄  
箕  
基  
雞  
稽  
饑  
姬  
奇  
羈  
羈

[一]音肌(金錢二)、音農(連一)

[一]音肌(凍二、儂二)

[一]音基(梧葉三)

畸 ×  
敲  
枅

刳  
乚  
蟻  
其  
蟻

(2) 歸 瓜爲切 kuei

圭  
邽  
龜  
閨  
規

[考]王本ニナシ

媯 ×  
珪

(3) 蓋 將西切 tsi [二]祭平聲(獨四、老二)、音蓋(合一)  
[考]王本ニナシ、祭ハ去聲精細切 tsi

齊  
擠  
躋

齋 [考]王本聲ニ作ル

齋 × [一]將西切(燕一)、音擠(玉靈棟、凍二)、音蓋(合一)  
[二]祭平聲(忍二)、音躋(獨三)、[考]祭ハ去聲精細切 tsi

(4) 雖 思推切 sui

萎

綬  
睢  
尿

[一]音暉(氣一)

澀 ×

(5) 低 都離切 ti

舐  
彈  
砥  
氏  
底

[考]王本・葉本共ニナシ

[考]王本・葉本共ニナシ

[考]王本・葉本共ニナシ

[考]葉本ハ第五字

[考]王本・葉本共ニナシ

堤

碑

砥 [考]王本ニナシ

瓶

砥 ×

隄 [一]音低(桃三)

鞮

(6) 妻 青齊切 ts'i

妻  
淒  
妻  
悽  
棲

[考]葉本ハ第五字

[考]葉本ハ第四字

(7) 西 先齊切 si

犀  
嘶

栖 ×

嘶

栖

(8) 灰 呼歸切 hui

揮  
暉  
輝  
暉  
塵  
微  
厖

[考]王本・葉本共ニナシ

厖

搗 ×

輝

禕

(9) 杯 巴梅切 pei

悲  
卑  
碑  
陂

[一]音杯(竹葉一)

盃

禕 ×

(10) 追 之誰切 chui

雖  
錐  
威  
隈  
隈

[一]音威(楚四、岳二)

[一]音威(儂一)

隈 ×



萎 [考]王本ニナシ  
 痿  
 葳 [一]音威(玉壺四)  
 (12) 非 方微切 *fei*  
 扉 [考]王本・葉本共ニナシ  
 俳 [考]王本・葉本共ニナシ  
 霏 [一]音非(玉鏡一)、[考]王本・葉本共ニナシ  
 誹 [考]王本・葉本共ニナシ  
 菲 飛  
 緋 緋 蜚 ×  
 (13) 溪 輕移切 *k'i* [考]葉本ハ第三字  
 欺 [考]葉本ハ第一字  
 欵 [一]音欺(竹雨二)、[考]葉本ハ第二字  
 谿 ×  
 崎 [一]音欺(貨四、黃三、瀆三、金安三、候四)  
 傲  
 (14) 希 虛難切 *hi*  
 稀 [考]王本・葉本共ニナシ  
 晞 [考]葉本ハ第六字  
 羲 [考]葉本ハ第五字  
 犧

醜 [一]音醜(王三、陳博三)  
 熹  
 嘻  
 僖  
 熙  
 豨 ×  
 晞 備 蠟 戲 秋 禧 唏  
 (15) 衣 於難切 *yi*  
 依 伊 醫 鷲 漪 猗 臆  
 [考]葉本ハ第七字  
 [考]葉本ハ第六字  
 [考]王本・葉本共ニナシ、或ハ臆ノ誤カ  
 噫 咍 × [一]音衣(竹葉三、情二)  
 夥  
 (16) 吹 礙難切 *ch'uei* [三]去聲(紅二)  
 [考]去聲ニ此字ナシ、一補(15)ヲ見  
 炊

推  
 (17) 醜 鋪梅切 *p'ei* [一]鋪梅切(酷四) 音披(庚一、黃四)、音胚(字一)  
 披 [一]音披(賺一)  
 邳 [一]音披(珠一)  
 胚 [一]鋪梅切(寶四)  
 胚 [考]王本ニナシ  
 坯 × [一]鋪梅切(看一)  
 (18) 魁 枯隈切 *k'uei*  
 盛 虧 窺 瑰 奎  
 恢 × 悝 愼 欸 剗 [一]音奎(虎一)  
 (19) 咎 昌知切 *ch'i*  
 [一]昌知切(黨四)、音痾(金錢三、鐵一、任一)、[三]音痾切(寶二)、[考]葉本ハ第二字、昌ト音トハ音ニ差アリ、\*但シ此音切ハ音釋ニノミアリテ本文ニナシ曲違ノ誤  
 [考]葉本ハ第一字  
 癡 邴 蚩

媼 [考]王本ニナシ  
 螭 [一]音痾(竹葉一)  
 鴟 [一]音痾(青三)  
 絺 魑 × 綈  
 (20) 崔 思難切 *sui*  
 催 衰 榘 綰 ×  
 (21) 紕 編迷切 *p'i* [一]音批(風一、鐵一)  
 批 鉞 [考]王本ニナシ  
 銳 × 掄 礮 剗 訛 鉞  
 (22) 推 都雷切 *tuei*  
 髓 追 ×  
 (23) 篋 邦迷切 *pi* [一]邦迷切(救風一、鐵三、忍三)  
 鏡  
 (24) 知 真痴切 *chi*  
 蚰  
 (25) 梯 天黎切 *ti*



平聲 陽

(26) 微 無非切 *wei*

薇  
維  
惟

激 ×

(27) 黎 凌低切 *li*

黎 〔考〕王本ニナシ

黎  
梨  
梨

〔一〕音梨(救孝一)

藜  
黎

〔一〕音梨(揚一)

離  
璃

離  
離

〔考〕王本ニナシ

離  
離

〔一〕音梨(黃一、忍四)

麗  
麗

〔二〕平聲(薛一)

狸  
蜎  
蜎

〔考〕王本ニナシ

漓

麗 ×

麗  
漓  
漓

〔一〕音梨(慎三)

藜  
黎  
黎

(28) 泥 王本・奴啓切 業本・農難切 *ni*

〔考〕業本ハ第二字、兩音切相通スルモ比較的業本ノ音切ヲ正シトスベキガ如シ

〔考〕業本ハ第一字

尼  
鬻

呢 ×  
呢

(29) 梅 謀悲切 *mei*

莓  
枚  
媒  
煤  
眉  
湄  
楣  
媚

麩  
糜  
糜  
糜

〔一〕音眉(抱一)

糜  
糜  
玫  
靡  
每  
糜

(30) 雷 盧堆切 *luei*

雷  
雷  
雷  
雷

〔一〕音雷(王三)

雷 ×

雷 〔一〕音雷(黑四)、〔二〕累平(聲韻天三)、〔考〕累ハ上聲郎離切 *luei*

雷  
雷

(31) 隋 詞催切 *suei* 〔考〕業本ハ第二字

隋

〔考〕業本ハ第一字

(32) 齊 前西切 *ts'i*

齊

齊 ×〔一〕音齊(玉鏡二)

(33) 回 胡歸切 *hwei*

回  
徊  
迴

泗 ×

虬 〔一〕音圃(東堂一)

伺

(34) 圍 吳歸切 *wei*

圍  
圍  
韋  
韋  
違  
嵬  
巍  
危  
桅  
爲

〔一〕音韋(謝金二)

帷 ×

維  
遺

(35) 肥 扶非切 *fei*

肥

(36) 奇 王本・擊移切 *w. ki* (k'i) 業本・擊移切 *s. k'i*

〔考〕擊ハ唐韵古歷切、集韵・韵會古歷切、諺譯ア、擊ハ唐韵・集韵・韵會渠京切、諺譯忍、其音首相同シカラス、今業本ヲ採ル

騎  
琦  
祺  
其  
期

〔一〕音奇(陳州模、王二、韻二)

〔考〕業本ハ第二十四字



旗旂基祈祁其畿祇者馨莛岐麒琪禱

〔考〕王本ニナシ

〔一〕音祁(禮二)

〔一〕音其(禮四、禮三、桃三、玉鏡三、殺二、寃三、貸三、來一、還一、皮模、看模、屬二)

〔考〕王本・葉本共ニナシ

〔一〕音其(曲三)

〔一〕音其(柳三)

〔考〕王本ニナシ

〔考〕王本・葉本共ニナシ、韻ノ誤カ

斬  
碕  
頤  
淇  
基  
忖

×〔考〕葉本ハ頤ニ作ル

(37) 奚 弦難切 *hi* 〔考〕葉本ハ第二字

〔考〕葉本ハ第一字

〔一〕音奚(陳持三、任二、葛四、救孝四、勸二、黑三)

兮  
哇  
携

蹊 〔一〕音奚(任二、悞三)

攜 〔考〕王本ニナシ

稽 ×

蹊

(38) 移 盈難切 *yi*

屛

〔考〕王本ニナシ

兒

〔一〕音移(岳一)

鯢

覓

〔一〕音覓(氣四)、音移(謝金二、岳三、青三、單一)

覓

〔一〕音移(禮二)

輓

姨

夷

癍

疑

嶷

〔考〕王本ニナシ

鷺

沂

宜

儀

〔考〕王本ニナシ

鸛

彝

貽

怡

哈

飴 〔一〕音移(禮四)

圯

頤

遺

蛇 ×

〔一〕音移(禮二)

胎

蚰

洩

蛻

莢

異

視

涯

匝

(39) 啼 停離切 *ti*

蹄

提

題

醒

〔一〕音提(岳二、金錢三)

〔考〕王本ニナシ

〔一〕音啼(諱三)

梯

鶉 ×

隄

暈

梯

莢 〔一〕音啼(王鏡二)

弟 〔考〕王本ニハ弟ニ作ル

(40) 鎚 持追切 *ch'uei* 〔考〕葉本ハ第三字

垂 〔考〕葉本ハ第一字

陲

〔考〕葉本ハ第二字

鍾 ×

椎

槌

(41) 裴 蒲梅切 *p'ei*

陪

培

皮

(42) 葵 渠回切 *k'uei*

殖

〔一〕音葵(盆三、後四)

夔

達

(43) 池 陳知切 *ch'i*

馳

〔考〕葉本ハ第六字

遲

〔考〕葉本ハ第三字

墀

〔考〕葉本ハ第四字

筵

〔考〕葉本ハ第五字

持

砥 ×

治

脚

(44) 頹 徒雷切 *t'uei*

魁

隕 ×

(45) 脾 平迷切 *p'i*

疲



比 〔一〕音疲(金線一)

毗 〔考〕王本ニナシ

罷 〔一〕音疲(灰二)

豨 ×〔一〕音疲(單二)

豨 〔一〕音疲(氣三、梧兩楔、單一)、音脾(馬四)

豨

枇

(46) 迷 明非切 mi

彌 〔考〕王本・業本共ニナシ

彌

彌

入聲作平聲 陽 後同

(51) 實 繩知切 shi

〔一〕繩知切(董二、殺二、謝天三、張天二、教風一、兒一、李二、連四、實二、合汗三、虎三、灰四、屬四、信三、留一、黑三、薛一、窮四、後四、教孝三、隔二、桃三、勳三、揚四)

十

〔一〕繩知切(薛三、虎三、凍二、貧四、還一、竹葉二、趙氏三、富三、屬二、鐵三、謝天三兩一、伍三、梧兩二、王三、兒一、舉三)

什

〔一〕繩知切(教風一、抱楔、百三、殺二、屬四、實二、貧四、信三、王一、陳搏三、伍三、音三)

石

〔一〕繩知切(董二、薛三、桃三)

射

〔一〕繩知切(董二、留一、玉蓋四、李二、凍二、曲三、殺二、教風一、還一、玉鏡三、秋二、劉四、虎三、屬四、信三、陳搏)

食

瀾 〔一〕音速(候二、張生二)

采

(47) 誰 時追切 shuei

(48) 摧 慈隨切 ts'uei 〔一〕慈隨切(東坡一、竹塢二、桃二)

崔 ×

(49) 獩 兒追切 juei 〔一〕兒追切(麗一、玉蓋四)

綏 ×

[50] 推 ×他雷切 t'uei

〔二〕退平聲(留四、梧葉四、漢三、玉鏡一、謝天三、馮四、勳三、爭楔、慶四、虎一、風四、秋一、連二、教孝三、生一、伍三、隔二、來一、隔一、忍一、綱一、灰一、趙禮四)、〔考〕退ハ去聲他累切 t'uei

燧

三、馬三、伍三、黑三、勳三、趙禮一、舉三、電四、薛一、候三、盆三、後四)

蝕 〔一〕繩知切(魯二)、〔四〕音食(張天三)

拾 〔一〕繩知切(張天二、增一、殺一、信一、實二、李二、蕭一、音三、東坡二、謝金三、百三、岳三、慶四)

鈿 ×

殖 〔一〕繩知切(合同四)

植

(52) 直 征移切 chi 〔一〕征移切(神一、盆三、李二、鐵三、殊四、增一、謝金三、灰三、陳搏三、秋二)

值 〔考〕王本ニナシ

姪 〔一〕征移切(麗二、虎三、謝金三、慶三)

秩 〔考〕王本ニナシ

擲 〔一〕征移切(慶三、麗二、謝天三、玉鏡三)、〔四〕音直(城二、金錢三、合汗二、望一)

(53) 疾 精妻切 tsi

〔一〕精妻切(凍二、麗二、謝天三、爭四、楚四、增一、鐵三、玉鏡三、殺二、留一、劉四、魯二、酷二、漁四、慎三、盆三、王三、實二、還一、舉三、音三、梧兩二、馬三、虎三、灰四、兒一、秋二、天蓋四、神一、驚四、謝金三)

嫉 〔一〕精妻切(伍三)

嫉 〔考〕王本ニナシ

集 〔一〕精妻切(信三、謝天三、殺二)

寂 〔一〕精妻切(候四、生三)

藉 ×〔一〕精妻切(信三、小三、酷二、增一)

籍 〔一〕精妻切(候二、盆三)

誡

縑

(54) 夕 星西切 si 〔一〕星西切(陳搏四、舉三、盆三、實二、虎三、秋二、音三、諱四)

昔 〔考〕王本・業本共ニナシ

席 〔一〕星西切(桃三、候三、增一、楚四、殺二、謝天三、露四、虎三、兒一、秋二、屬四、謝金三、金錢四、東坡二、馬三、王三、伍三、諱四、黑三、李二、貨四、生四、爭四、玉鏡三)

襲 〔一〕星西切(麗二)

習 〔一〕星西切(張天二、瀆二、薛三、魯二、看楔、馬三、漁楔、百三、隔二)

窳 ×

汐

蕭 〔一〕星西切(舉三、露四)

隰

(55) 荻 丁高切 ti

狄

敵

〔一〕丁離切(謝金三)、〔二〕丁梨切(虎三、小三、楚四、趙氏四、黃楔、酷二、百三)、〔考〕離ト梨トハ同音切ニアリ音韻相通ス

逃

笛

〔二〕丁梨切(音三、虎三、留一、吳一、薛三、秋二、趙氏二)、〔考〕華ハ子梨切トアルモ誤刻ナラン

糴

迪 ×

彘 〔一〕丁離切(兒一)、〔二〕丁梨切(贊一)、〔四〕音狄(向一、薛三、對一、音一)、〔考〕離ト梨トハ同音切ニアリ音韻相通ス

翟

(56) 及 更移切 li 〔一〕更移切(任三、信三、碧二、鐵三、留一、東坡二、酷二、勳三、竹塢二、還一、伍三)

極

〔一〕更移切(張天二、謝三)

給 ×〔一〕更移切(盆三)

笈

汲

(57) 惑 胡歸切 huci 〔二〕音回(後四、黑三、伍三、盆三、盆四、碧二)、〔考〕回ハ陽平胡歸切 huci

或 ×

(58) 逼 ×兵迷切 pi 〔一〕兵迷切(驚四、殺二、鐵三、合同四、陳三、實二、灰四、屬四、魯二、陳搏三)、〔考〕業本ニハ「秩」ノ次ニ在リ

壁

復

躡



粥〔四〕薄密切〔竹塙模、紅一〕

鼻

(59) 劼 叶黑平聲 *hei*

核 ×

訖

覈

嚇

〔一〕黑平聲〔寶二、合同四〕、〔三〕亨美切〔勸二〕、〔四〕音黑〔驚四、望一、神二、教孝二〕〔考〕一補〔14〕ヲ見ヨ

赫

(60) 賊 叶則平聲 *tsei*

〔一〕則平聲〔虎三、生四、玉齋四、後四、驚四、殺二、爭四、殊四、謝金一、鐵三、黑三、小二、寶二、秋二、驚四、岳三、速四、融三、青三、忍一、伍三、劉四、百三、慶四、趙氏一、※盆三〕、〔三〕進書切〔備四、合汗三〕才上聲〔黃二〕、〔考〕※則平切トアルハ誤ナラン一補〔15〕ヲ見ヨ

發 ×

[61] 窒 × 張移切 *chi*

桎

軼

秩

去聲作平聲

(62) 鼻 毗迷切 *p'i*

〔二〕平聲〔玉齋三〕、音瘦〔勸

二、鐵三、岳四、看一、來四、慶四、吳四〕、音昆〔殊四〕、〔考〕王本ニナシ

上聲

(63) 迤 因已切 *yi*

〔三〕音移〔漢二、李一、羅三、玉鏡二、金錢三、任三、秋二、謝天四、凍四、慎三〕、〔考〕移ハ陽平聲雖切 *yi* 一補〔16〕ヲ見ヨ

倚

〔考〕王本ニナシ

倚 ×

椅

辰

儼

旖

矣

已

〔一〕音倚〔謝天三、楊三、東坡二、神一〕、〔二〕音以〔兩一〕、〔考〕以ハ上聲銀几切 *yi* 其音幾ニド相通ズ

(64) 尾 忘彼切 *wei*

壘

(65) 倚 銀几切 *yi* 〔考〕王本ニナシ

椅 〔考〕王本ニナシ

錡 〔考〕王本ニナシ

辰 〔考〕王本ニナシ

儼 〔考〕王本ニナシ

蟻 〔考〕王本ニナシ

矣 〔考〕王本ニナシ

已 〔考〕王本ニナシ

苒  
顛  
擬  
蟻

〔一〕音以〔伍二、竹葉三〕

蠶 ×

擬

(66) 浼 忙悔切 *mei* 〔考〕葉本浼ニ作ルハ正字

美

每 ×

靡

(67) 蟻 姜倚切 *ki*

幾 〔二〕上聲〔隔二〕

己

几

堯

紀

(68) 恥 昌里切 *ch'i*

侈

(69) 捶 叶吹上聲 *ch'uei*

〔一〕吹上聲〔百二〕

筆 〔一〕吹上聲〔備二、慎三〕

(70) 痞 滂米切 *p'i*

否 〔一〕滂米切〔范四、碧四、賺二〕

否 〔三〕音丕〔楚一〕、〔考〕不ハ陰平韻梅切 *p'ei* 一補〔17〕ヲ見ヨ

話

圯

坻

坻

(71) 鬼 尤委切 *luei*

簋 〔考〕王本簋ニ作ルハ誤

癸

軌

詭

晷

宄

(72) 悔 芫鬼切 *huei*

賄

毀

卉

譏

燬

虺

(73) 妣 邦米切 *pi*

比

匕

彼 ×

鄙

枇 〔一〕音妣〔陳州棗〕

否

(74) 禮 良底切 *li*

醴

里

裏

理

鯉



媿〔一〕音里(老樛、寶四、兒一、寬三、凍二、合同三、神一)

李

蠡

〔一〕音里(金錢一、魯二、馬二、兒樛、藤二、陳州二、茶三、青三、麗三)

履

澄 ×

遲

俚

悝

(75) 濟咸洗切 tsi 〔二〕上聲(灰三、黑一金線樛)

擠〔一〕濟上聲(合汗三、對二)

(76) 底丁禮切 ti 〔考〕王本下禮切トアルハ誤ナラン

邸

詆

抵

〔考〕王本ニナシ

砥

砥 ×

抵

(77) 洗相擠切 si

璽

泉

徒

屣

〔一〕音洗(慎三)

蕙 ×

蕙

(78) 起丘已切 ki

棨

啓

縈

綺

杞

豈

〔考〕王本ニナシ

稽 × 〔一〕音堂(金安一、玉鏡一)

企

(79) 米忙彼切 mi

弭〔一〕音米(隔四)

昧〔三〕米去聲(東堂三)、〔考〕去聲ニハ此字ナシ、一補(18)ヲ見ヨ

芊 × 〔一〕音米(楚一、伍一)

侏

靡

(80) 你寧已切 ni

旋〔一〕音你(兩一、東坡二)、寧已切(神一)、〔二〕尼上聲(謝天三)、泥上聲(楊三)、〔考〕尼寧ハ音首相同シ

禰〔一〕寧已切(金錢二)

泥 ×

禰

(81) 彼〔pi〕〔考〕王本・葉本共ニ此位置ニナク邦米切ニアリ、誤譯也

鄙〔pi〕〔考〕王本・葉本共ニ此位置ニナク邦米切ニアリ、誤譯也

(82) 喜香已切 hi

嬉

(83) 委王本・汪鬼切 w. wei (wei) 葉本・黃鬼切 s. hui

〔三〕平聲(隔二)、〔考〕汪ハ唐韻・集韻・韵會・洪武正韻並ニ烏光切、黃ハ唐韻平光切、集韻・韵會・洪武正韻並

ニ胡光切、葉本ハ第二字、平聲陰陽共ニナシ、一補(19)ヲ見ヨ

〔考〕葉本ハ第一字

猥

唯

隗

葦

偉

〔一〕音委(伍四)

洧 ×

旭

蹇

煒

瘠

頤

〔考〕王本・葉本共開習容止貌ト註シ葉本頤ニ作ルハ誤ナルニ、而カモ尙ホ又寒山頤ト附註セルハ葉氏ガ傳本ノ誤譯ヲ其儘ニ増註セルモノナラン

歸

(84) 壘耶隄切 lui

磊

儡

〔一〕音壘(趙氏二)、〔二〕累上聲(吳一、神樛)、〔考〕累ハ又去聲叶雷去聲 lui

櫛 ×

類

累〔二〕上聲(隔一、鐵四、秋三、金線樛、生一、百四、氣一、范二、隔一、虎一、竹葉樛)

瘡

(85) 體他里切 ti

躄 ×

(86) 腿湯類切 t'uei

(87) 葦如累切 juei

葦

葦

(88) 背咸隨切 tsuei 〔考〕王本ニナシ

嘴

(89) 髓桑嘴切 suei 〔一〕桑嘴切(蕭四、玉齋四、謝金二、鐵三、倩三、劉三、獨一、馬三)

瀟 ×

嵩

(90) 水雙韻切 shuei

(91) 餒奴鬼切 nuei 〔一〕奴鬼切(益一) 〔考〕王本ニナシ

餒 ×

餒

[92] 匪 × 方比切 fei

斐

腓

排

誹

斐

篚

榘

[93] 跪 × 匡委切 k'uei

揆 〔一〕音跪(陳搏三)

跬

[94] 薛 × 韻每切 p'ei

入聲作上聲



(95) 質 張恥切 *chi* 〔一〕張恥切(李二、碧)

隻 〔一〕張恥切(陳搏三、倩三、連四)

炙 〔一〕張恥切(薛三、度三、覽四)

織 〔四〕音質(純四、合汗一、魯四、勘三)、音執(來一、梧葉一)

隄 〔一〕張恥切(還一)

汁 〔一〕張恥切(諄四、望二、瀟二、爭四、謝金三、伍三、青三、凍二)

只 〔一〕張恥切(諄四、望二、瀟二、爭四、謝金三、伍三、青三、凍二)

執 ×〔一〕張恥切(覽四、還一、凍二)

跣 〔一〕張恥切(爭四、李二、度三)、〔四〕音質(寶三)、音執(看四)

屣 〔一〕張恥切(麗二、任三、凍二、虎三、陳搏三、舉三、董二、盆四、百三)

屣 〔一〕張恥切(張天二)

(96) 七 倉洗切 *ts'i* 〔一〕倉洗切(殺二、謝天三、增一、嚴三、麗四)

戚 〔一〕倉洗切(秋二、嚴三、凍二、賢二、柳機、酷二、魯二、神一、青二、\*照三)、〔考〕\*倉洗切トアルハ誤刻ナリ

漆 〔一〕倉洗切(覽四、酷二、度三)、〔四〕音七(燕一)

刺 〔一〕倉洗切(覽四、酷二、度三)、〔四〕音七(燕一)

懷 ×

緝 〔一〕倉洗切(覽四)

葺 〔一〕倉洗切(覽四)

趣 〔一〕倉洗切(覽四)

鐵 〔考〕葉本再ニ作ルモ『獨一』ト註セルヨリ見レバ誤リナルコト明カ也

(97) 匹 鋪米切 *pi* 〔一〕鋪米切(楚四、寶)

關 〔一〕鋪米切(東坡四)

僻 〔一〕鋪米切(東坡四)

勞 〔一〕鋪米切(東坡四)

癖 〔一〕鋪米切(東坡四)

疋 ×

(98) 吉 巾以切 *ki* 〔一〕巾以切(儻二、桃三、後四)

擊 〔一〕巾以切(小三、連四)

激 〔考〕王本・葉本共ニナシ

極 〔考〕王本・葉本共ニナシ

棘 〔一〕巾以切(小三、薛三、虎三、百三)

戟 〔一〕巾以切(倩三、殺二、青三)

戟 〔一〕巾以切(倩三、殺二、青三)

急 〔一〕巾以切(倩三、殺二、青三)

汲 〔一〕巾以切(倩三、殺二、青三)

給 〔一〕巾以切(倩三、殺二、青三)

誣 〔考〕王本ニナシ

級 ×〔一〕巾以切(伍三、劍四)

吃 〔一〕巾以切(儻二、伍三)、〔三〕音堂(慶四)、〔考〕堂ハ上聲丘已切ナレド其實慶四ニハ音釋ノミアリテ本文ニ此字ナシ、曲選ノ誤也

訖 〔一〕巾以切(儻二、伍三)、〔三〕音堂(慶四)、〔考〕堂ハ上聲丘已切ナレド其實慶四ニハ音釋ノミアリテ本文ニ此字ナシ、曲選ノ誤也

訖 〔一〕巾以切(儻二、伍三)、〔三〕音堂(慶四)、〔考〕堂ハ上聲丘已切ナレド其實慶四ニハ音釋ノミアリテ本文ニ此字ナシ、曲選ノ誤也

訖 〔一〕巾以切(儻二、伍三)、〔三〕音堂(慶四)、〔考〕堂ハ上聲丘已切ナレド其實慶四ニハ音釋ノミアリテ本文ニ此字ナシ、曲選ノ誤也

訖 〔一〕巾以切(儻二、伍三)、〔三〕音堂(慶四)、〔考〕堂ハ上聲丘已切ナレド其實慶四ニハ音釋ノミアリテ本文ニ此字ナシ、曲選ノ誤也

訖 〔一〕巾以切(儻二、伍三)、〔三〕音堂(慶四)、〔考〕堂ハ上聲丘已切ナレド其實慶四ニハ音釋ノミアリテ本文ニ此字ナシ、曲選ノ誤也

訖 〔一〕巾以切(儻二、伍三)、〔三〕音堂(慶四)、〔考〕堂ハ上聲丘已切ナレド其實慶四ニハ音釋ノミアリテ本文ニ此字ナシ、曲選ノ誤也

訖 〔一〕巾以切(儻二、伍三)、〔三〕音堂(慶四)、〔考〕堂ハ上聲丘已切ナレド其實慶四ニハ音釋ノミアリテ本文ニ此字ナシ、曲選ノ誤也

訖 〔一〕巾以切(儻二、伍三)、〔三〕音堂(慶四)、〔考〕堂ハ上聲丘已切ナレド其實慶四ニハ音釋ノミアリテ本文ニ此字ナシ、曲選ノ誤也

訖 〔一〕巾以切(儻二、伍三)、〔三〕音堂(慶四)、〔考〕堂ハ上聲丘已切ナレド其實慶四ニハ音釋ノミアリテ本文ニ此字ナシ、曲選ノ誤也

(99) 筆 邦每切 *pei*

〔一〕邦每切(神一、任三、倩三、麗四、\*嚴三)、〔二〕邦每切(盆四)、〔考〕葉本邦每切ニ作ルハ誤、\*部每切トアルハ邦每ノ誤ナラン、每ト

美トハ同音 〔一〕邦每切(貨四、後四、青三、酷二)、〔二〕邦每切(候三)、〔考〕每ト美トハ同音

北

(100) 失 傷以切 *shi* 〔一〕傷以切(謝天三)

室 〔一〕傷以切(後四、驚四、魯二、倩三、隔二、玉鏡三、舉三、酷二)

識 〔一〕傷以切(後四、任三、凍二、蘇四、謝天三、殺二、覽四、陳搏三、伍三、馬三、僕三、勸三、生四、桃三、東坡二、黑三、連四、兒一、隔二、謝金三、胡三、秋二、百三、神一、倩三、碧二、度三)

適

拭 〔一〕傷以切(玉鏡三)

軾 〔一〕傷以切(玉鏡三)

飾 〔一〕傷以切(玉鏡三)

釋 〔一〕傷以切(寶二、青三、碧二、殺二、增一、凍二)、〔考〕曲選ハ凡テ温ニ作ル

溼 〔一〕傷以切(寶二、青三、碧二、殺二、增一、凍二)、〔考〕曲選ハ凡テ温ニ作ル

爽 〔一〕傷以切(寶二、青三、碧二、殺二、增一、凍二)、〔考〕曲選ハ凡テ温ニ作ル

式 ×〔一〕傷以切(百三)

禡

(101) 啣 將洗切 *tsi*

積 〔一〕將洗切(慶四、看機)

稷 〔一〕將洗切(黃機、小三、董二、謝金三、百三、王三)

績 〔一〕將洗切(慶二)

跡 〔一〕將洗切(後四、慎三、殺二、驚四、蘇四、謝金三、陳搏三、驚四、舉三)

脊 〔一〕將洗切(小三)

鯽 〔一〕將洗切(小三)

借 ×

卽

汜

積 〔考〕葉本積ニ作ルハ誤

蹟

勣 〔四〕績ト同シ(單機)

踏

踏

迹

(102) 必 叶彼 *pi*

畢

蹕 × 〔四〕音必(連一)、〔考〕葉本ハ第八字

萼 〔考〕王本・葉本共ニナシ

碧 〔一〕音彼(麗二)、〔考〕葉本ハ第四字

壁 〔一〕音彼(魯二、後四、慎三、合同四、薛三、金鏡二、覽四、倩三、灰四、神一、秋二、勸三)、〔三〕兵迷切(東坡二、盆三)、〔考〕葉本ハ第五字、兵迷切ハ *pi* ナリ、一補(20) ナ見ヨ

壁 〔一〕音彼(魯二、後四、慎三、合同四、薛三、金鏡二、覽四、倩三、灰四、神一、秋二、勸三)、〔三〕兵迷切(東坡二、盆三)、〔考〕葉本ハ第五字、兵迷切ハ *pi* ナリ、一補(20) ナ見ヨ

壁 〔一〕音彼(魯二、後四、慎三、合同四、薛三、金鏡二、覽四、倩三、灰四、神一、秋二、勸三)、〔三〕兵迷切(東坡二、盆三)、〔考〕葉本ハ第五字、兵迷切ハ *pi* ナリ、一補(20) ナ見ヨ

壁 〔一〕音彼(魯二、後四、慎三、合同四、薛三、金鏡二、覽四、倩三、灰四、神一、秋二、勸三)、〔三〕兵迷切(東坡二、盆三)、〔考〕葉本ハ第五字、兵迷切ハ *pi* ナリ、一補(20) ナ見ヨ

壁 〔一〕音彼(魯二、後四、慎三、合同四、薛三、金鏡二、覽四、倩三、灰四、神一、秋二、勸三)、〔三〕兵迷切(東坡二、盆三)、〔考〕葉本ハ第五字、兵迷切ハ *pi* ナリ、一補(20) ナ見ヨ

壁 〔一〕音彼(魯二、後四、慎三、合同四、薛三、金鏡二、覽四、倩三、灰四、神一、秋二、勸三)、〔三〕兵迷切(東坡二、盆三)、〔考〕葉本ハ第五字、兵迷切ハ *pi* ナリ、一補(20) ナ見ヨ

壁 〔一〕音彼(魯二、後四、慎三、合同四、薛三、金鏡二、覽四、倩三、灰四、神一、秋二、勸三)、〔三〕兵迷切(東坡二、盆三)、〔考〕葉本ハ第五字、兵迷切ハ *pi* ナリ、一補(20) ナ見ヨ

壁 〔一〕音彼(魯二、後四、慎三、合同四、薛三、金鏡二、覽四、倩三、灰四、神一、秋二、勸三)、〔三〕兵迷切(東坡二、盆三)、〔考〕葉本ハ第五字、兵迷切ハ *pi* ナリ、一補(20) ナ見ヨ

壁 〔一〕音彼(魯二、後四、慎三、合同四、薛三、金鏡二、覽四、倩三、灰四、神一、秋二、勸三)、〔三〕兵迷切(東坡二、盆三)、〔考〕葉本ハ第五字、兵迷切ハ *pi* ナリ、一補(20) ナ見ヨ

壁 〔一〕音彼(魯二、後四、慎三、合同四、薛三、金鏡二、覽四、倩三、灰四、神一、秋二、勸三)、〔三〕兵迷切(東坡二、盆三)、〔考〕葉本ハ第五字、兵迷切ハ *pi* ナリ、一補(20) ナ見ヨ

壁 〔一〕音彼(魯二、後四、慎三、合同四、薛三、金鏡二、覽四、倩三、灰四、神一、秋二、勸三)、〔三〕兵迷切(東坡二、盆三)、〔考〕葉本ハ第五字、兵迷切ハ *pi* ナリ、一補(20) ナ見ヨ

壁 〔一〕音彼(魯二、後四、慎三、合同四、薛三、金鏡二、覽四、倩三、灰四、神一、秋二、勸三)、〔三〕兵迷切(東坡二、盆三)、〔考〕葉本ハ第五字、兵迷切ハ *pi* ナリ、一補(20) ナ見ヨ

壁 〔一〕音彼(魯二、後四、慎三、合同四、薛三、金鏡二、覽四、倩三、灰四、神一、秋二、勸三)、〔三〕兵迷切(東坡二、盆三)、〔考〕葉本ハ第五字、兵迷切ハ *pi* ナリ、一補(20) ナ見ヨ

(103) 昔 衷擠切 *si*

惜

息

〔一〕衷擠切(後四、慶四、小三、兒一、楚四、救風一、張天二、謝天三、殺二、留一、東坡四、劉四、度三、百三、盆三、倩三、秋二、岳三、貨四、還一、漁機、馬三、舉三、桃三)



錫  
浙

〔四〕音昔(王三、張生四)

曷×  
熄  
悉  
膝〔一〕喪擠切(灰四、虎三、寧二、隔二、百三、薛三、謝天三)  
蟋  
析  
哲  
蜥

(104) 尺 叶恥 *chi* 〔一〕音恥(凍二、百三、任三、魯二、青三)

赤

〔一〕音恥(寬四)

喫

〔一〕音恥(驚四、馬三、兒一、爭四、張天二、薛三、疎四、岳三、慶四、青三、凍二、黑三、任三、魯二、勸三)

勅

〔一〕音恥(陳搏三、玉鏡三)

叱

鵝

〔四〕音尺(金錢一、青三)、音勅(金線一)、〔考〕葉本編二作<sup>ル</sup>

斥×  
啞

(105) 的 叶底 *ti* 〔一〕音底(後四、李二、凍二、寶二、小三、曠二、玉鏡四、馬三、謝天三、爭四、增一、薛三、曲二、救風一、張天二、庚三、魯二、劉四、連四、選一、疎四、虎三、鐵三、合同四、秋二、神一、馬四、謝金三、岳三、伍三、青三、桃三、勸三、黑三、麗二、王三、諱四、灰四、留一、任三、生四、玉鏡三、殺二、勸三)〔三〕音低(黃二)、〔考〕低<sup>ハ</sup>陰平都離切 *ti* 一補(21)ヲ見<sup>ヨ</sup>

鞫

嫡  
滴

鐫×  
躡  
杓

(106) 德 當得切 *tei* 〔二〕當美切(小三、曠二、諱四、救風一、後四、隔二、劉四、倩三、舉三、合同四、看換、陳搏三、任三、兒一、漁二、楚四)、〔考〕葉本<sup>ハ</sup>第二字、此音切<sup>ハ</sup>誤ナリ、一補(22)ヲ見<sup>ヨ</sup>

得

〔二〕當美切(候三、李二、凍二、救風一、爭四、虎三、伍三、任三、庚三、寶四、王三、盆三、魯二、謝金三、麗四、倩三、謝天三、青三)、〔三〕亨美切(灰四)、烹美切(寶二、桃三)〔考〕葉本<sup>ハ</sup>第一字、一補(22)ヲ見<sup>ヨ</sup>

(107) 滌 叶體 *ti* 〔一〕音體(寶二、揚四、〔四〕音笛(金錢三))

剔

〔一〕音體(謝金三)

踢

〔一〕音體(劉三、度三、盆三、候三、救風一)

趨×  
惕  
倜

〔四〕音剔(馬二、隔一)

(108) 吸 叶喜 *hi* 〔一〕音喜(揚一、梧葉二)〔四〕音喜(岳一)、音吸(竹葉樹)

隙

〔一〕音喜(牆一)〔考〕王本ニナシ

翕

檄

覲

〔四〕音檄(梧兩樹)

胛×  
汜  
毓

閱  
悽  
款  
款

(109) 乞 叶豈 *ki*

泣  
訖

〔考〕王本ニナシ

給×

詰〔四〕溪入聲(合汗四)

郤〔考〕王本郤ニ作<sup>ル</sup>ハ誤

隙〔一〕音豈(疎四、李二)

(110) 國 叶鬼 *kuai* 〔一〕音鬼(伍三、小三、碧二、謝金三、陳搏三、青三、楚四、馬三)

(111) 黑 亨美切 *hei* 〔一〕亨美切(倩三、任三、兒一、殺二、薛三、

去

(116) 未 忘閉切 *wei*

味

〔三〕回去聲(薛二)、〔考〕同<sup>ハ</sup>陽平胡歸切 *hui* 一補(24)ヲ見<sup>ヨ</sup>

(117) 胃 汪貴切 *wei*

媚

渭

謂

尉

慰

緯

穢

衛

〔一〕音謂(後四)

〔一〕音謂(金線換)

〔一〕音長(鐵四)

生四、小一、盆四、望三)

(112) 一 叶以 *yi* 〔一〕音以(看換、百三、陳搏三)

壹×

乙

[113] 則 ×滋美切 *tsei*

[114] 忒 ×他美切 *t'ei*

得

慝

[115] 克 ×康黑切 *k'ei*

〔二〕康美切(張天二、寶二)〔考〕此音切<sup>ハ</sup>誤、一補(22)及(23)ヲ見<sup>ヨ</sup>

剋

剋 〔二〕康美切(陳搏三、生四、勸三、玉鏡三、候三、謝金三)〔考〕此音切<sup>ハ</sup>誤ナリ、一補(22)及(23)ヲ見<sup>ヨ</sup>

聲

魏

畏

餽

位

飶

鯀×

爲 〔一〕音畏(兩四)、音位(陳搏三)

(118) 貴 光長切 *kuai*

櫃

餽

愧

〔考〕王本ニナシ



悻 [考]王本ニナシ  
桂 [考]葉本ハ第七字  
檜 [一]音桂(竹鳩一)、[考]葉本ハ第六字  
膾 [一]音貴(船四)、音桂(青三)  
繪 [一]音桂(望三)  
跪 [考]王本ニナシ  
繪 [考]王本ニナシ

儉 ×  
滄  
繪  
槐  
會 [一]音桂(流一)  
饋  
搶

(119) 吠 方閉切 *fei* [考]葉本ハ第二字  
沸 [考]葉本ハ第一字

費  
肺  
廢  
芾

菱 ×  
廢 [考]王本ハ籛ニ作ル通用ス  
誦  
菲

(120) 會 荒貴切 *hwei* [考]王本ニナシ、葉本ハ第三字  
悔 [考]王本・葉本共ニナシ

誨 [考]葉本ハ第一字  
諱  
蕙  
蕙  
慧 [一]音會(敦孝一、兒一)、音惠(望二、金安四、揚三、灰狹謝天一、忍三、陶三、神一、獲生一、寬四、魯四)、[三]音位(來一)、[考]王本ニナシ、位ハ汪貴切 *wei* 一補 (25) ナ見ヨ  
潰 [考]王本ニナシ  
闕 [考]王本ニナシ

晦  
頤 ×  
賄 [一]音諱(忍一、老二)

(121) 翠 叶翠 *ts'uei* [考]葉本ハ第八字、王本ハ第四字ニシテ第一字ニハ悴字アリ故ニ此翠ヲ音註トセヨ

脆 [一]音翠(實二、青樹)、[考]葉本ハ第七字  
頰 [一]音翠(碧二)、[考]葉本ハ第六字  
倅 [考]葉本ハ第五字  
萃 [考]葉本ハ第四字  
粹 [考]王本・葉本共ニナシ  
淬 [考]葉本ハ第二字  
悴 [考]葉本ハ第一字

粹  
(122) 異 應計切 *yi*  
裔 [一]音異(王二)

義  
議

誼  
毅  
藝  
易  
翳  
瘞  
劬  
柅  
曳  
醫 [一]音異(諱三)  
[考]王本ニナシ  
[一]音異(岳三、百三)

[考]的本醫トアルモ、四庫全書本ニハ醫ト訂セリ、葉本ハ磨滅シテ弁ス可ラザルモ『目中一也』ト註シ、醫ナルコト明カ也、王本ニハナシ、但シ今暫ク四庫本ニ從フ

詣  
饋  
刈  
又  
意  
劓  
誌 [一]音異(吳二)、音又(黑三)

謁 ×  
衣 [二]去聲(諱二、秋三)  
羿 [一]音意(備三)、音異(張天二)  
睨  
地

(123) 氣 區意切 *ki*  
器  
棄

憩 [一]音氣(悞一)  
契  
褻 [考]王本ニナシ  
亟 ×  
跂  
揭  
奔

(124) 霽 精細切 *tsi* [考]葉本ハ第二字

濟 [考]葉本ハ第四字  
祭 [考]葉本ハ第一字  
際 [考]葉本ハ第三字  
劑 [一]音祭(東堂二)、[考]王本ニナシ

[125] 齊 ×青細切 *ts'i*  
齋  
劑  
皆

(126) 替 湯利切 *ti*

剃  
涕  
噓 [一]音替(李三)、[考]王本ニナシ

履 ×  
[127] 地 ×唐利切 *ti*

第  
弟 [考]王本ハ弟ニ作ル  
悌  
遞  
隸  
娣  
睇